



神奈川県
政策局政策部
情報公開広聴課

令和2年度 県民ニーズ調査

基本調査…………… 令和2年12月公表

県民の生活と県政についての意識調査

第1回課題調査…………… 令和3年2月公表予定

テーマ「食・食育」「食の安全・安心」「神奈川県の農林水産業」

「ともに生きる社会かながわ」「男女共同参画」

「神奈川県の人権」「(SDGs)持続可能な開発目標」「3R」

「プラスチックごみ削減に向けて」「職業能力開発」

「犯罪被害者等への支援」「治安対策」

「ねんりんピックかながわ」

第2回課題調査…………… 令和3年3月公表予定

テーマ「気候変動への適応」「環境に配慮した生活」「生物多様性」

「アルコール依存症に対する意識」「肝炎対策」

「『未病改善』の取組」「かながわの広報」

「地域コミュニティ」「子育てにおける体罰」

「消防団の認知度」「地震対策の取組」

「自転車損害賠償責任保険等への加入」「スポーツ」

「東京2020大会に関する取組」

目次

県民ニーズ調査の概要	1
------------	---

基本調査

第Ⅰ部 調査の概要	3
-----------	---

- 1 調査の目的
- 2 調査内容
- 3 調査設計
- 4 回収結果
- 5 標本の抽出方法について
- 6 集計・分析にあたって
- 7 調査結果の誤差
- 8 回答者の属性

第Ⅱ部 調査結果の概要	11
-------------	----

第Ⅲ部 調査結果の詳細	21
-------------	----

- 第1章 暮らし全般について
 - 1 生活総合満足度
 - 2 暮らし向きの変化
 - 3 今後の暮らし向きの見通し
 - 4 地域の住みよさ
 - 5 定住意向
- 第2章 生活意識
- 第3章 暮らしの満足度
 - 1 重要度
 - 2 満足度
- 第4章 県行政への要望

第Ⅳ部 県政への自由意見	91
--------------	----

第Ⅴ部 グラフ（暮らしの満足度、県行政への要望）	95
--------------------------	----

- 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較（図表A）
- 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較（図表B）
- 県行政への要望－過去との比較（図表C）

第Ⅵ部 調査票と単純集計結果	121
----------------	-----

県民ニーズ調査の概要

1 調査の目的

県民の意識・価値観などの変化や多様化する生活ニーズを的確に把握し、その結果を県の施策に反映するために意識調査を行う。併せて、調査を通じ、県民の県政に対する理解と関心を深める。

2 調査内容

県民の生活や意識の変化等を把握するための「基本調査」を継続して実施した。また、県政の直面する重要課題や県民生活に関する中・長期的な課題をテーマに「課題調査」を実施した。

(1) 基本調査

- ア 暮らし全般について
- イ 生活意識
- ウ 暮らしの満足度
- エ 県行政への要望

(2) 第1回課題調査

- | | |
|-------------------|------------------|
| ア 食・食育 | ク 3R |
| イ 食の安全・安心 | ケ プラスチックごみ削減に向けて |
| ウ 神奈川県 of 農林水産業 | コ 職業能力開発 |
| エ ともに生きる社会かながわ | サ 犯罪被害者等への支援 |
| オ 男女共同参画 | シ 治安対策 |
| カ 神奈川県の人権 | ス ねんりんピックかながわ |
| キ SDGs（持続可能な開発目標） | |

(3) 第2回課題調査

- | | |
|------------------|-------------------|
| ア 気候変動への適応 | ク 地域コミュニティ |
| イ 環境に配慮した生活 | ケ 子育てにおける体罰 |
| ウ 生物多様性 | コ 消防団の認知度 |
| エ アルコール依存症に対する意識 | サ 地震対策の取組み |
| オ 肝炎対策 | シ 自転車損害賠償責任保険等の加入 |
| カ 「未病改善」の取組み | ス スポーツ |
| キ かながわの広報 | セ 東京2020大会に関する取組み |

3 調査設計

- | | |
|------------|---|
| (1) 調査地域 | 神奈川県全域 |
| (2) 調査対象 | 県内在住の満 18 歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 「基本調査」3,000 標本、「課題調査」各 3,000 標本 |
| (4) 標本抽出方法 | 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出 |
| (5) 調査回数 | 3 回（基本調査 年間 1 回、課題調査 年間 2 回） |
| (6) 調査時期 | 基本調査 7～8 月
第 1 回課題調査 9～10 月
第 2 回課題調査 10～11 月 |

4 調査方法

- (1) 郵送による調査票の配布
- (2) 郵送回答とインターネット回答の併用

基本調査

第 I 部 調査の概要

1 調査の目的

生活の各分野における県民ニーズを把握し、今後の行政施策の展開に資することを目的とする。

2 調査内容

- (1) 暮らし全般について（生活総合満足度、暮らし向きの変化、今後の暮らし向きの見通し、地域の住みよさ、定住意向）
- (2) 生活意識
- (3) 暮らしの満足度（身近な生活に関する 43 項目についての重要度及び満足度）
- (4) 県行政への要望

3 調査設計

- (1) 調査地域 神奈川県全域
- (2) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の男女
- (3) 標本数 3,000 標本
- (4) 標本抽出方法 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- (5) 調査方法
ア 郵送による調査票の配布
イ 郵送回答とインターネット回答の併用
- (6) 調査期間 令和 2 年 7 月 17 日（金）～ 8 月 11 日（火）
- (7) 調査委託機関 株式会社 CCNグループ

4 回収結果

- (1) 全体の回収結果

標 本 数	3,000 標本
有効回収数	1,576 標本 〔 郵送回答 : 1,256 件 〕 〔 インターネット回答 : 320 件 〕
有効回収率	52.5%

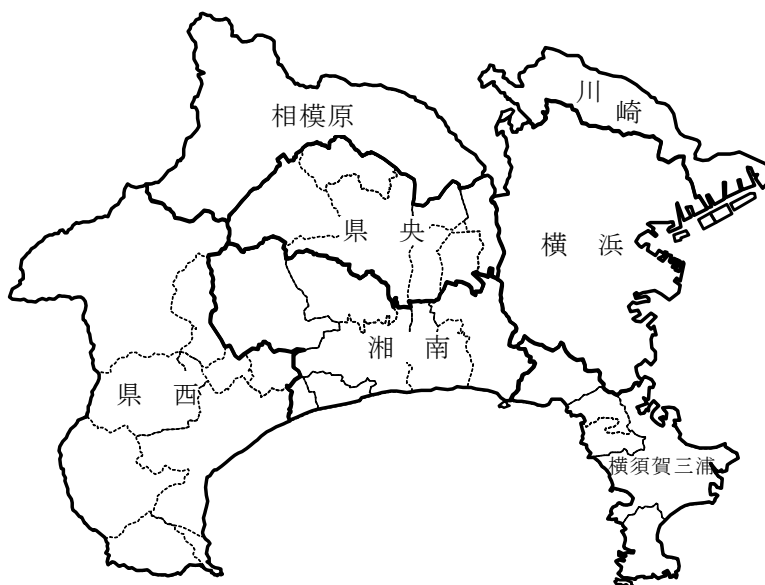
(2) 地域別の回収結果

地 域		設計標本数	有効回収数	有効回収率
横浜	横浜市	1,200	601	50.1%
川崎	川崎市	460	198	43.0%
相模原	相模原市	220	113	51.4%
横須賀三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町	260	128	49.2%
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村	300	152	50.7%
湘南	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町	440	249	56.6%
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町	120	63	52.5%
無 回 答			72	
全 体		3,000	1,576	52.5%

5 標本の抽出方法について

- (1) 県内を7地域に分類し、さらに各地域を人口規模によって層化した。
- (2) 各地域・人口規模別の層における18歳以上の人口（平成31年1月1日現在の推計値）により、3,000標本を比例配分した。
- (3) 比例配分した標本数を20（1地点あたりの標本数）で除し、地点数を算出した。

地域区分図



地点数及び標本配分

地域	人口50万人以上の市	人口50万人未満の市	町 村	計
横 浜	3,166,448人 60地点 1,200標本	-	-	3,166,448人 60地点 1,200標本
川 崎	1,257,176人 23地点 460標本	-	-	1,257,176人 23地点 460標本
相模原	612,764人 11地点 220標本	-	-	612,764人 11地点 220標本
横須賀三浦	-	575,348人 12地点 240標本	26,162人 1地点 20標本	601,510人 13地点 260標本
県 央	-	680,966人 14地点 280標本	36,148人 1地点 20標本	717,114人 15地点 300標本
湘 南	-	1,011,601人 20地点 400標本	91,091人 2地点 40標本	1,102,692人 22地点 440標本
県 西	-	199,149人 4地点 80標本	93,221人 2地点 40標本	292,370人 6地点 120標本
人口計	5,036,388人	2,467,064人	246,622人	7,750,074人
地点数計	94地点	50地点	6地点	150地点
標本数計	1,880標本	1,000標本	120標本	3,000標本

※ 人口数は、「神奈川県年齢別人口統計調査（平成31年1月1日現在）」（県統計センター）をもとに、18歳以上の各市区町村の人口を積算したものである。

6 集計・分析にあたって

- (1) 集計にあたっては、小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (2) 標本数「n」は「number of case」の略で、質問に対する回答者数を表す。
- (3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並べ替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。（例えば、「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせたものを《重要である》と表現している）。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (6) 男女の18～19歳などのサンプル数の少ない属性については参考値であり、グラフ上で数値が高いものでも有意差がない場合がある。
- (7) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。
- (8) 今後の精査により、数値等は変動することがある。

7 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数調査をした場合に得られる数値）と異なることがある。これを標本誤差という。

層化二段無作為抽出の場合、信頼度 95%のときの標本誤差は次の式で算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 回答者数
 P = 回答比率

上の式により、回答者数 (n)、および回答比率 (P) ごとに信頼度 95%のときの標本誤差(%)を計算すると、おおよそ次表のとおりとなる。

回答比率 (P) 回答者数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,576	± 2.14	± 2.85	± 3.26	± 3.49	± 3.56
1,400	± 2.27	± 3.02	± 3.46	± 3.70	± 3.78
1,200	± 2.45	± 3.27	± 3.74	± 4.00	± 4.08
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
800	± 3.00	± 4.00	± 4.58	± 4.90	± 5.00
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
400	± 4.24	± 5.66	± 6.48	± 6.93	± 7.07
200	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$ として算出している。

注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数 (n) が 1,576 で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差は 95%の信頼度で、±3.49%以内 (真の値は、56.51% ~ 63.49%) である」とみることができる。

8 回答者の属性

(1) 居住地域 (n=1,576) (%)

横浜	38.1
川崎	12.6
相模原	7.2
横須賀三浦	8.1
県央	9.6
湘南	15.8
県西	4.0

(無回答 4.6)

(2) 性別 (n=1,576) (%)

男性	41.9
女性	52.3

(無回答 5.7)

(3) 年齢 (n=1,576) (%)

18～19歳	-
20～29歳	4.8
30～39歳	12.4
40～49歳	20.6
50～59歳	19.7
60～69歳	19.0
70～74歳	12.1
75歳以上	7.2

(無回答 4.4)

(4) 65歳以上の同居者の有無

(n=1,576) (%)

いる	46.7
いない	47.6

(無回答 5.7)

(6) インターネットの利用状況

(n=1,576) (%)

よく利用する	60.3
ときどき利用する	15.5
あまり利用しない	6.3
利用しない	12.9

(無回答 5.0)

(5) 子どもの状況(複数回答) (n=1,576) (%)

小学校入学前	9.4
小学校在学中	11.7
中学校在学中	8.1
高校在学中	7.3
短大、専門学校等在学中	1.5
大学、大学院等在学中	7.1
学校教育終了[未婚]	23.9
学校教育終了[既婚]	25.3
その他	2.8
子どもはいない	26.2

(無回答 5.5)

(7) 職業区分

(n=1,576) (%)

自営業主・ 家族従業者	自営業主	6.7
	家族従業者	1.3
勤め・内職	勤め(フルタイム)	37.9
	勤め(パートタイム)	16.7
	内職	0.4
主婦・主夫(勤めについていない)		17.2
学生		0.5
無職		11.7
その他		0.4

(無回答 7.2)

(7-1) 有職者の職業内容

(n=992) (%)

自営業主・ 家族従業者	農林水産業	0.5
	商工サービス業	6.3
	自由業	5.0
勤め・内職	経営・管理職	7.4
	専門・技術職	18.9
	事務職	22.9
	教育職	4.2
	技能・労務職	10.7
	販売・サービス職	21.1

(無回答 3.1)

第Ⅱ部 調査結果の概要

調査結果の概要

調査結果のポイント

1. 前年度と比較した現在の暮らし向きについて、
《悪くなった》は9.9ポイント増 (P14 図表1-2)
2. 暮らし向きが《悪くなった》理由について、
「賃金などの収入が減ったため」が最も多かった。
(P15 図表1-3)
3. 県行政への要望では、「医療体制の整備」が**9.3ポイント増**
(P20 図表4)

【記載内容についての注意】

- ・ 調査結果の比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。
- ・ 文中の「n」は、「number of case」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- ・ 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせた場合に用いる。
例：「たいへん満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせたものを《満足している》と表現している。
また、この場合の比率は実際の回答数の合計から算出しているため、個々の選択肢の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- ・ 文中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。

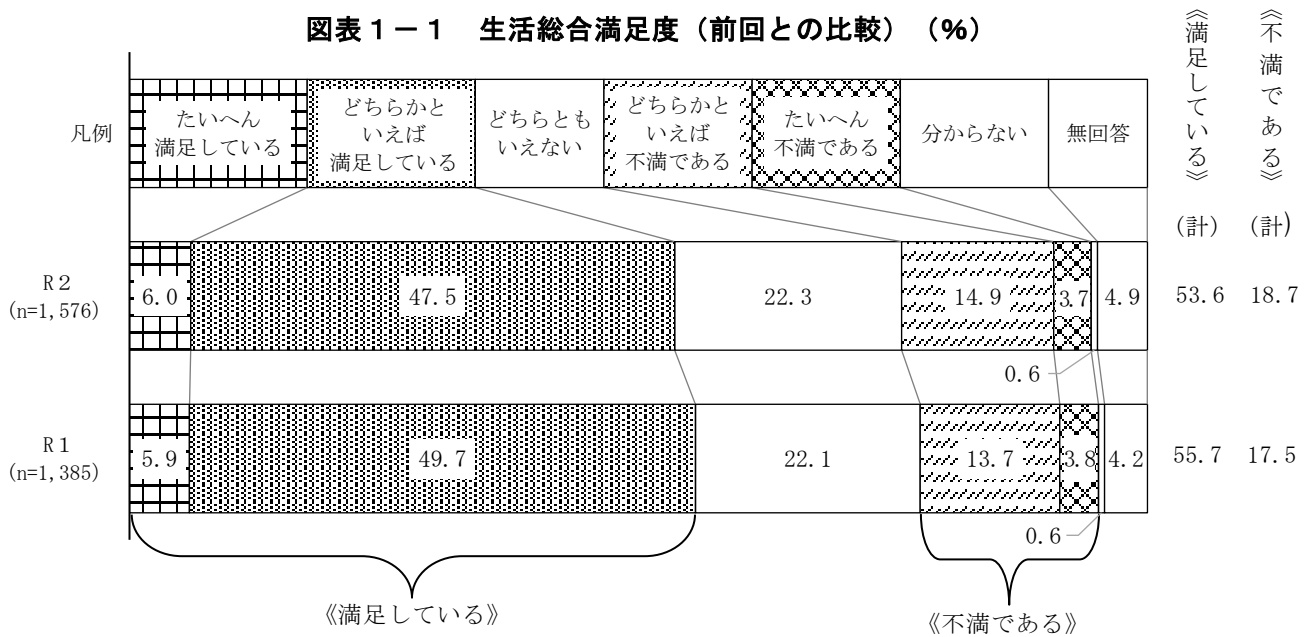
1 暮らし全般について(問1～問5)

▼生活総合満足度

現在の生活全般について、どの程度満足しているか尋ねた。

「たいへん満足している」(6.0%)と「どちらかといえば満足している」(47.5%)を合わせた《満足している》は53.6%で、前年度より2.1ポイント減(55.7%→53.6%)となった。
 一方、「たいへん不満である」(3.7%)と「どちらかといえば不満である」(14.9%)を合わせた《不満である》は18.7%で、前年度より1.2ポイント増(17.5%→18.7%)となった。〔図表1-1〕

図表1-1 生活総合満足度(前回との比較)(%)

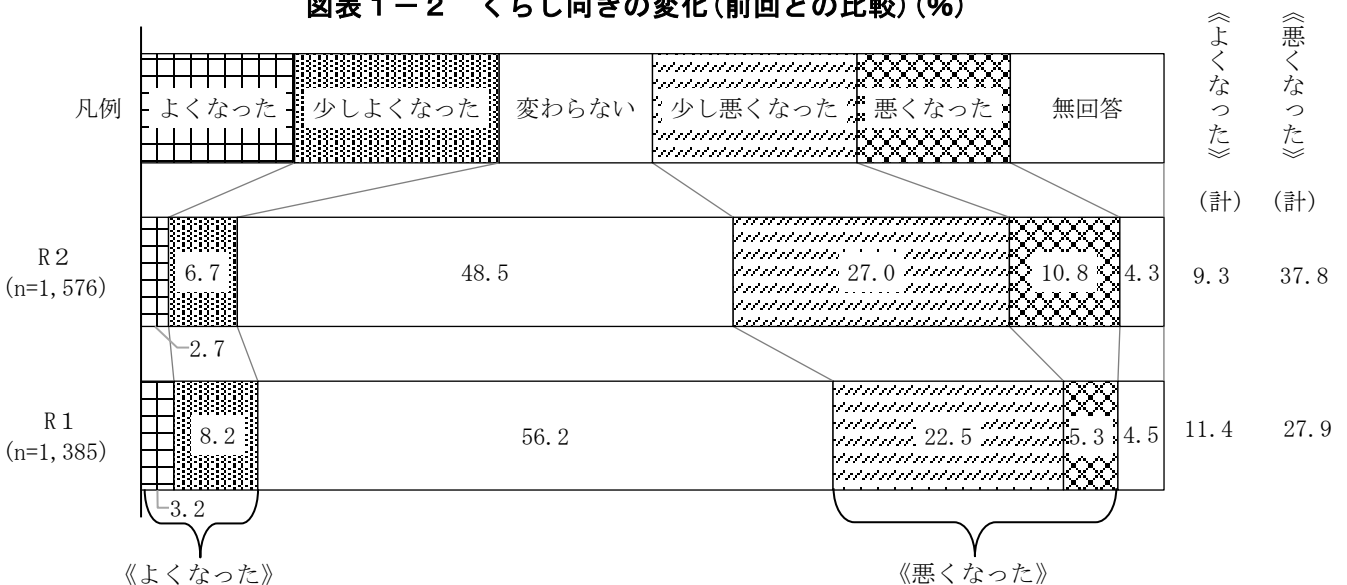


▼暮らし向きの変化

前年度と比較した現在の暮らし向きについて尋ねた。

「よくなった」(2.7%)と「少しよくなった」(6.7%)を合わせた《よくなった》は9.3%で、前年度より2.1ポイント減(11.4%→9.3%)となった。
 一方、「悪くなった」(10.8%)と「少し悪くなった」(27.0%)を合わせた《悪くなった》は37.8%で、前年度より9.9ポイント増(27.9%→37.8%)となった。〔図表1-2〕

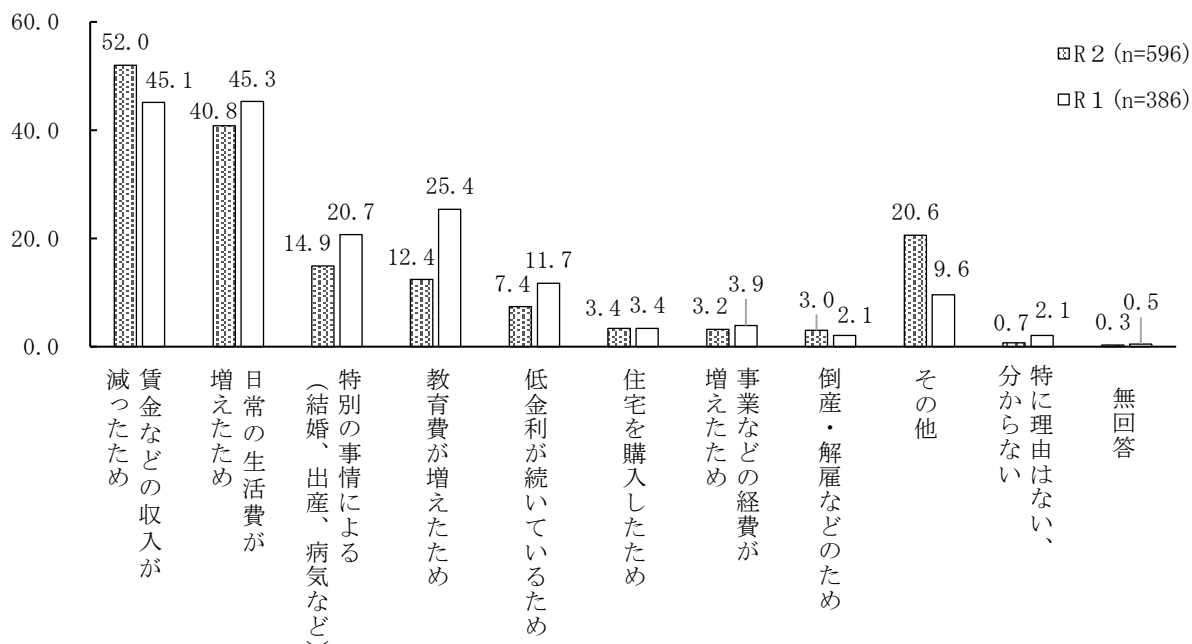
図表1-2 暮らし向きの変化(前回との比較)(%)



くらし向きが《悪くなった》と答えた596人にその理由を複数回答で尋ねたところ、「賃金などの収入が減ったため」が52.0%で最も多く、次いで「日常の生活費が増えたため」が40.8%であった。

前年度と比較して増減幅が最も大きかったのは、「教育費が増えたため」で13.0ポイント減(25.4%→12.4%)となった。〔図表1-3〕

図表1-3 くらし向きが悪くなった理由(前回との比較)(複数回答)(%)



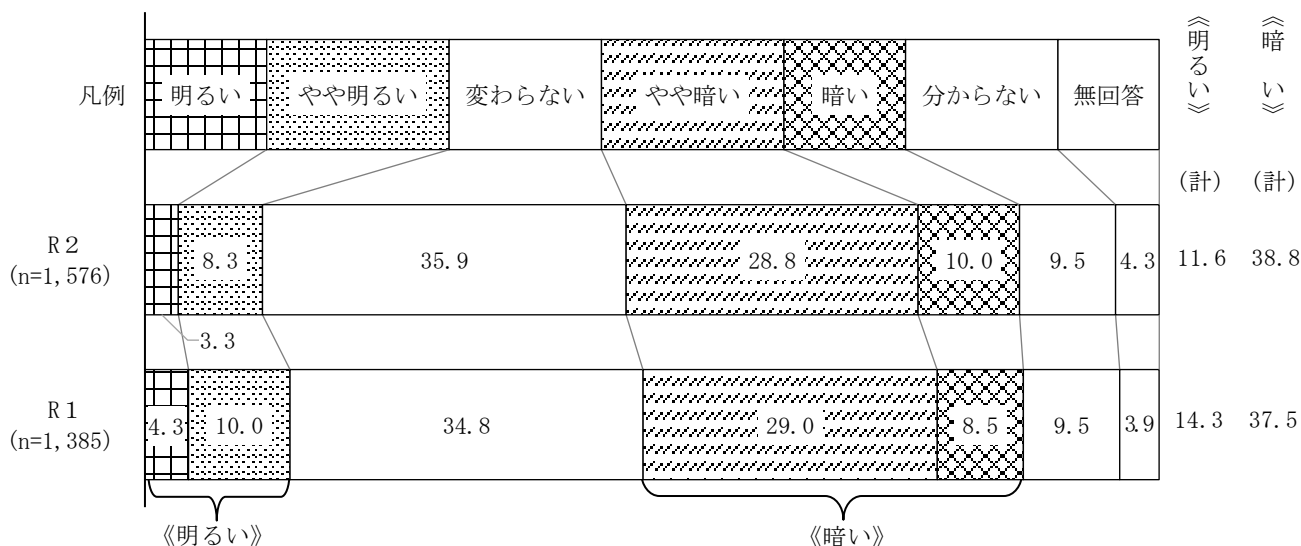
▼今後のくらし向きの見通し

今後のくらし向きの見通しを尋ねた。

「明るい」(3.3%)と「やや明るい」(8.3%)を合わせた《明るい》は11.6%で、前年度より2.7ポイント減(14.3%→11.6%)となった。

一方、「暗い」(10.0%)と「やや暗い」(28.8%)を合わせた《暗い》は38.8%で、前年度より1.3ポイント増(37.5%→38.8%)となった。〔図表1-4〕

図表1-4 今後のくらし向きの見通し(前回との比較)(%)



▼地域の住みよさ

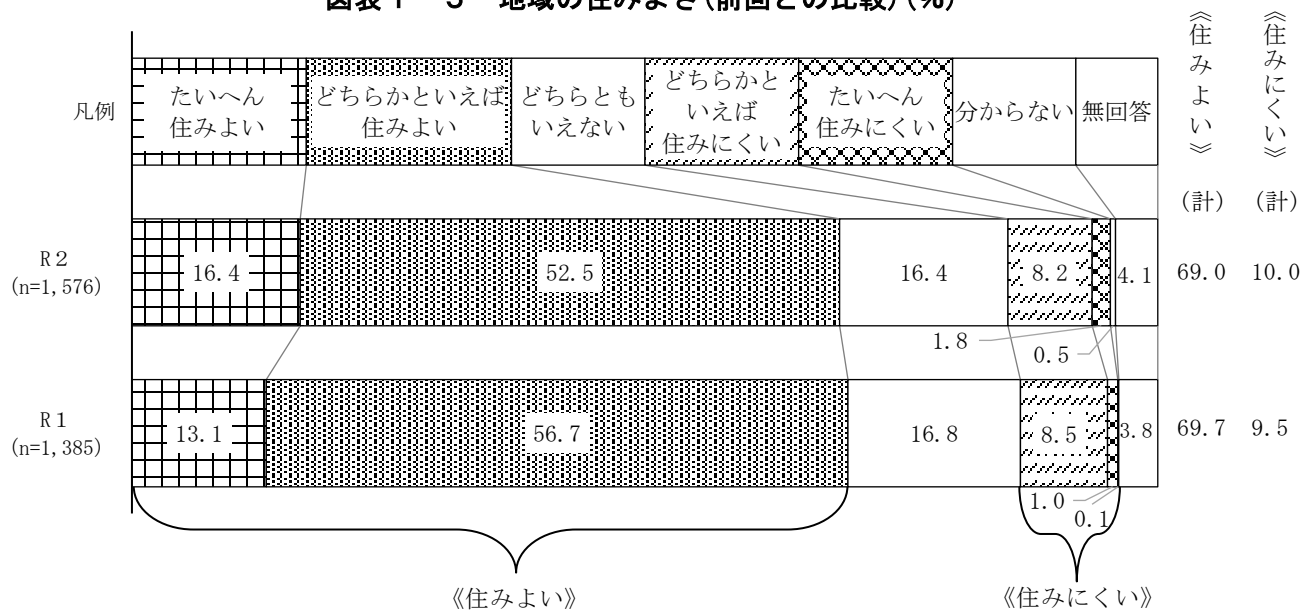
現在住んでいる地域の住みよさについて尋ねた。

「たいへん住みよい」（16.4%）と「どちらかといえば住みよい」（52.5%）を合わせた《住みよい》は69.0%で、前年度より0.7ポイント減（69.7%→69.0%）となった。

一方、「たいへん住みにくい」（1.8%）と「どちらかといえば住みにくい」（8.2%）を合わせた《住みにくい》は10.0%で、前年度より0.5ポイント増（9.5%→10.0%）となった。

〔図表 1－5〕

図表 1－5 地域の住みよさ(前回との比較)(%)

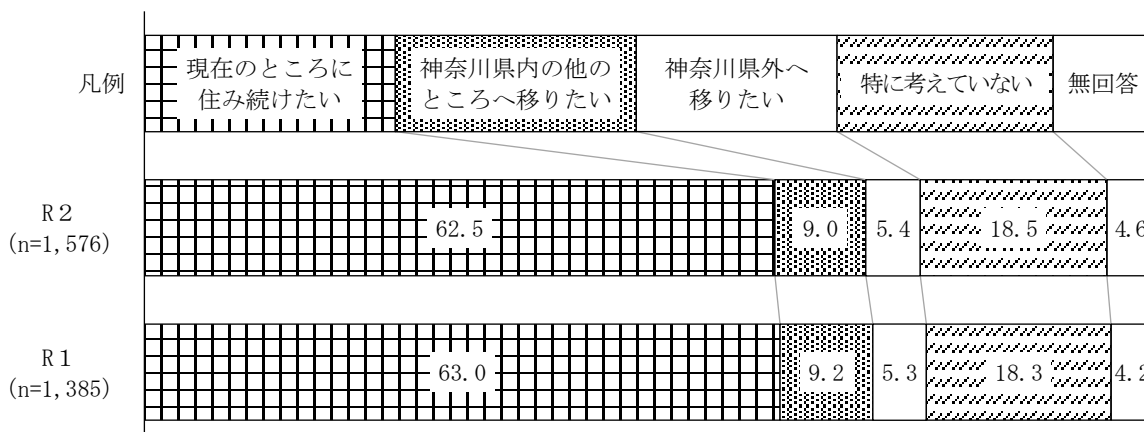


▼定住意向

今後も現在のところに住み続けたいか尋ねたところ、「現在のところに住み続けたい」が62.5%で最も多く、「神奈川県外へ移りたい」は5.4%で最も少なかった。

前年度と比較すると、「現在のところに住み続けたい」は0.5ポイント減（63.0%→62.5%）となり、「神奈川県外へ移りたい」は0.1ポイント増（5.3%→5.4%）となった。〔図表 1－6〕

図表 1－6 定住意向(前回との比較)(%)



2 生活意識(問6)

県民の様々な生活意識や態度を把握するために、34の項目を提示して「そう思う」と「そう思わない」で尋ねた。

「そう思う」と「そう思わない」の上位5項目の結果を表にすると、〔図表2〕のとおりとなった。

前年度と比較すると、「そう思う」では、「環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている」が0.7ポイント減(92.5%→91.8%)で、前年度に続いて第1位となった。

一方、「そう思わない」では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」が2.2ポイント増(82.7%→84.9%)で、前年度に続いて第1位となった。

図表2 「そう思う」、「そう思わない」の上位5項目 (n=1,576)

順位	「そう思う」	順位	「そう思わない」
1	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている 91.8% (1位92.5%)	1	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ 84.9% (1位82.7%)
2	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ 91.2% (2位91.2%)	2	今後10年くらいの中に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている 80.1% (2位80.4%)
3	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ 89.6% (3位88.8%)	3	今後10年くらいの中に、地域の大人が、青少年の健やかな成長に責任を持つようになっている 79.4% (3位77.8%)
4	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ 85.6% (4位82.2%)	4	今後10年くらいの中に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている 75.5% (4位75.2%)
5	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい 83.2% (5位80.6%)	5	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている 73.9% (5位73.9%)

()内は令和元年度の結果(n=1,385)

3 暮らしの満足度(問7)

身近な生活に関する43項目について、それぞれの「重要度」及び「満足度」を尋ねた。

なお、「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせたものを《重要である》、「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせたものを《満たされている》、「あまり満たされていない」と「ほとんど満たされていない」を合わせたものを《満たされていない》と表している。

▼重要度

《重要である》の上位10項目の結果を表にすると、〔図表3-1〕のとおりとなった。

前年度と比較すると、《重要である》では、「病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」が0.5ポイント減(94.7%→94.2%)で、前年度に続いて第1位となった。

図表3-1 《重要である》の上位10項目 (n=1,576)

順位	《重要である》	
1	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること	94.2% (1位94.7%)
2	犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること	93.7% (2位92.1%)
3	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	91.4% (3位92.0%)
4	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること	91.2% (4位91.8%)
5	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	90.4% (5位90.3%)
6	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと	90.3% (6位90.0%)
7	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること	89.0% (8位87.1%)
8	安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること	86.2% (10位85.3%)
9	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	85.0% (11位84.6%)
10	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること	83.2% (新規)

()内は令和元年度の結果(n=1,385)

▼満足度

《満たされている》と《満たされていない》の上位5項目の結果を表にすると、〔図表3-2〕のとおりとなった。

前年度と比較すると、《満たされている》では、「ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」が50.8%で、第1位となった。

一方、《満たされていない》では、「地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が2.2ポイント増(41.6%→43.8%)で、前年度に続いて第1位となった。

図表3-2 《満たされている》、《満たされていない》の上位5項目 (n=1,576)

順位	《満たされている》	順位	《満たされていない》
1	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること 50.8% (新規)	1	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること 43.8% (1位41.6%)
2	身近に親しめるみどりや水辺があること 49.8% (3位46.9%)	2	道路の渋滞がないなど、自動車ですべての県内各地へスムーズに移動できること 36.7% (4位33.9%)
3	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと 48.4% (2位49.7%)	3	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること 32.0% (7位31.8%)
4	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること 44.7% (5位41.2%)	4	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること 31.5% (2位37.8%)
5	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること 44.4% (4位43.5%)	5	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること 31.3% (5位33.6%)

()内は令和元年度の結果(n=1,385)

4 県行政への要望(問8)

県行政を進めていくうえで力を入れて取り組んでほしい分野について、30項目を挙げて尋ねたところ、上位10項目は〔図表4〕のとおりとなった。

前年度と比較すると、「防災対策」は3.9ポイントの増(49.4%→53.3%)で、前年度に続いて第1位となった。また、上位10項目の中で前年度と比較して増減幅が最も大きかったのは、「医療体制の整備」で、9.3ポイントの増(33.0%→42.3%)となった。

図表4 県行政への要望 上位10項目(複数回答) (n=1,576)

順位	力を入れて取り組んでほしい分野
1	防災対策 53.3% (1位49.4%)
2	治安対策 47.1% (2位44.8%)
3	医療体制の整備 42.3% (3位33.0%)
4	高齢者の福祉対策 36.5% (5位32.1%)
5	子育て支援 31.4% (4位32.5%)
6	地球温暖化の防止 23.2% (6位22.2%)
7	学校教育の充実 21.5% (7位21.9%)
8	道路やまちなみの整備 17.5% (12位14.4%)
9	交通安全対策 15.7% (8位17.7%)
10	公共交通の利便性を高める 15.1% (11位14.9%)

()内は令和元年度の結果(n=1,385)

第Ⅲ部 調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

- (注1) 小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (注2) 「n」は「number of case」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- (注3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (注4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並び替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (注5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (注6) 男女の18～19歳などのサンプル数の少ない属性については参考値であり、グラフ上で数値が高いものでも有意差がない場合がある。
- (注7) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。

第1章 暮らし全般について【問1～問5】

1 生活総合満足度【問1】

【全体の状況】

現在の生活全般についてどの程度満足しているか尋ねたところ、「たいへん満足している」(6.0%)と「どちらかといえば満足している」(47.5%)を合わせた《満足している》は53.6%であった。

一方、「たいへん不満である」(3.7%)と「どちらかといえば不満である」(14.9%)を合わせた《不満である》は18.7%で、《満足している》が《不満である》を34.9ポイント上回った。

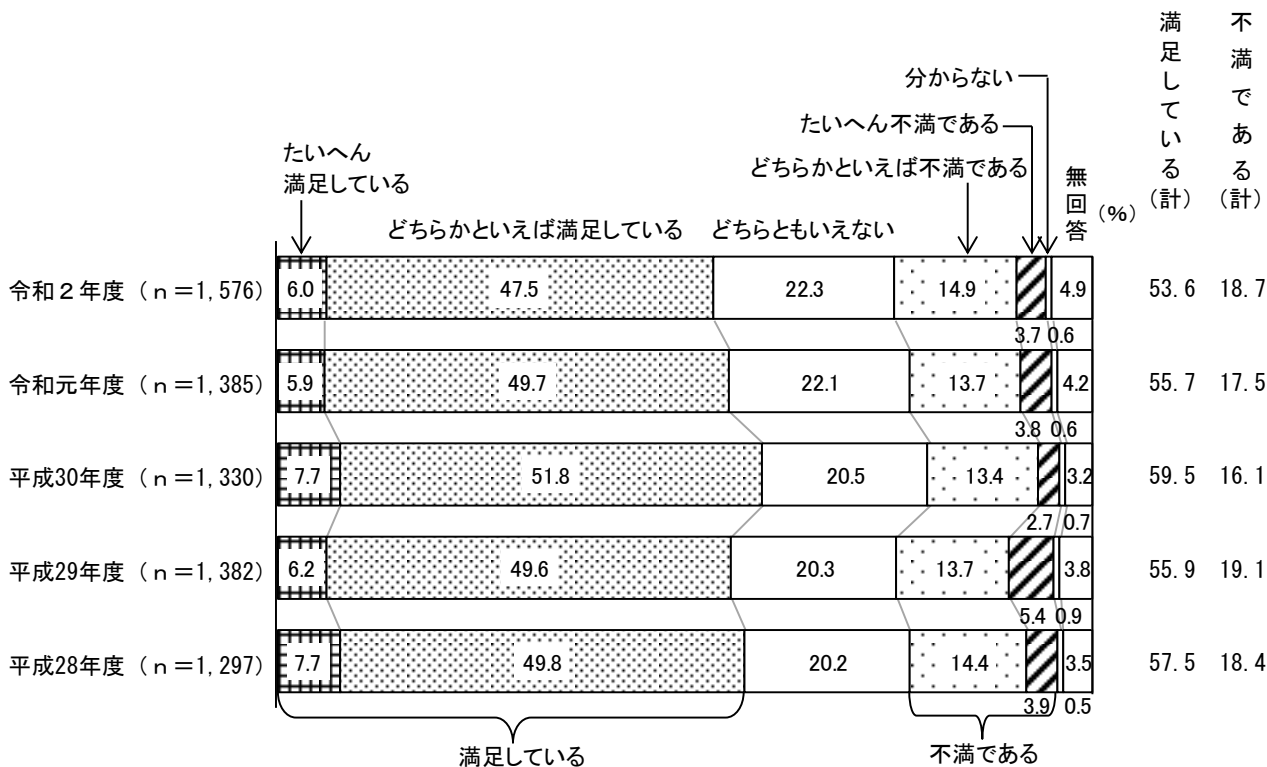
また、「どちらともいえない」は、22.3%であった。(図表1-1-1)

【過去との比較】

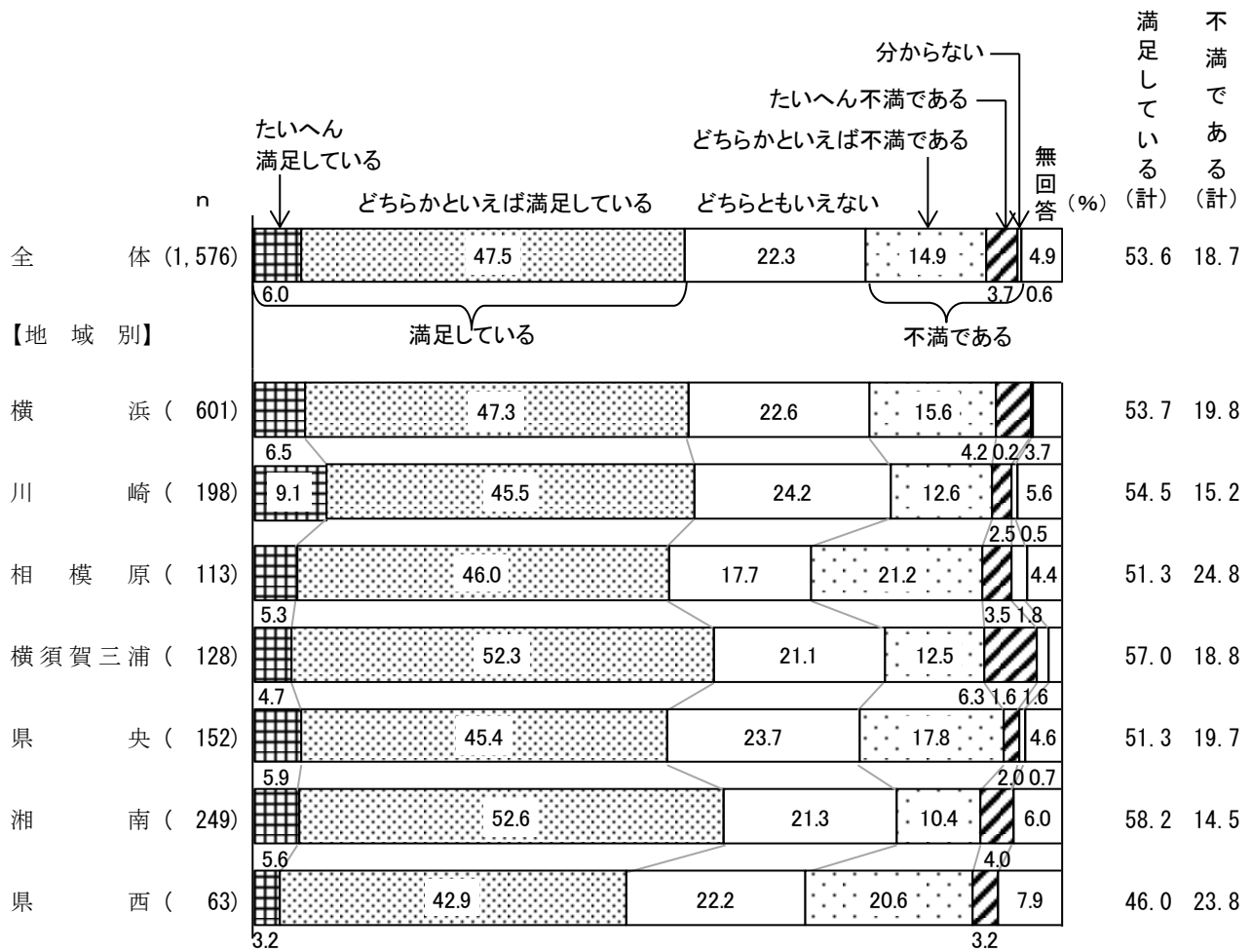
過去の調査と比較すると、《満足している》では、令和元年度は平成30年度と比べて3.8ポイント減(59.5%→55.7%)で、令和2年度は令和元年度と比べて2.1ポイント減(55.7%→53.6%)となった。

一方、《不満である》では、令和元年度は平成30年度と比べて1.4ポイント増(16.1%→17.5%)で、令和2年度は令和元年度と比べて1.2ポイント増(17.5%→18.7%)となった。(図表1-1-1)

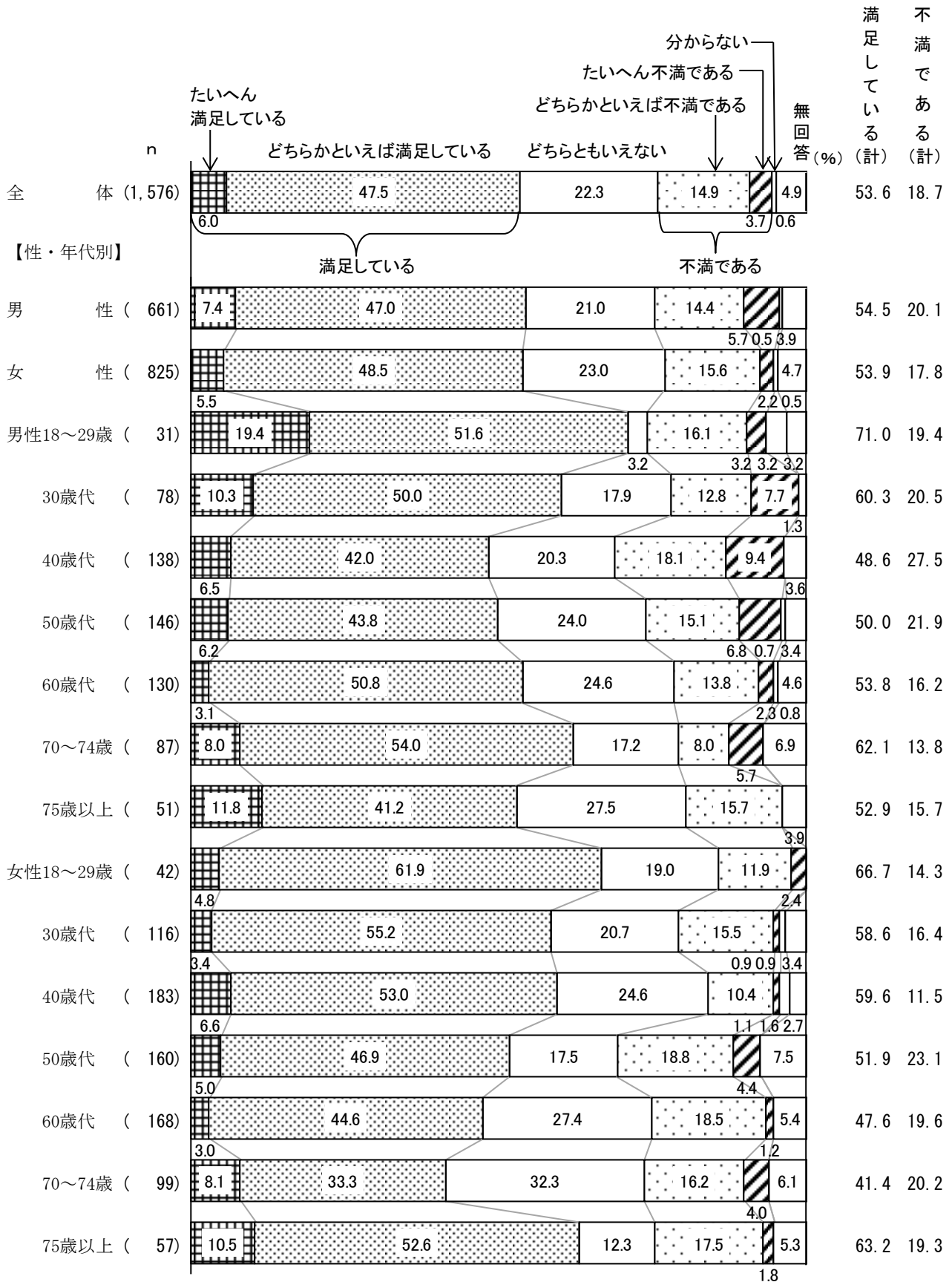
図表1-1-1 生活総合満足度—過去との比較



図表1-1-2 生活総合満足度—地域別



図表1-1-3 生活総合満足度－性・年代別



2 暮らし向きの変化【問2～問2-1】

【全体の状況】

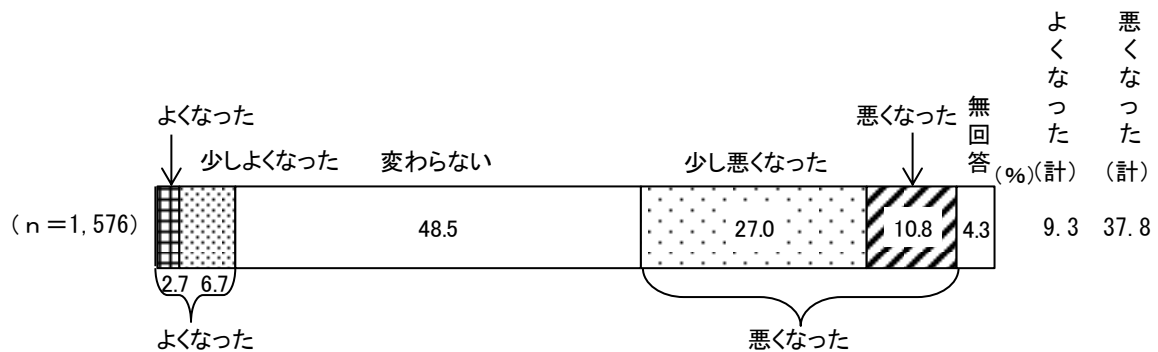
昨年と比較した現在の暮らし向きの変化について尋ねたところ、「よくなった」(2.7%)と「少しよくなった」(6.7%)を合わせた《よくなった》は9.3%であった。

一方、「悪くなった」(10.8%)と「少し悪くなった」(27.0%)を合わせた《悪くなった》は37.8%で、《悪くなった》が《よくなった》を28.5ポイント上回った。

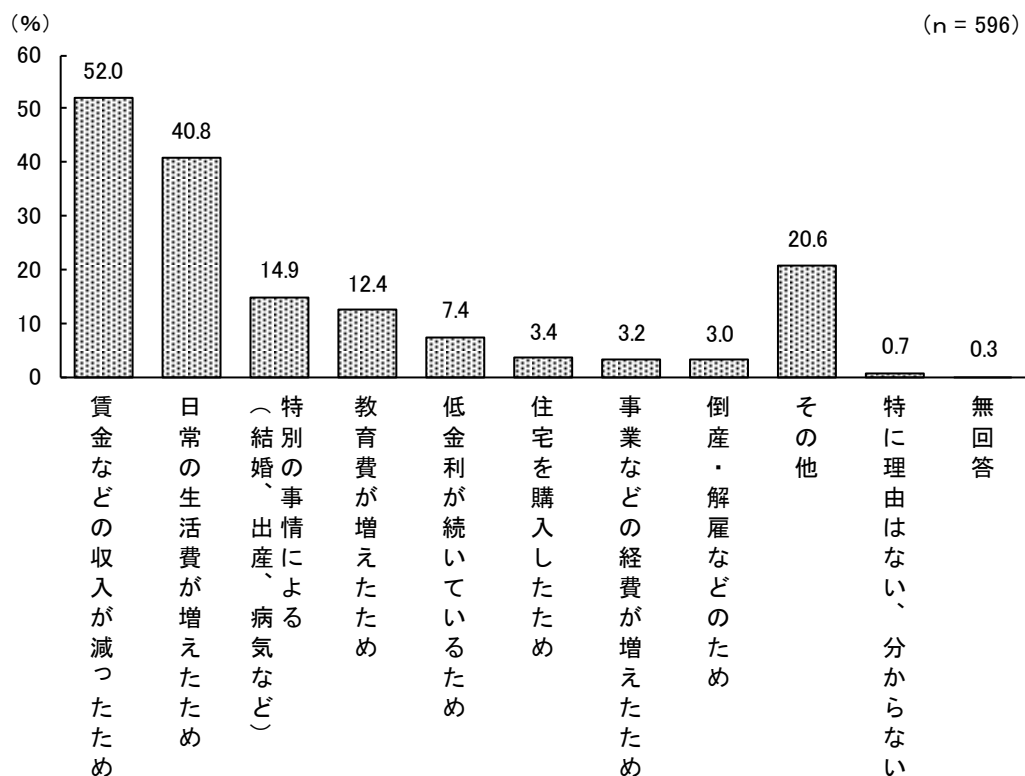
また、「変わらない」は、48.5%であった。(図表1-2-1)

暮らし向きが《悪くなった》と回答した596人に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「賃金などの収入が減ったため」が52.0%で最も多く、次いで「日常の生活費が増えたため」が40.8%であった。(図表1-2-2)

図表1-2-1 暮らし向きの変化



図表1-2-2 暮らし向きが悪くなった理由(複数回答)

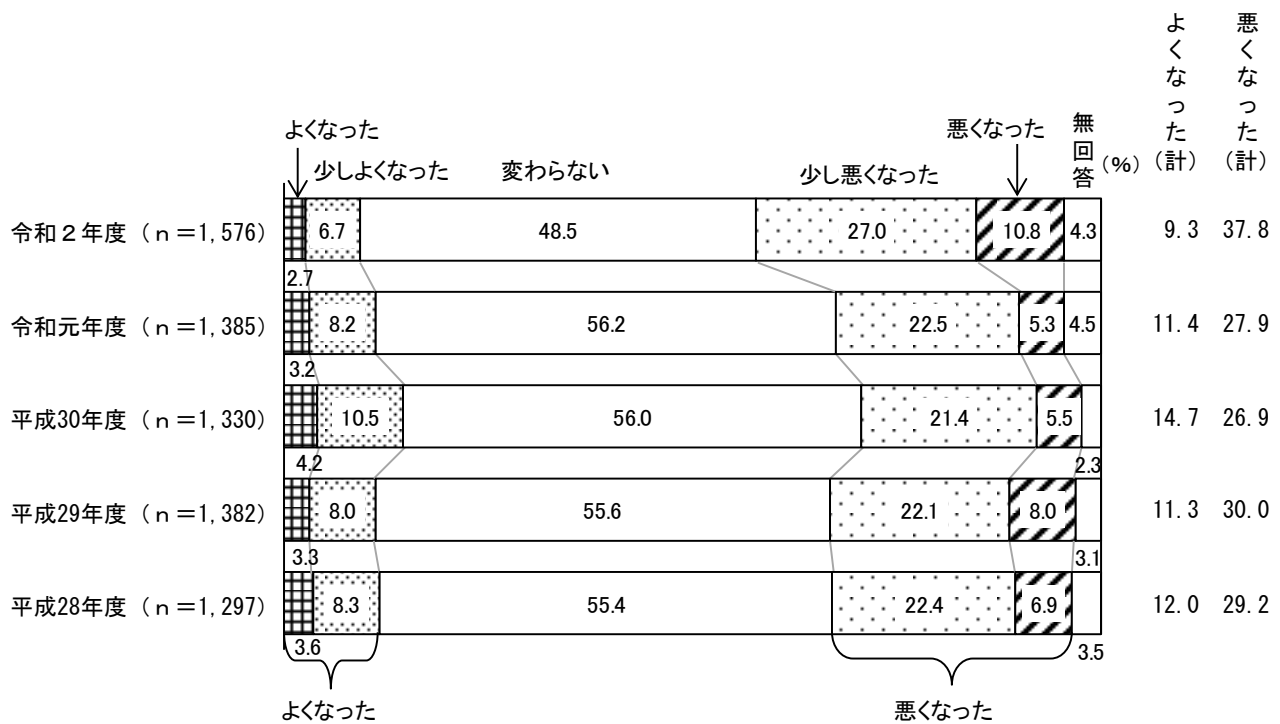


【過去との比較】

くらし向きの変化を過去の調査と比較すると、《よくなった》は、令和元年度は平成30年度と比べて3.3ポイント減（14.7%→11.4%）で、令和2年度は令和元年度と比べて2.1ポイント減（11.4%→9.3%）となった。

一方、《悪くなった》は、令和元年度は平成30年度と比べて1.0ポイント増（26.9%→27.9%）で、令和2年度は令和元年度と比べて9.9ポイント増（27.9%→37.8%）となった。（図表1-2-3）

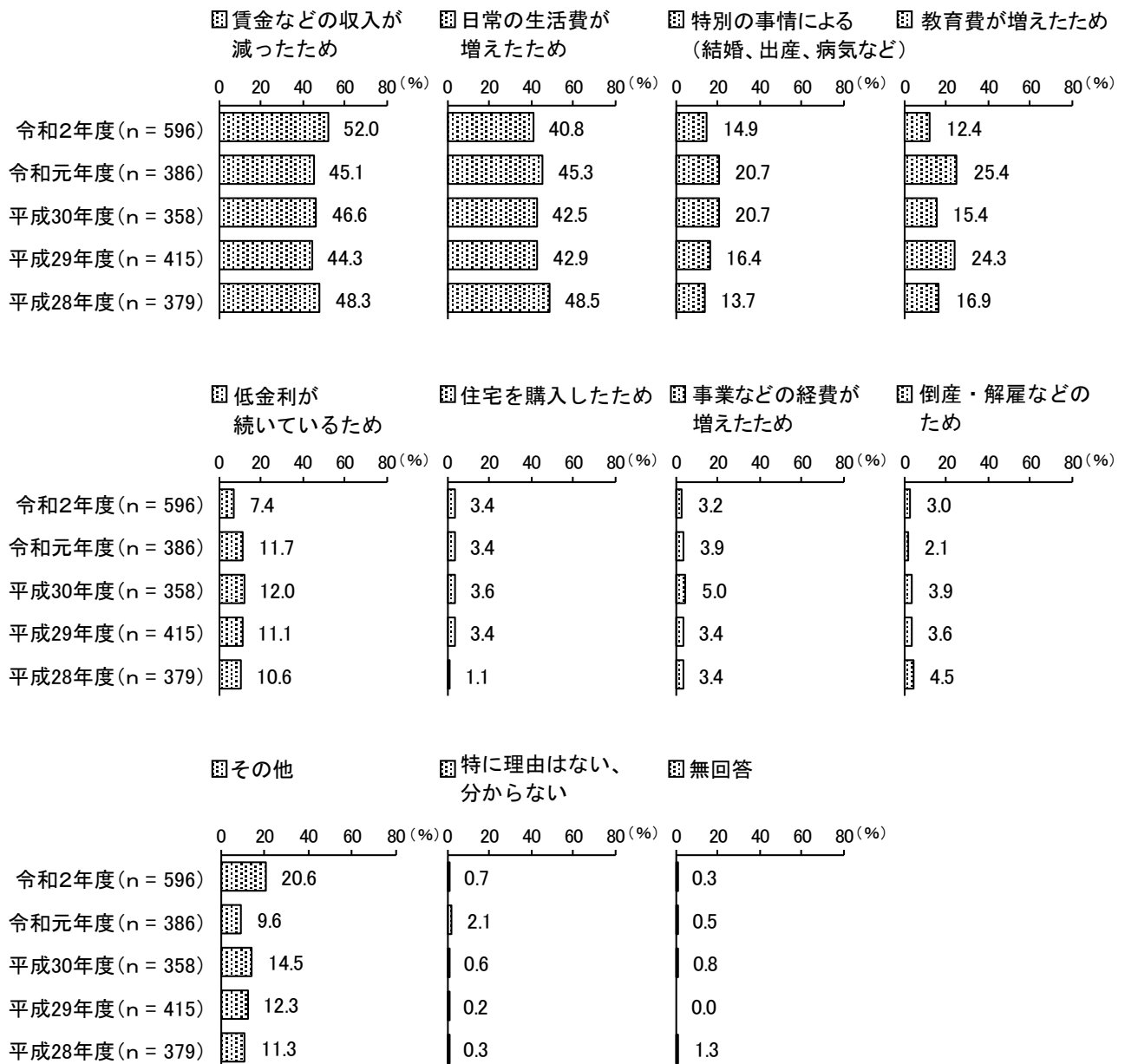
図表1-2-3 くらし向きの変化－過去との比較



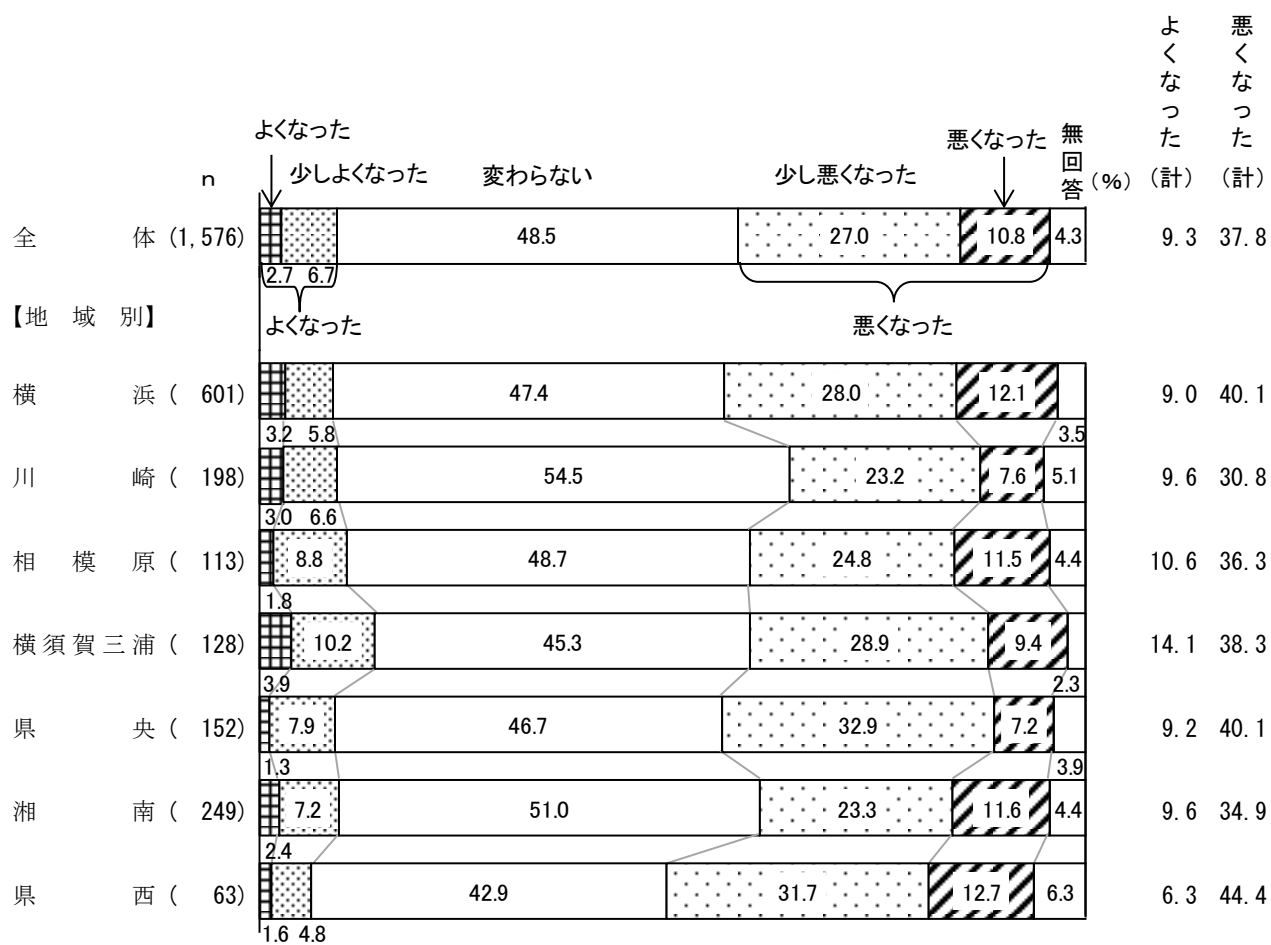
暮らし向きが《悪くなった》理由を過去の調査と比較すると、「教育費が増えたため」は、令和元年度と比べて13.0ポイント減(25.4%→12.4%)となり、最も減少した項目であった。

一方、「賃金などの収入が減ったため」は、令和元年度と比べて6.9ポイント増(45.1%→52.0%)となり、最も増加した項目であった。(図表1-2-4)

図表1-2-4 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－過去との比較



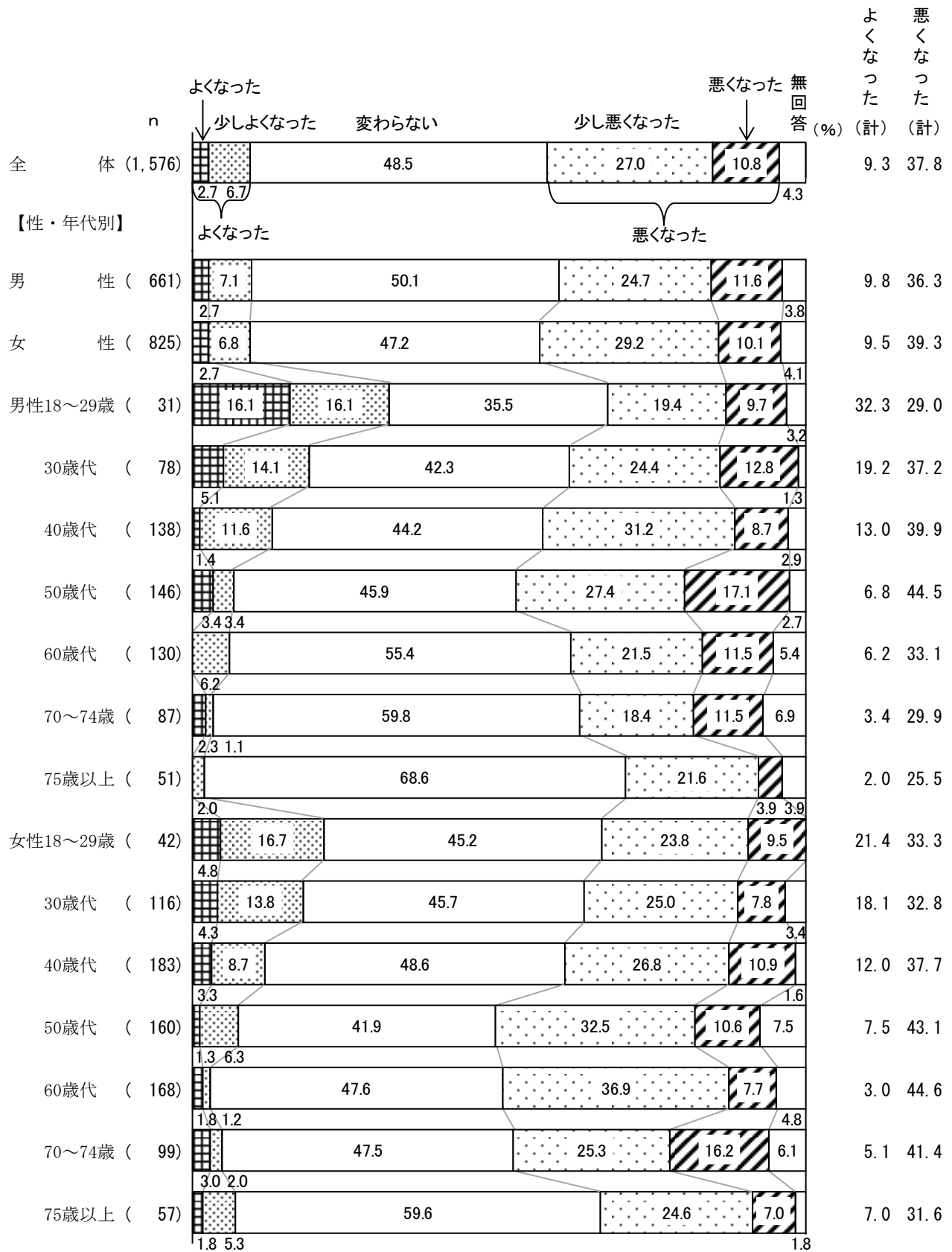
図表1-2-5 暮らし向きの変化—地域別



図表1-2-6 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－地域別

		(%)										
	n	賃金などの収入が減ったため	日常生活費が増えたため	産、特別の事情による（結婚、出産、病気など）	教育費が増えたため	低金利が続いているため	住宅を購入したため	事業などの経費が増えたため	倒産・解雇などのため	その他	特に理由はない、分からない	無回答
全 体	596	52.0	40.8	14.9	12.4	7.4	3.4	3.2	3.0	20.6	0.7	0.3
【地 域 別】												
横 浜	241	46.5	43.2	15.8	14.9	6.6	3.7	2.1	2.1	22.4	0.4	0.4
川 崎	61	54.1	37.7	14.8	11.5	9.8	4.9	3.3	8.2	23.0	-	-
相 模 原	41	65.9	39.0	17.1	7.3	4.9	-	-	-	7.3	4.9	-
横須賀三浦	49	51.0	36.7	16.3	16.3	6.1	8.2	4.1	8.2	24.5	2.0	-
県 央	61	59.0	32.8	14.8	9.8	1.6	3.3	8.2	1.6	13.1	-	-
湘 南	87	51.7	44.8	12.6	12.6	12.6	2.3	1.1	2.3	27.6	-	-
県 西	28	60.7	39.3	7.1	10.7	10.7	-	3.6	-	17.9	-	-

図表1-2-7 暮らし向きの変化—性・年代別



図表1-2-8 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－性・年代別

(%)

	n	賃金などの収入が減ったため	日常生活費が増えたため	産、病気など） 特別の事情による（結婚、出	教育費が増えたため	低金利が続いているため	住宅を購入したため	事業などの経費が増えたため	倒産・解雇などのため	その他	特に理由はない、分からない	無回答
全 体	596	52.0	40.8	14.9	12.4	7.4	3.4	3.2	3.0	20.6	0.7	0.3
【性・年代別】												
男 性	240	55.8	37.9	11.3	12.1	7.5	4.2	4.2	3.3	20.8	0.8	-
女 性	324	49.7	42.9	17.0	13.6	7.4	3.1	1.5	2.8	21.9	0.6	-
男性 18～29歳	9	22.2	66.7	11.1	11.1	-	11.1	-	-	33.3	-	-
30 歳代	29	44.8	34.5	13.8	17.2	6.9	13.8	3.4	6.9	34.5	-	-
40 歳代	55	58.2	54.5	10.9	29.1	5.5	7.3	5.5	3.6	10.9	1.8	-
50 歳代	65	63.1	33.8	13.8	7.7	6.2	-	3.1	6.2	20.0	-	-
60 歳代	43	69.8	14.0	11.6	2.3	2.3	2.3	7.0	-	25.6	-	-
70～74歳	26	26.9	50.0	7.7	-	30.8	-	-	-	26.9	3.8	-
75歳以上	13	69.2	30.8	-	7.7	-	-	7.7	-	-	-	-
女性 18～29歳	14	35.7	14.3	7.1	7.1	7.1	-	-	7.1	50.0	-	-
30 歳代	38	55.3	52.6	21.1	18.4	2.6	7.9	-	2.6	18.4	-	-
40 歳代	69	52.2	37.7	14.5	33.3	2.9	5.8	1.4	2.9	27.5	-	-
50 歳代	69	63.8	44.9	17.4	15.9	4.3	2.9	1.4	4.3	10.1	-	-
60 歳代	75	50.7	49.3	14.7	2.7	10.7	1.3	2.7	1.3	24.0	1.3	-
70～74歳	41	29.3	39.0	17.1	-	19.5	-	2.4	2.4	24.4	-	-
75歳以上	18	27.8	38.9	33.3	-	5.6	-	-	-	16.7	5.6	-

3 今後の暮らし向きの見通し【問3】

【全体の状況】

今後の暮らし向きの見通しを尋ねたところ、「明るい」(3.3%)と「やや明るい」(8.3%)を合わせた《明るい》は11.6%であった。

一方、「暗い」(10.0%)と「やや暗い」(28.8%)を合わせた《暗い》は38.8%となり、《暗い》が《明るい》を27.2ポイント上回った。

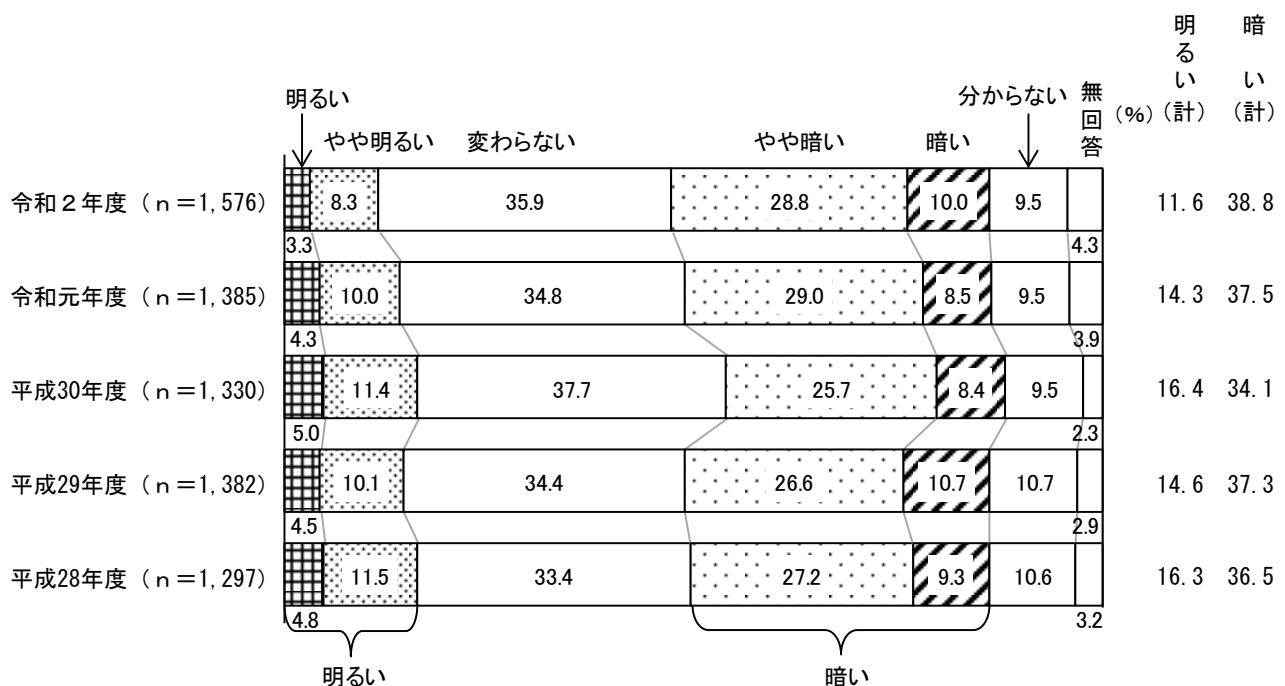
また、「変わらない」は、35.9%であった。(図表1-3-1)

【過去との比較】

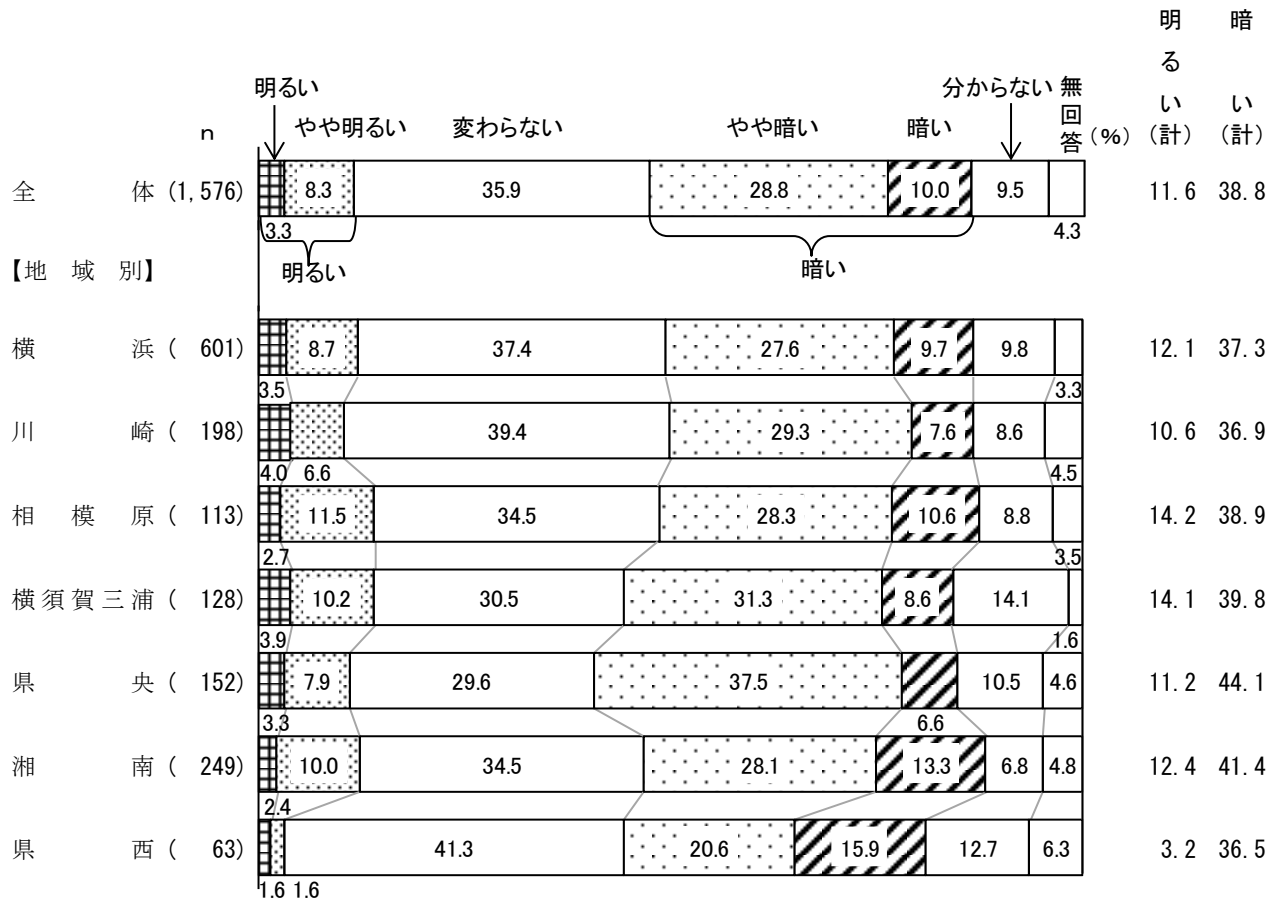
過去の調査と比較すると、《明るい》は、令和元年度は平成30年度と比べて2.1ポイント減(16.4%→14.3%)で、令和2年度は令和元年度と比べて2.7ポイント減(14.3%→11.6%)となった。

一方、《暗い》は、令和元年度は平成30年度と比べて3.4ポイント増(34.1%→37.5%)で、令和2年度は令和元年度と比べて1.3ポイント増(37.5%→38.8%)となった。(図表1-3-1)

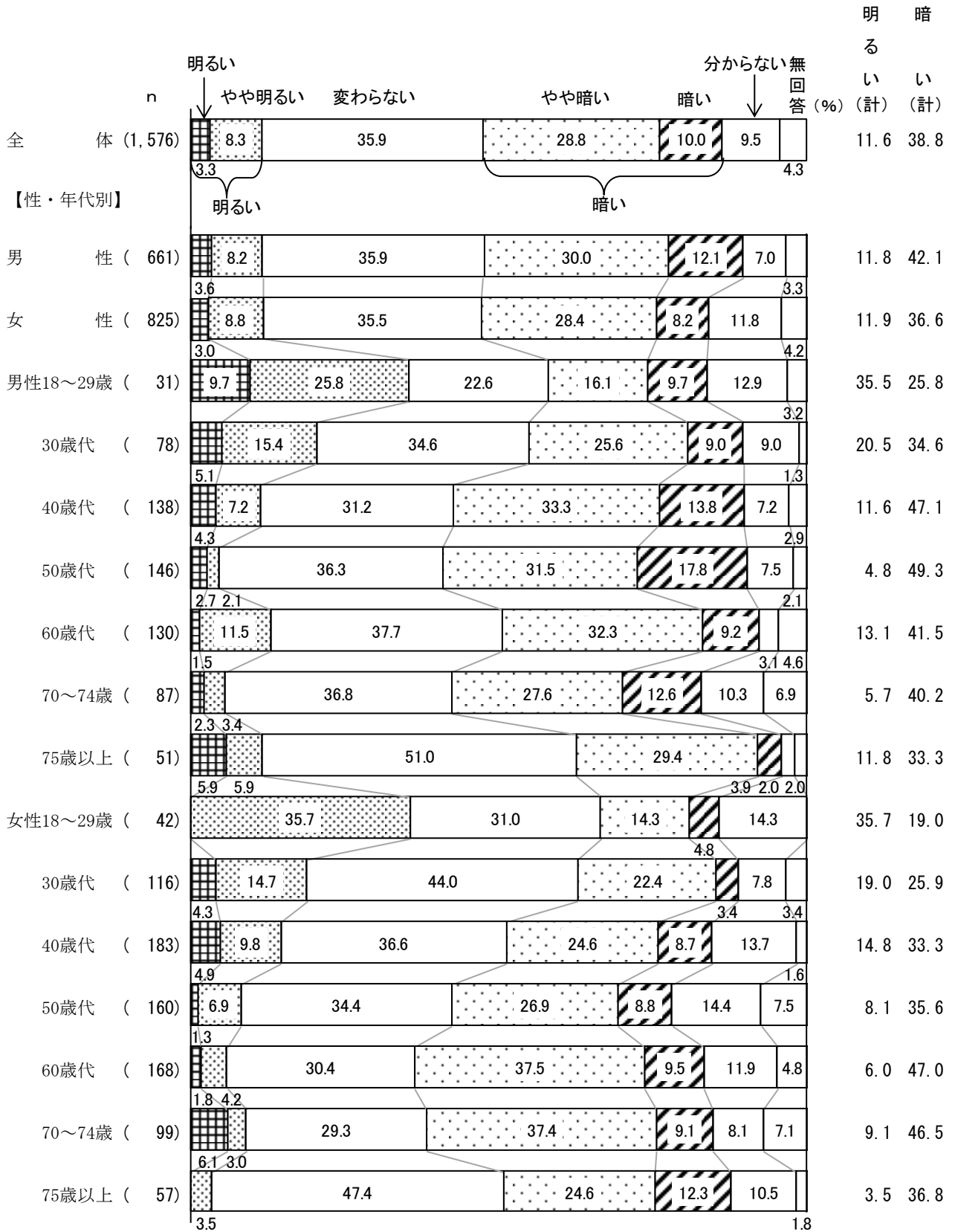
図表1-3-1 今後の暮らし向きの見通し—過去との比較



図表1-3-2 今後の暮らし向きの見通し—地域別



図表1-3-3 今後の暮らし向きの見通し－性・年代別



4 地域の住みよさ【問4】

【全体の状況】

現在住んでいる地域の住みよさについて尋ねたところ、「たいへん住みよい」(16.4%)と「どちらかといえば住みよい」(52.5%)を合わせた《住みよい》は69.0%であった。

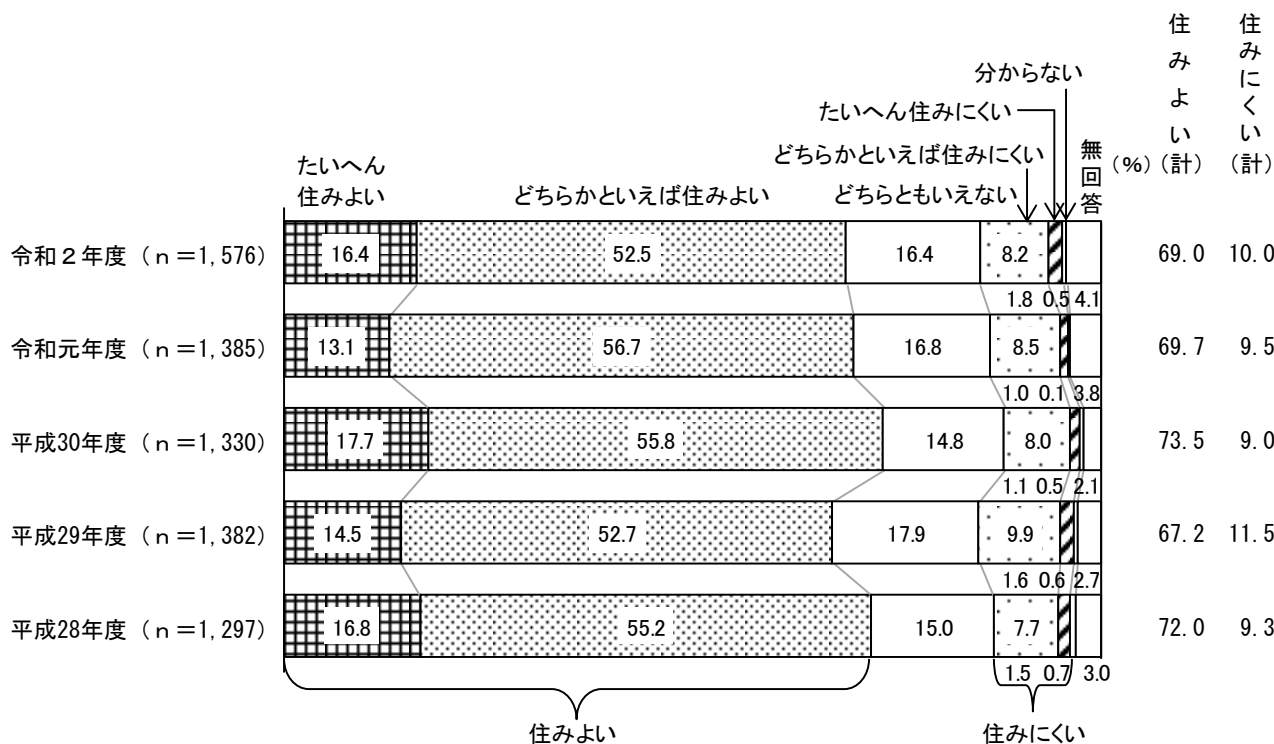
一方、「たいへん住みにくい」(1.8%)と「どちらかといえば住みにくい」(8.2%)を合わせた《住みにくい》は10.0%で、《住みよい》が《住みにくい》を59.0ポイント上回った。(図表1-4-1)

【過去との比較】

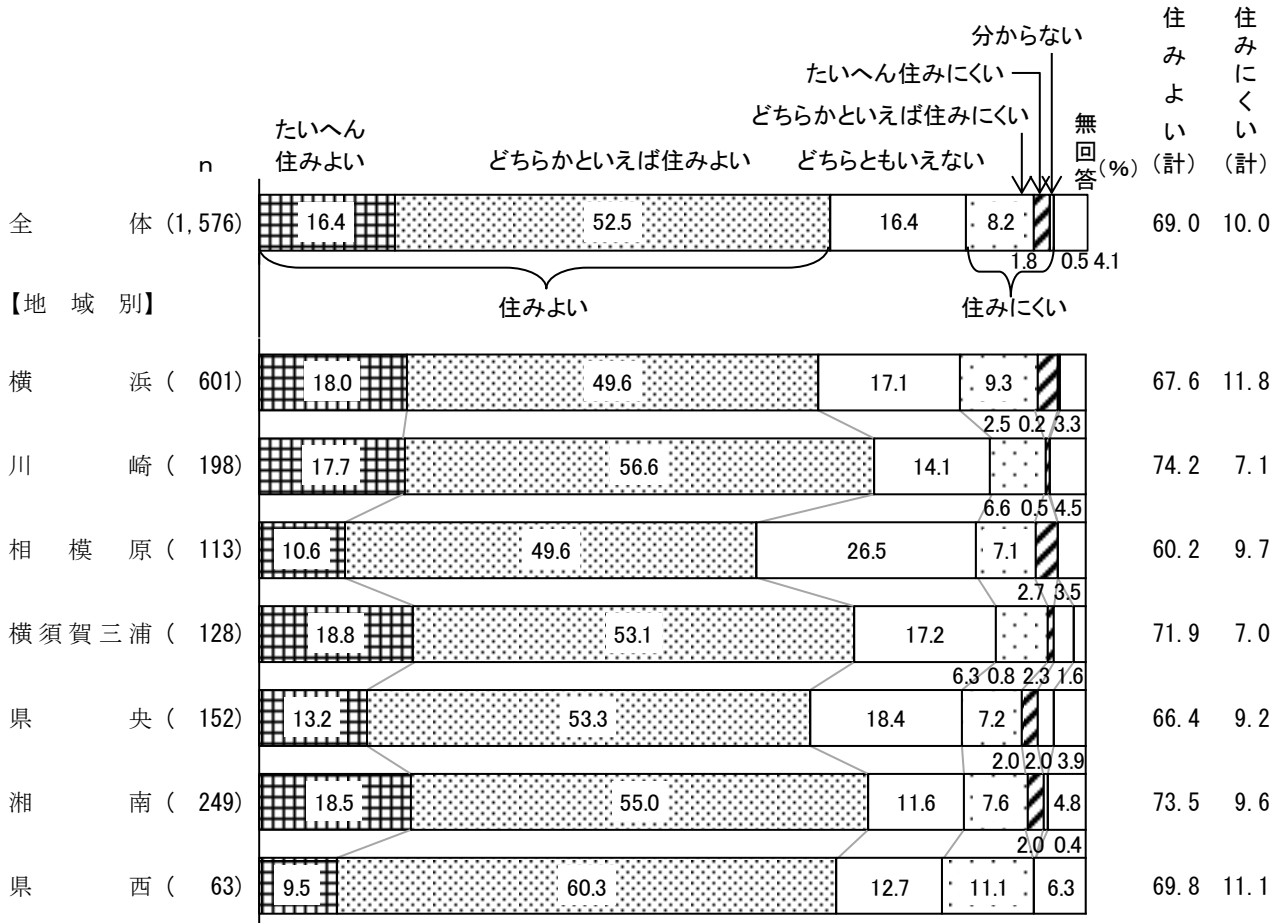
過去の調査と比較すると、《住みよい》は、令和元年度は平成30年度と比べて3.8ポイント減(73.5%→69.7%)で、令和2年度は令和元年度と比べて0.7ポイント減(69.7%→69.0%)となった。

一方、《住みにくい》は、令和元年度は平成30年度と比べて0.5ポイント増(9.0%→9.5%)で、令和2年度は令和元年度と比べて0.5ポイント増(9.5%→10.0%)となった。(図表1-4-1)

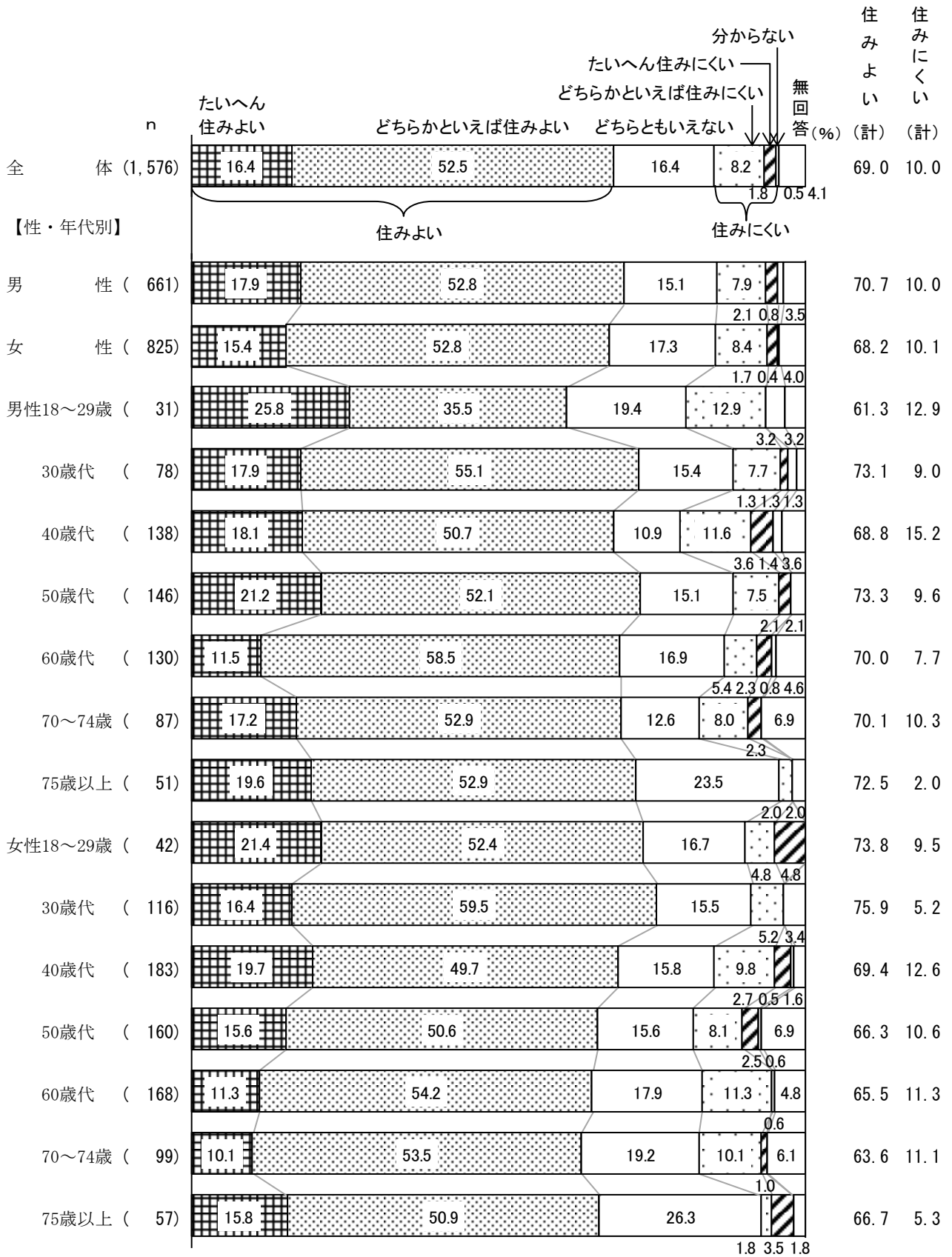
図表1-4-1 地域の住みよさー過去との比較



図表1-4-2 地域の住みよさ—地域別



図表1-4-3 地域の住みよさ—性・年代別



5 定住意向【問5】

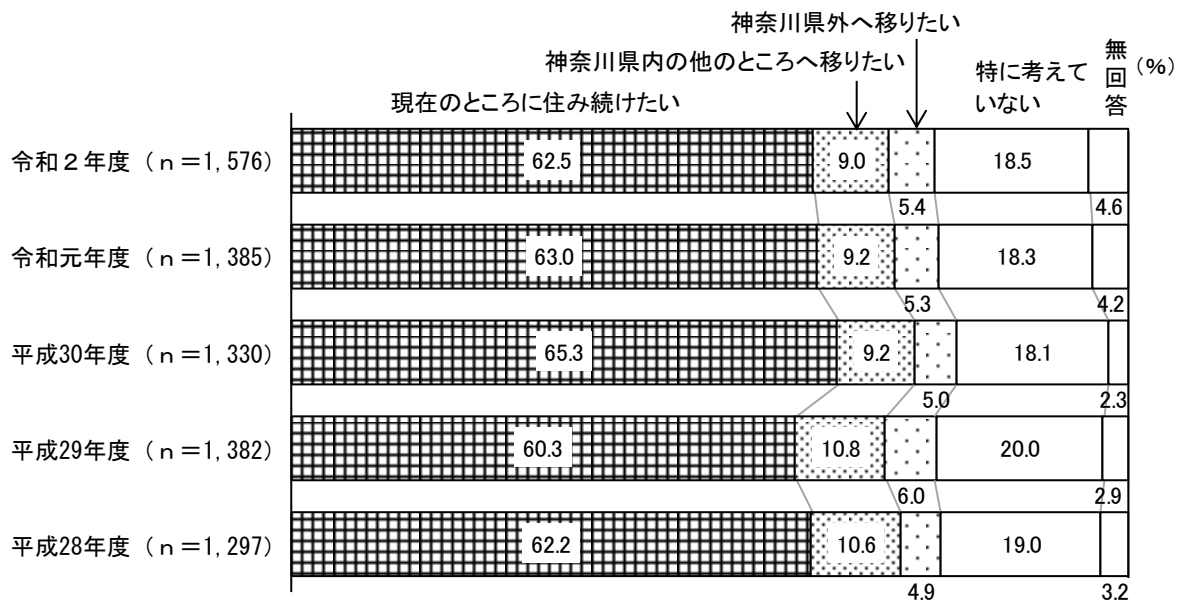
【全体の状況】

今後も現在のところに住み続けたいか尋ねたところ、「現在のところに住み続けたい」が62.5%で最も多かった。また、「神奈川県外へ移りたい」は、5.4%であった。（図表1-5-1）

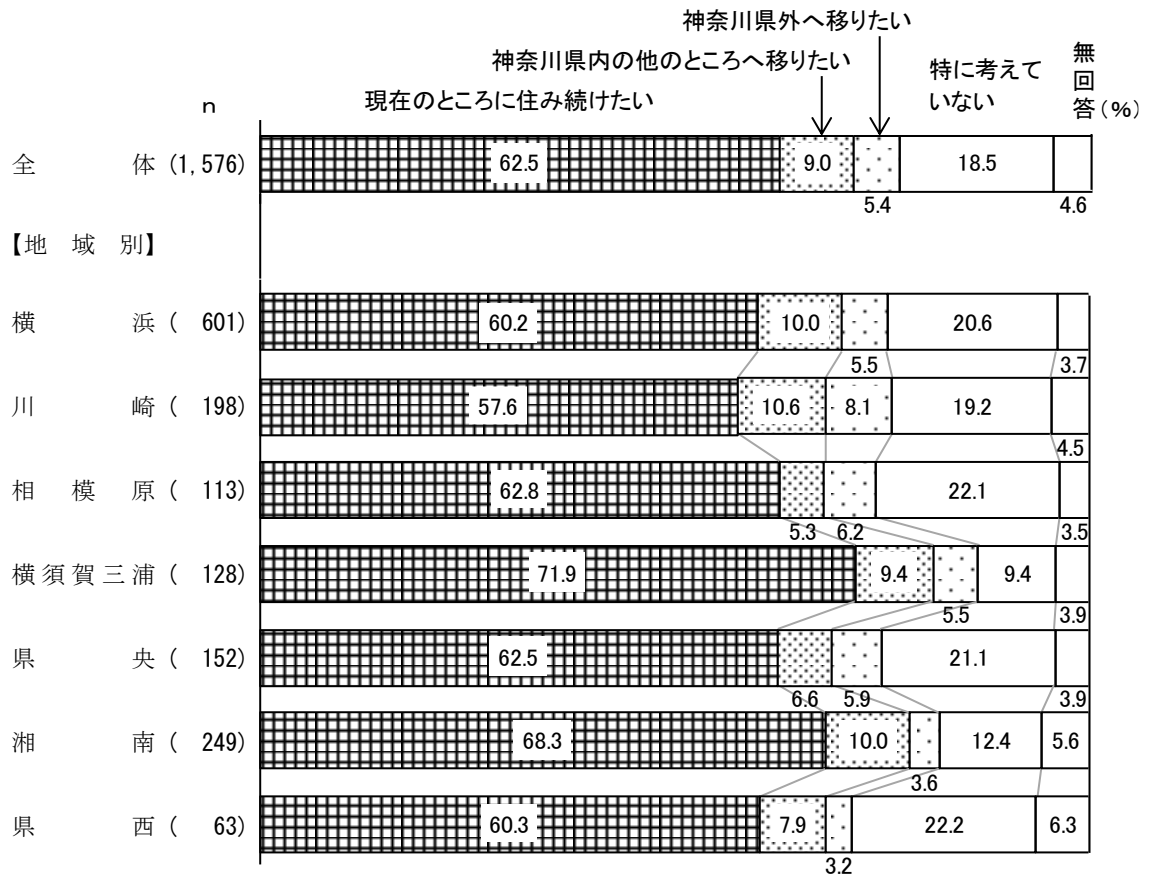
【過去との比較】

過去の調査と比較すると、「現在のところに住み続けたい」は、令和元年度は平成30年度と比べて2.3ポイント減（65.3%→63.0%）で、令和2年度は令和元年度と比べて0.5ポイント減（63.0%→62.5%）となった。（図表1-5-1）

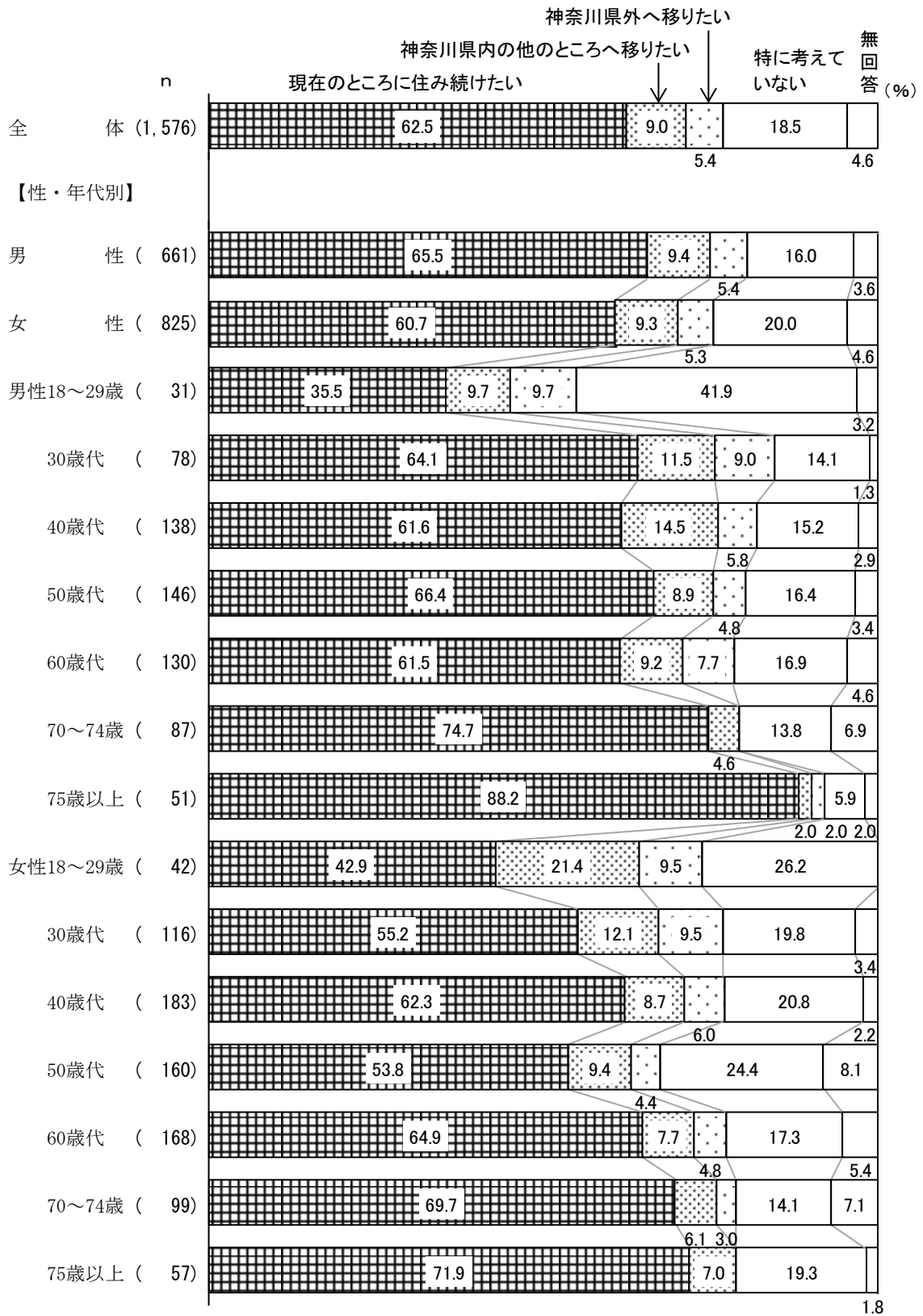
図表1-5-1 定住意向－過去との比較



図表1-5-2 定住意向—地域別



図表1-5-3 定住意向－性・年代別



第2章 生活意識【問6】

【全体の状況】

県民の様々な生活意識を把握するために、34項目を提示して「そう思う」と「そう思わない」で尋ねた。

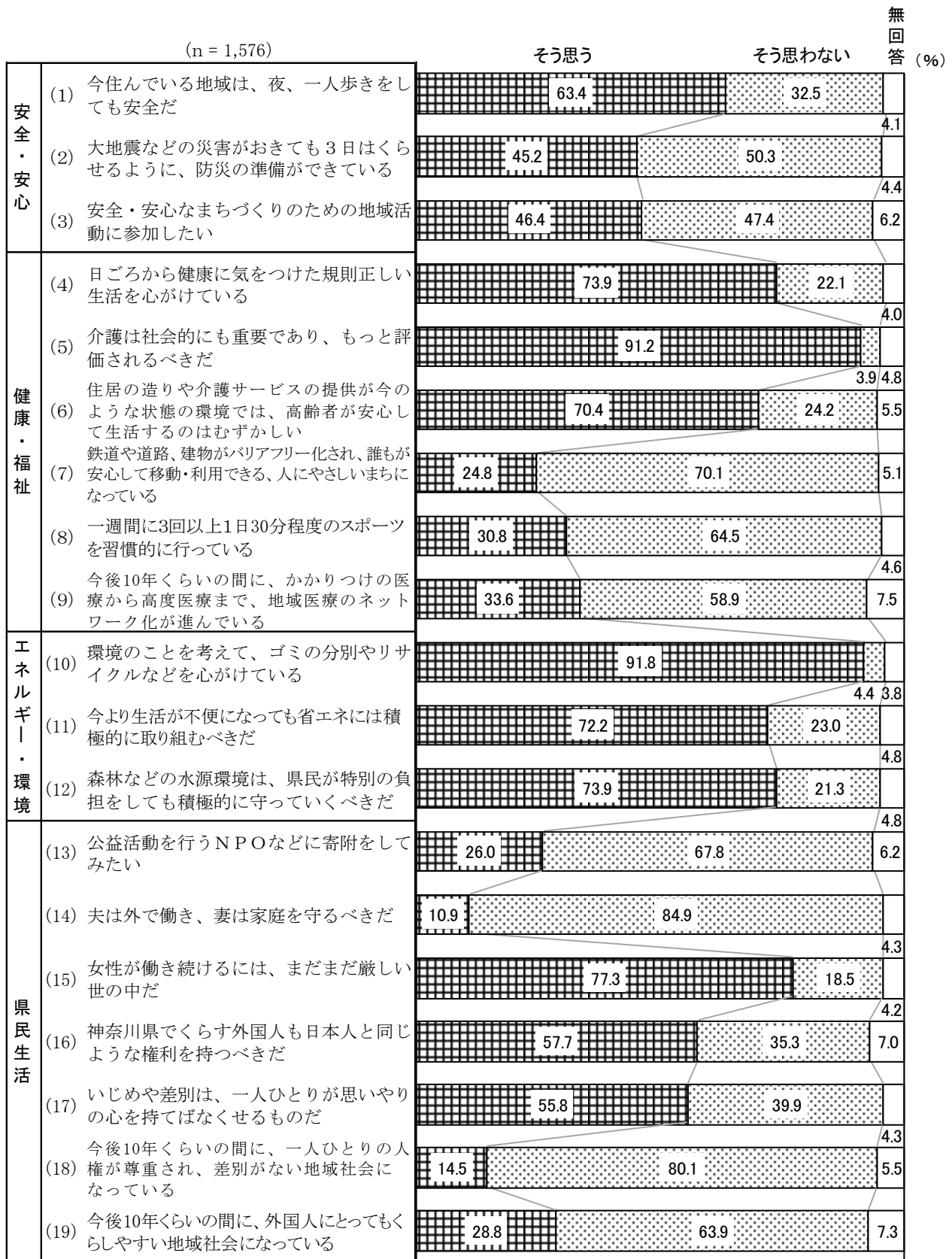
「そう思う」では、「(10) 環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている」が91.8%で最も多く、次いで「(5) 介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が91.2%であった。

以下、「(21) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」(89.6%)、「(31) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ」(85.6%)、「(29) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい」(83.2%)が続いた。

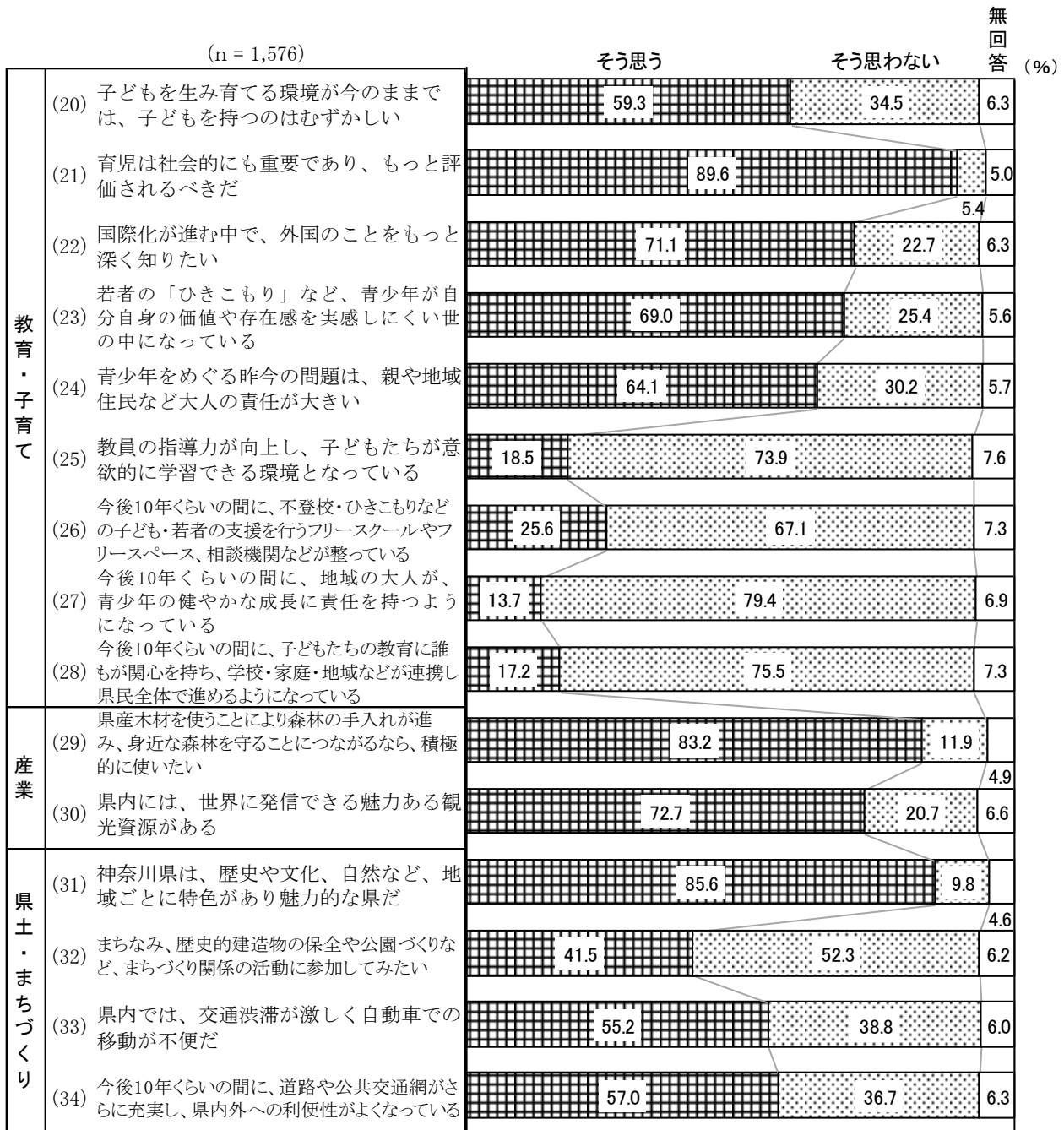
「そう思わない」では、「(14) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」が84.9%で最も多かった。

(図表2)

図表 2 生活意識



図表2 生活意識（つづき）



【過去との比較】

「そう思う」の上位10項目については、平成28年度以降、「(10) 環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている」が第1位、「(5) 介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が第2位、「(21) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が第3位であった。

(図表 2 (1))

図表 2 (1) 生活意識「そう思う」の上位10項目—過去との比較

	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)
1位	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (93.4%)	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (92.3%)	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (93.2%)	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (92.5%)	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (91.8%)
2位	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (91.9%)	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (91.8%)	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (91.9%)	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (91.2%)	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (91.2%)
3位	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (91.1%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (87.7%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (89.5%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (88.8%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (89.6%)
4位	個人情報の漏えいやインターネットを通じた情報の流出など、自分の情報の漏えいに不安を感じることがある (87.7%)	個人情報の漏えいやインターネットを通じた情報の流出など、自分の情報の漏えいに不安を感じることがある (83.5%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (84.4%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (82.2%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (85.6%)
5位	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (87.5%)	値段や外観にかかわらず、安全な農産物を食べたい (82.4%)	食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている (84.1%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (80.6%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (83.2%)
6位	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (83.5%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (82.3%)	値段や外観にかかわらず、安全な農産物を食べたい	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (76.8%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (77.3%)
7位	値段や外観にかかわらず、安全な農産物を食べたい (83.3%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (79.1%)	個人情報の漏えいやインターネットを通じた情報の流出など、自分の情報の漏えいに不安を感じることがある (83.5%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ (74.7%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ
8位	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (81.7%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (77.6%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (81.4%)	住居の造りや介護サービスの提供が今の状態の環境では、高齢者が安心して生活するのはむずかしい (73.4%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている (73.9%)
9位	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ (76.9%)	住居の造りや介護サービスの提供が今の状態の環境では、高齢者が安心して生活するのはむずかしい (74.9%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (77.4%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている (72.4%)	県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある (72.7%)
10位	住居の造りや介護サービスの提供が今の状態の環境では、高齢者が安心して生活するのはむずかしい (75.6%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ (71.6%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ (77.3%)	今より生活が不便になっても省エネには積極的に取り組むべきだ (71.6%)	今より生活が不便になっても省エネには積極的に取り組むべきだ (72.2%)

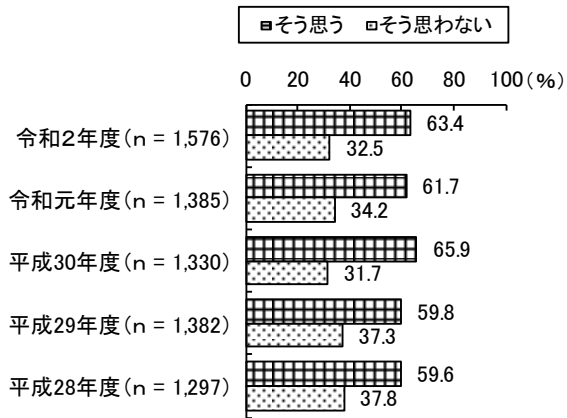
「そう思わない」の上位10項目については、前年度と比較して項目の入れ替えはなく、「(14) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」が第1位、「(18) 今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている」が第2位、「(27) 今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている」が第3位となった。(図表2(2))

図表2(2) 生活意識「そう思わない」の上位10項目—過去との比較

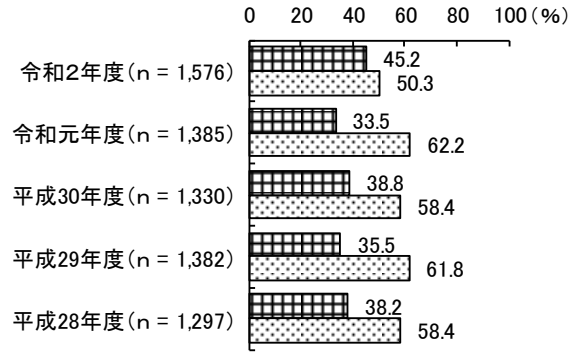
	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)
1位	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (83.5%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (80.6%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (81.4%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (82.7%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (84.9%)
2位	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (80.3%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (78.5%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (78.1%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (80.4%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (80.1%)
3位	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (78.4%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (78.2%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (78.0%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (77.8%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (79.4%)
4位	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (76.5%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (77.9%)	NPO法人に寄付してみたい (75.3%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (75.2%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (75.5%)
5位	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (75.7%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (77.0%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (74.7%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (73.9%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (73.9%)
6位	NPO法人に寄付してみたい (74.3%)	NPO法人に寄付してみたい (76.0%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (73.2%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (73.3%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (70.1%)
7位	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (70.2%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (73.1%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (70.2%)	公益活動を行うNPOなどに寄附してみたい (70.2%)	公益活動を行うNPOなどに寄附してみたい (67.8%)
8位	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (69.7%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (70.1%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (69.3%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (67.8%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもり等の子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (67.1%)
9位	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもり等の子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (68.7%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもり等の子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (66.9%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもり等の子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (66.9%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもり等の子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (66.6%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (64.5%)
10位	今後10年くらいの間に、外国人にとっても暮らしやすい地域社会になっている (63.5%)	今後10年くらいの間に、外国人にとっても暮らしやすい地域社会になっている (62.2%)	今後10年くらいの間に、外国人にとっても暮らしやすい地域社会になっている (59.8%)	今後10年くらいの間に、外国人にとっても暮らしやすい地域社会になっている 大地震などの災害がおきても3日は暮らせるように、防災の準備ができています (62.2%)	今後10年くらいの間に、外国人にとっても暮らしやすい地域社会になっている (63.9%)

図表 2 (3) 生活意識 (過去との比較)

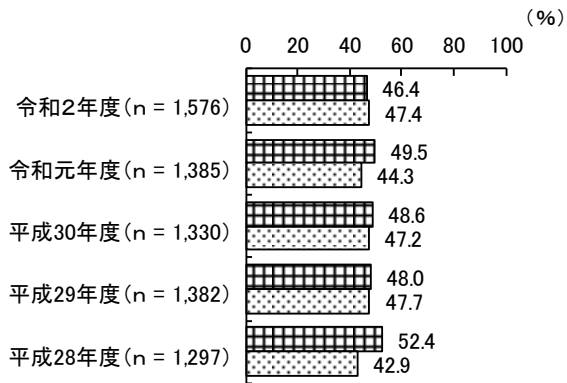
(1) 今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ



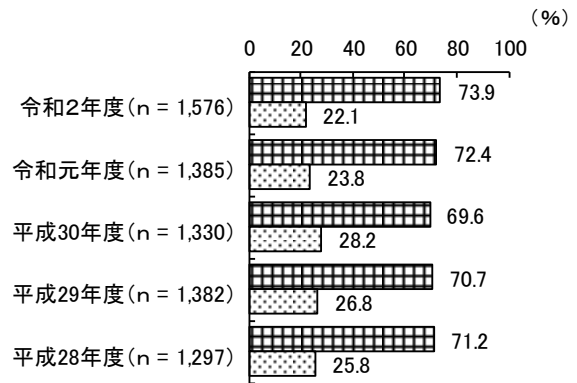
(2) 大地震などの災害がおきても3日はくらせるように、防災の準備ができている



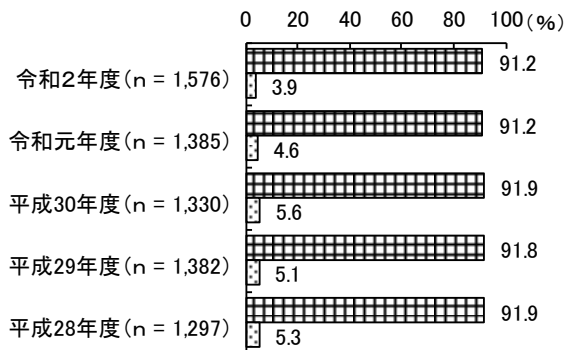
(3) 安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい



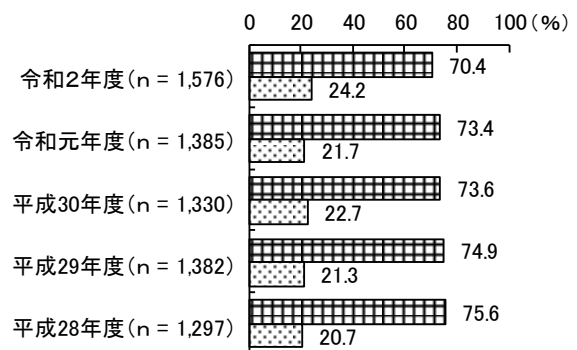
(4) 日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている



(5) 介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ

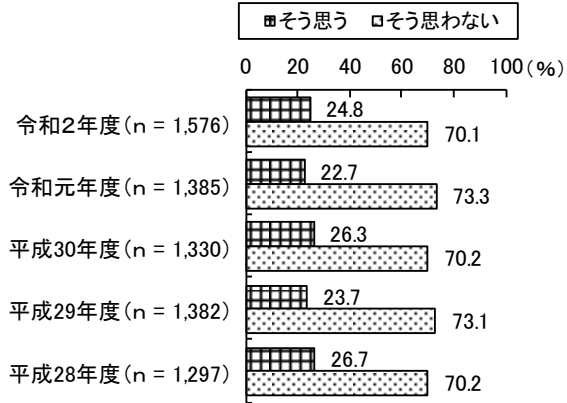


(6) 住居の造りや介護サービスの提供が今の状態の環境では、高齢者が安心して生活するのはむずかしい

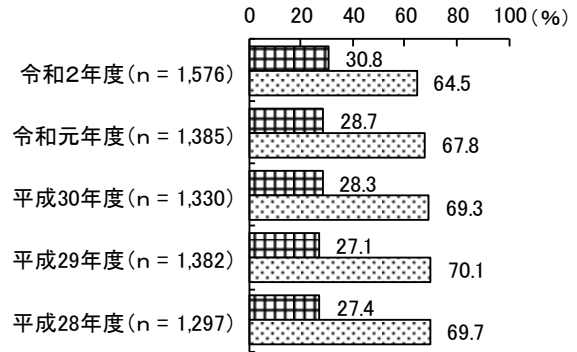


図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）（つづき）

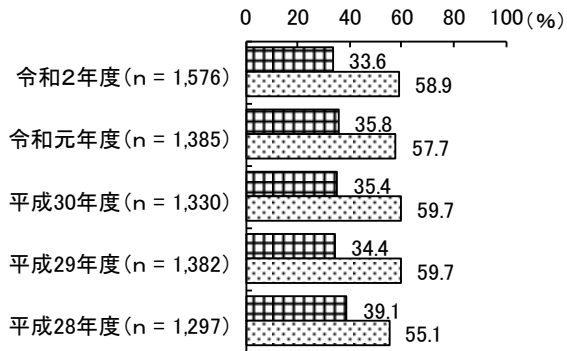
(7) 鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている



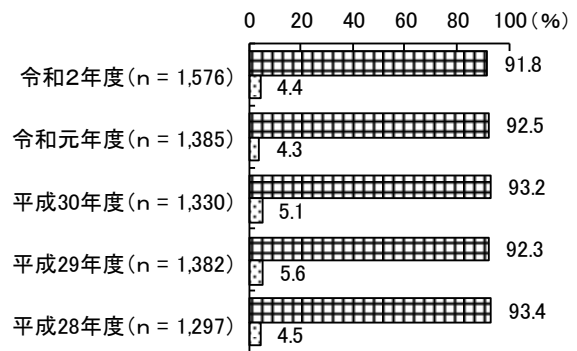
(8) 一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている



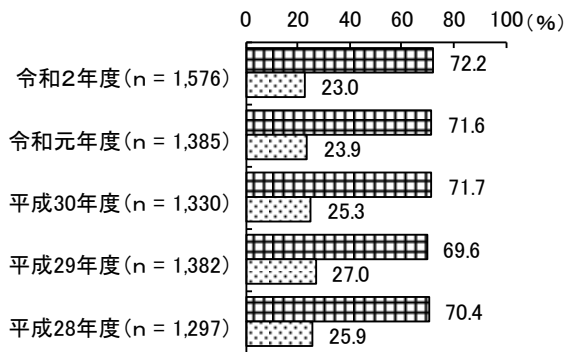
(9) 今後10年くらいの間、かかりつけの医療から高度医療まで、地域医療のネットワーク化が進んでいる



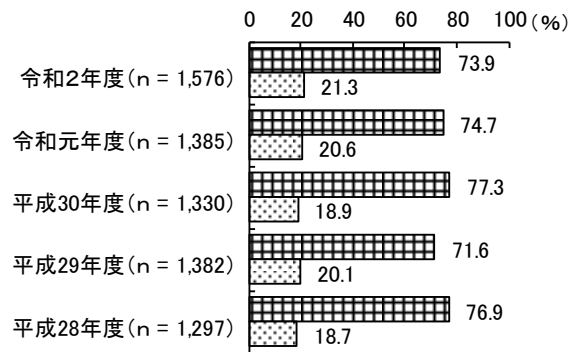
(10) 環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている



(11) 今より生活が不便になっても省エネには積極的に取り組むべきだ

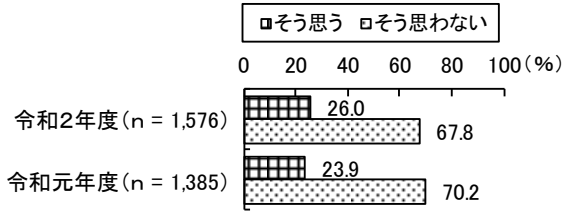


(12) 森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ

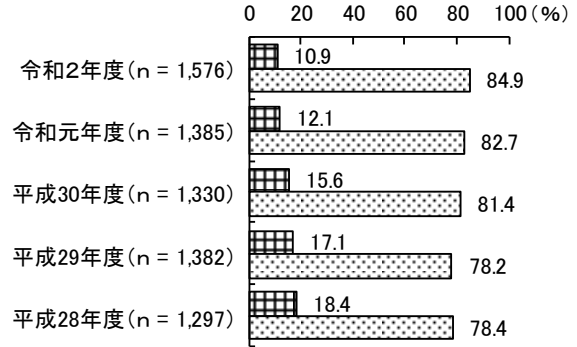


図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）（つづき）

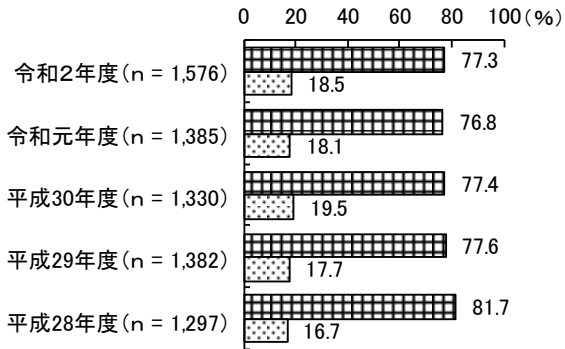
(13) 公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい
 (注) 令和元年度から追加された項目



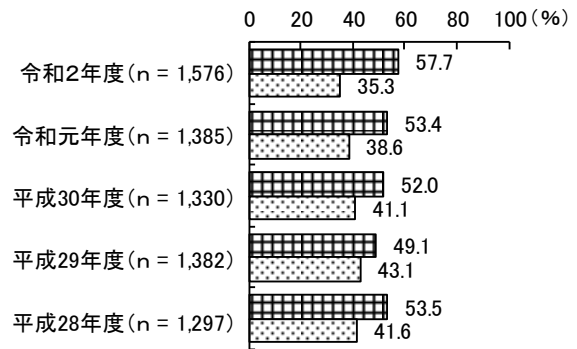
(14) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ



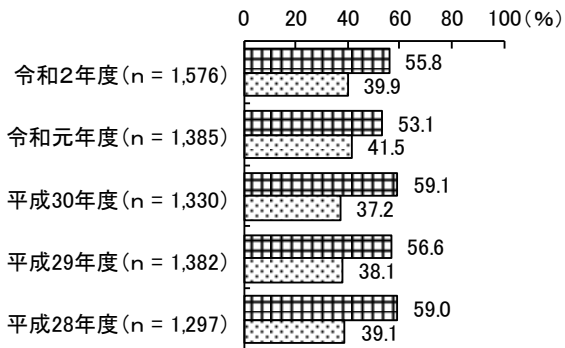
(15) 女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ



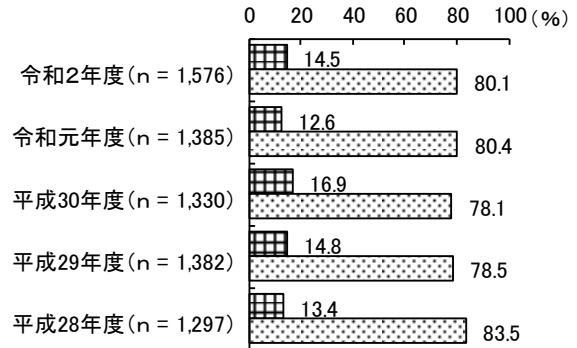
(16) 神奈川県でくらす外国人も日本人と同じような権利を持つべきだ



(17) いじめや差別は、一人ひとりが思いやりの心を持ってばなくせるものだ

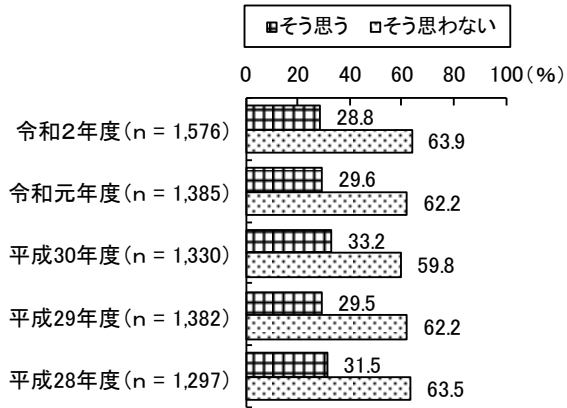


(18) 今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている

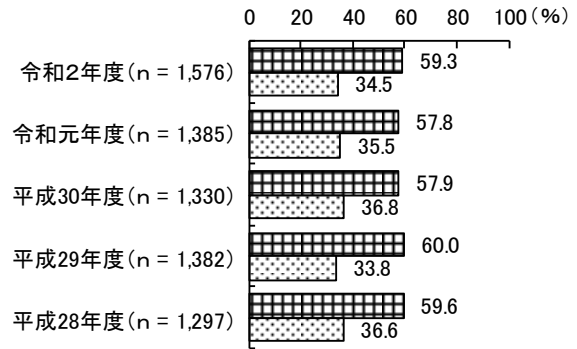


図表 2 (3) 生活意識 (過去との比較) (つづき)

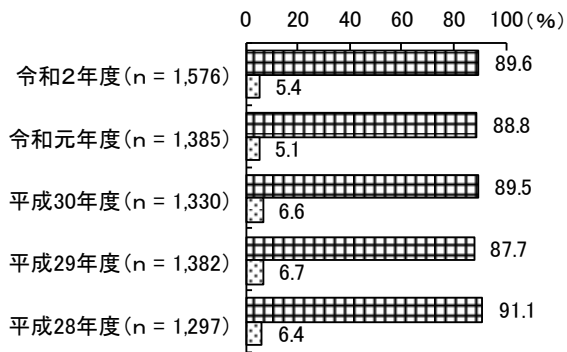
(19) 今後10年くらいの間に、外国人にとっても
くらしやすい地域社会になっている



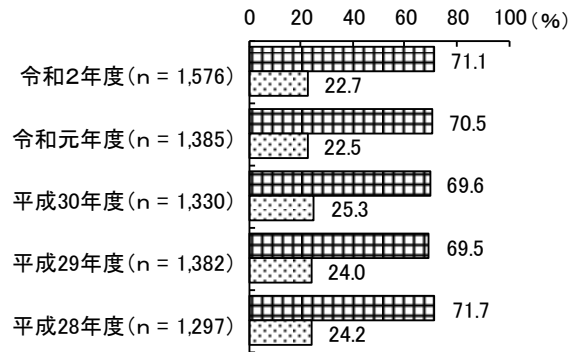
(20) 子どもを生き育てる環境が今のままでは、
子どもを持つのはむずかしい



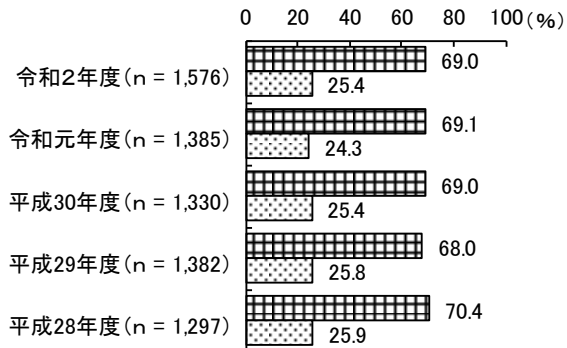
(21) 育児は社会的にも重要であり、
もっと評価されるべきだ



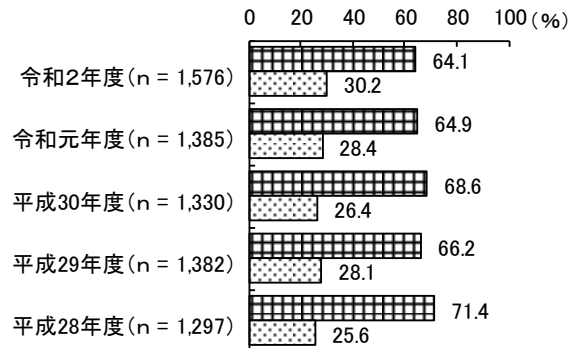
(22) 国際化が進む中で、
外国のことをもっと深く知りたい



(23) 若者の「ひきこもり」など、青少年が自分自身の
価値や存在感を実感しにくい世の中になっている

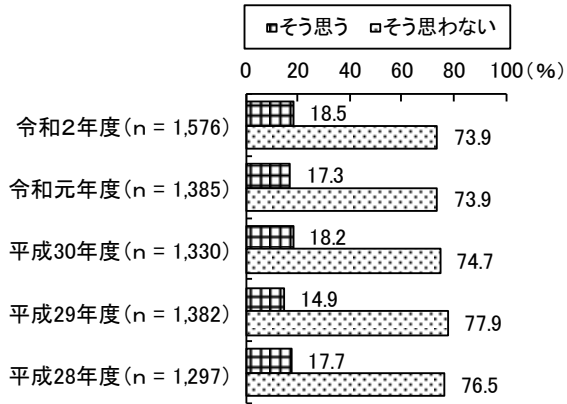


(24) 青少年をめぐる昨今の問題は、
親や地域住民など大人の責任が大きい

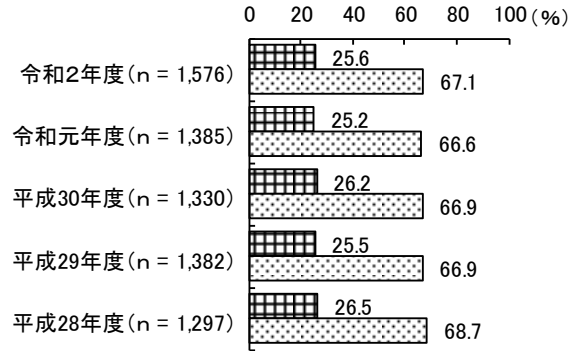


図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）（つづき）

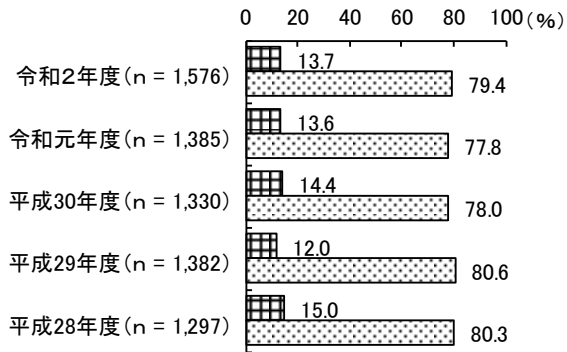
(25) 教員の指導力が向上し、
子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている



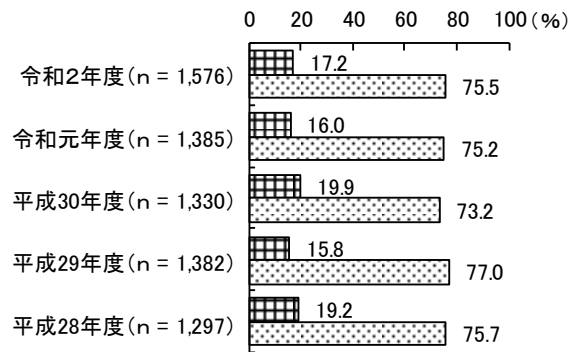
(26) 今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの
子ども・若者の支援を行うフリースクールや
フリースペース、相談機関などが整っている



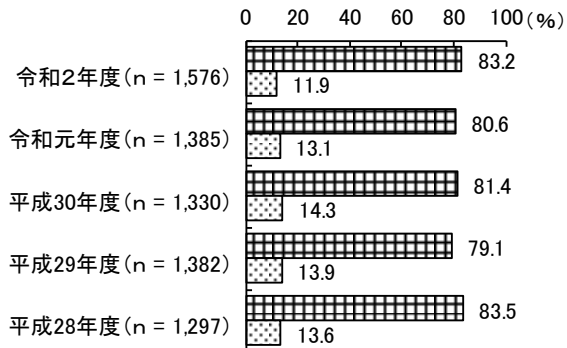
(27) 今後10年くらいの間に、地域の大人が、
青少年の健やかな成長に責任を持つようになっている



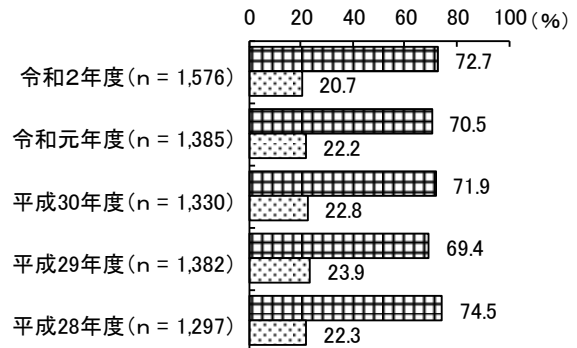
(28) 今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に
誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが
連携し県民全体で進めるようになっている



(29) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、
身近な森林を守ることにつながるなら、
積極的に使いたい

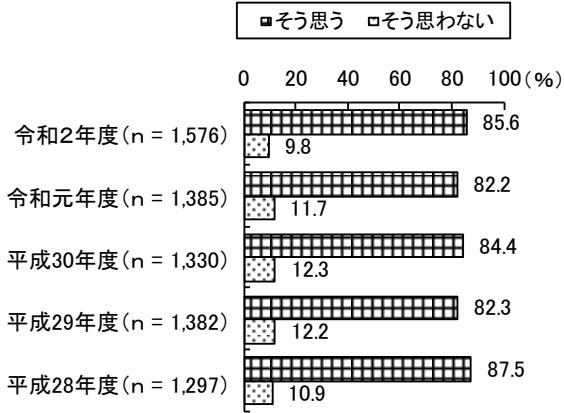


(30) 県内には、世界に発信できる魅力ある
観光資源がある

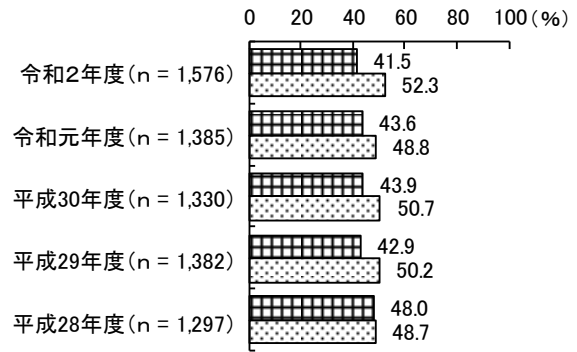


図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）（つづき）

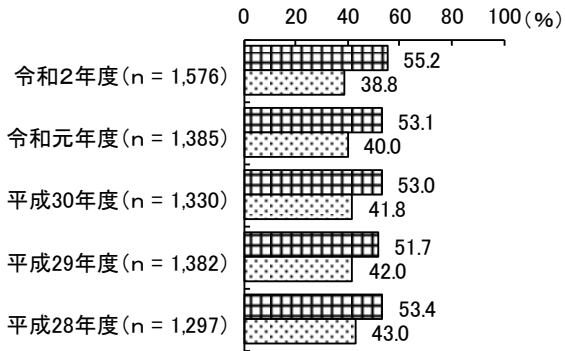
(31) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、
地域ごとに特色があり魅力的な県だ



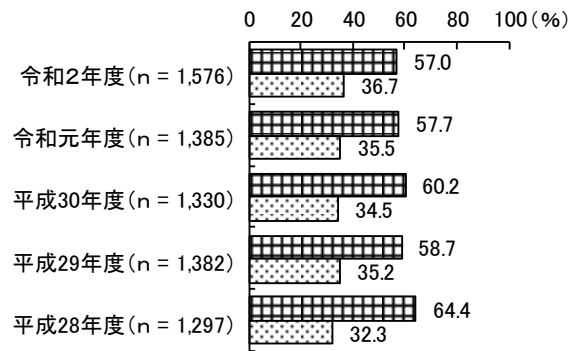
(32) まちなみ、歴史的建造物の保全や
公園づくりなど、まちづくり関係の活動に
参加してみたい



(33) 県内では、交通渋滞が激しく
自動車での移動が不便だ



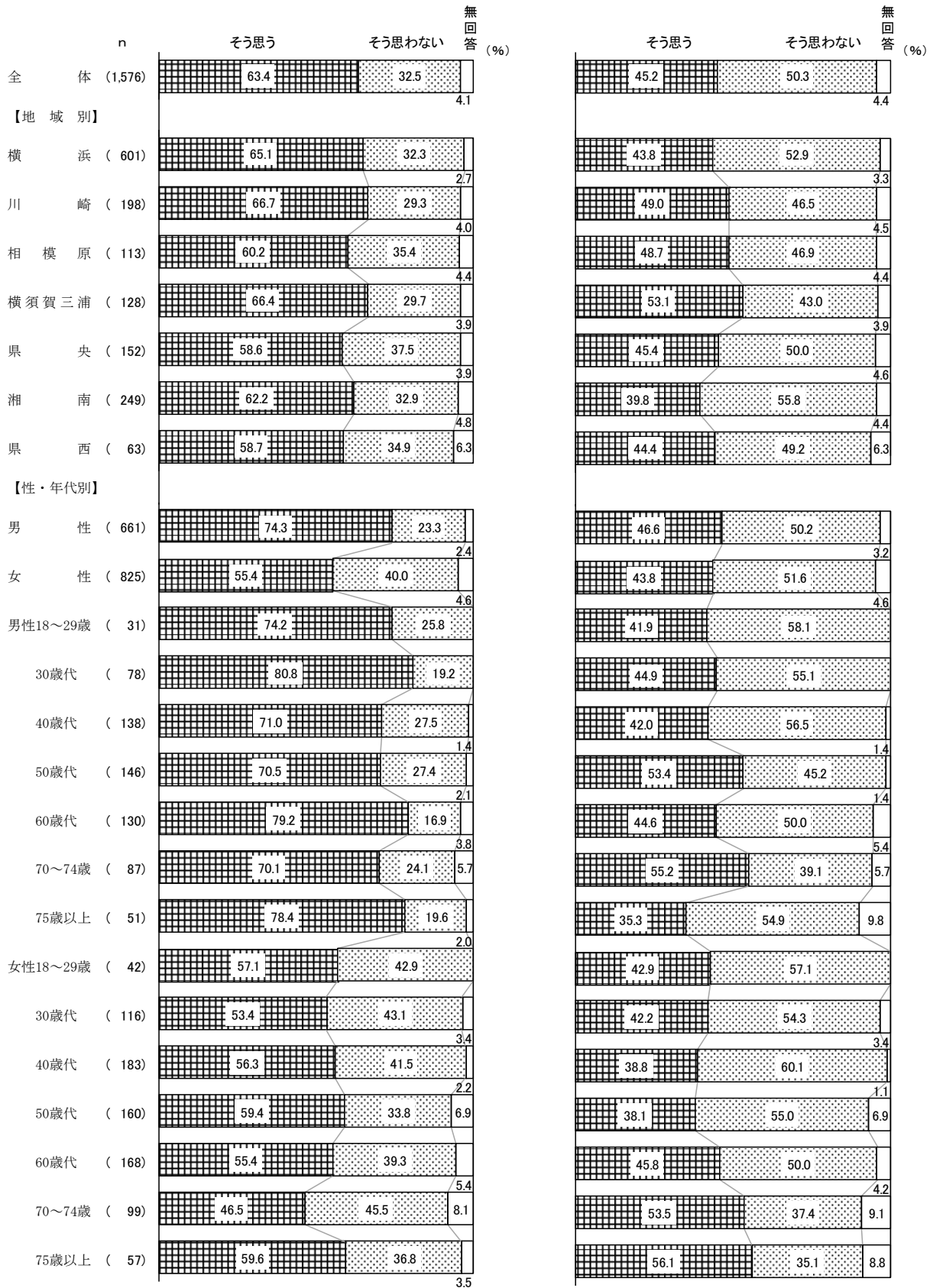
(34) 今後10年くらいの間に、道路や公共交通網が
さらに充実し、県内外への利便性がよくなっている



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別)

(1) 今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ

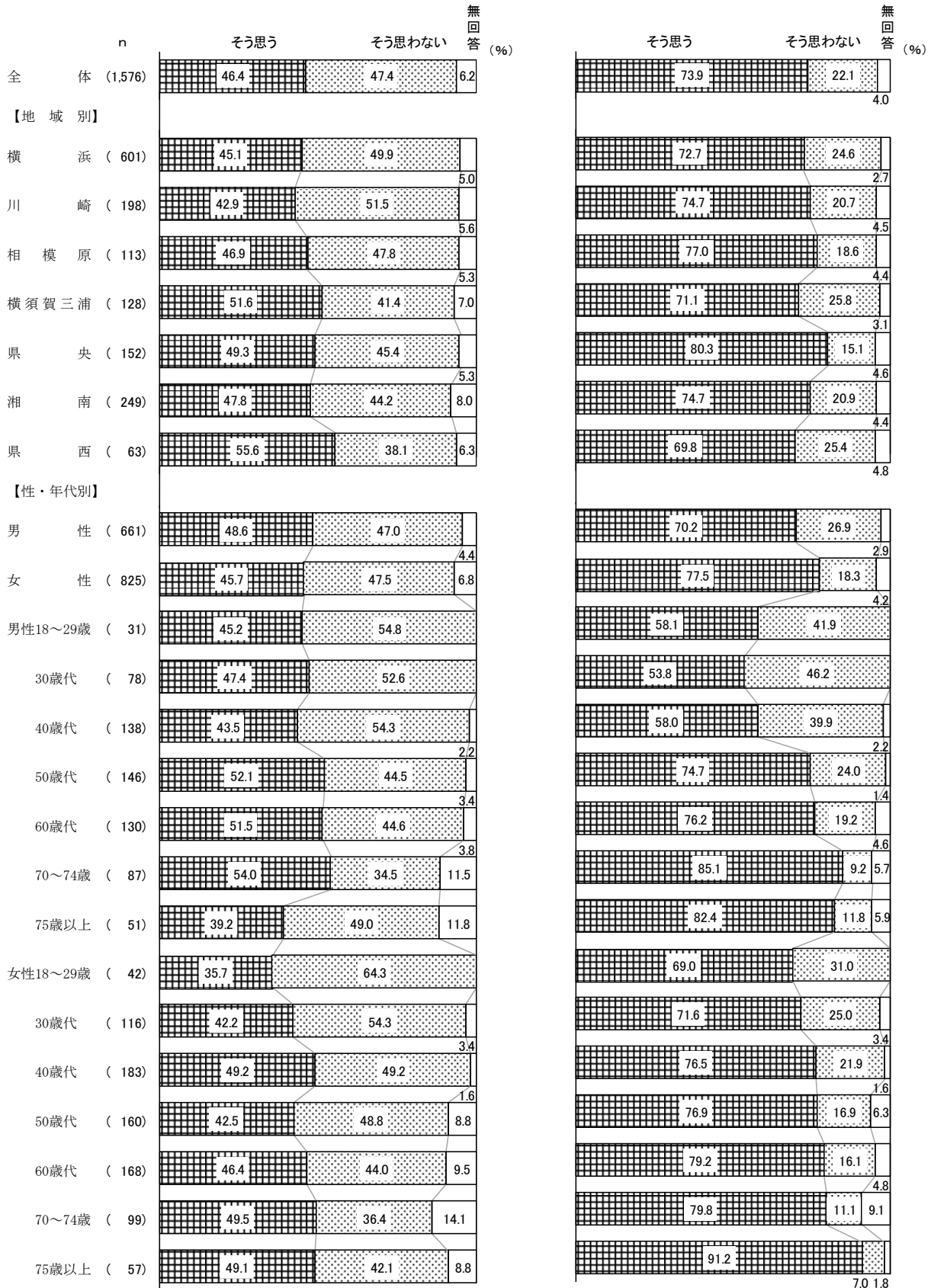
(2) 大地震などの災害がおきても3日はくらするように、防災の準備ができている



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(3) 安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい

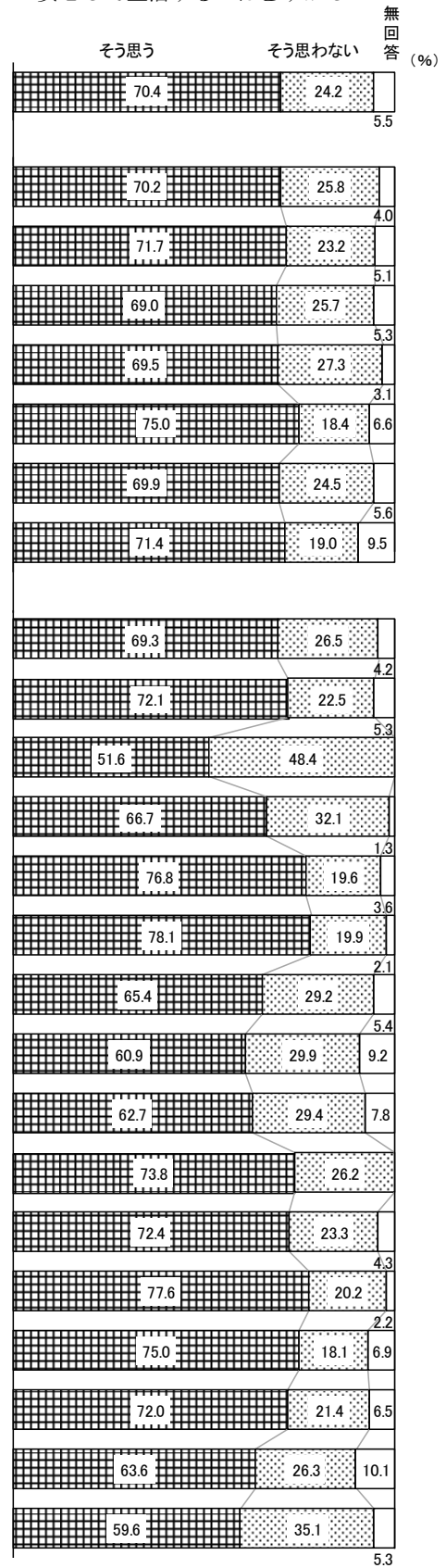
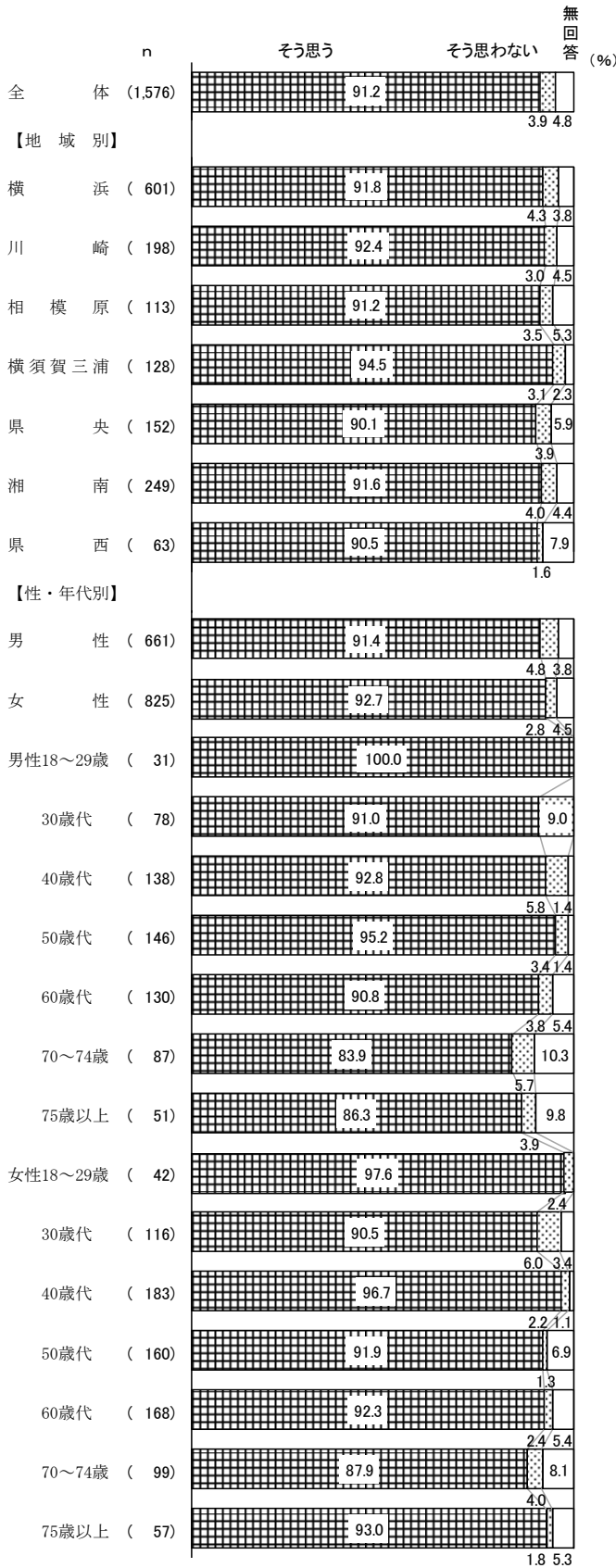
(4) 日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている



図表2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(5) 介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ

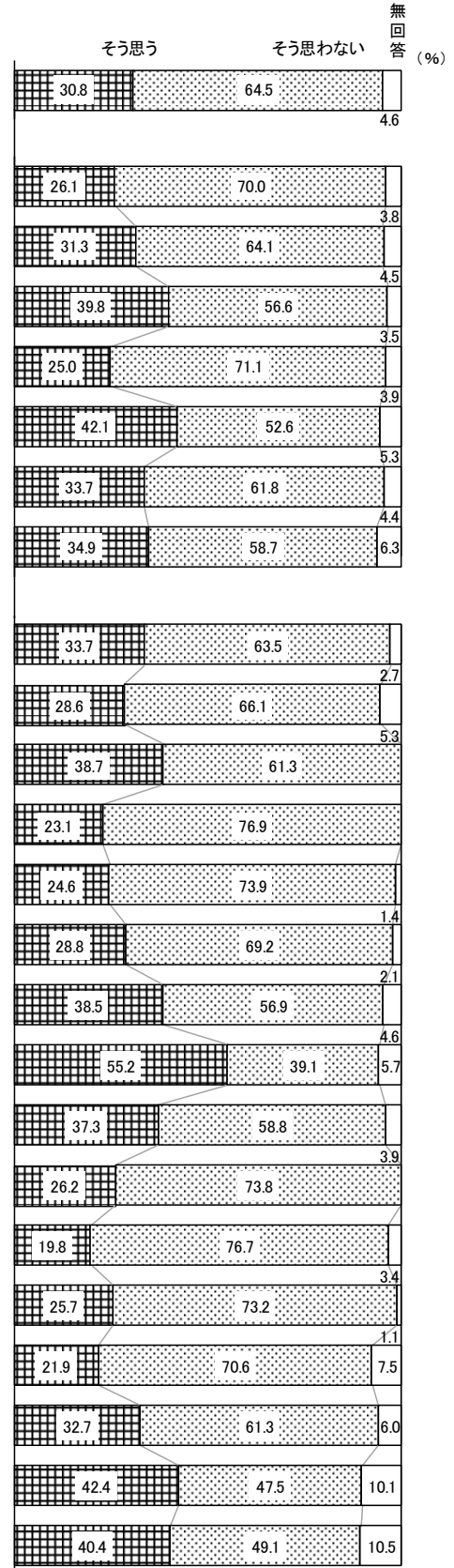
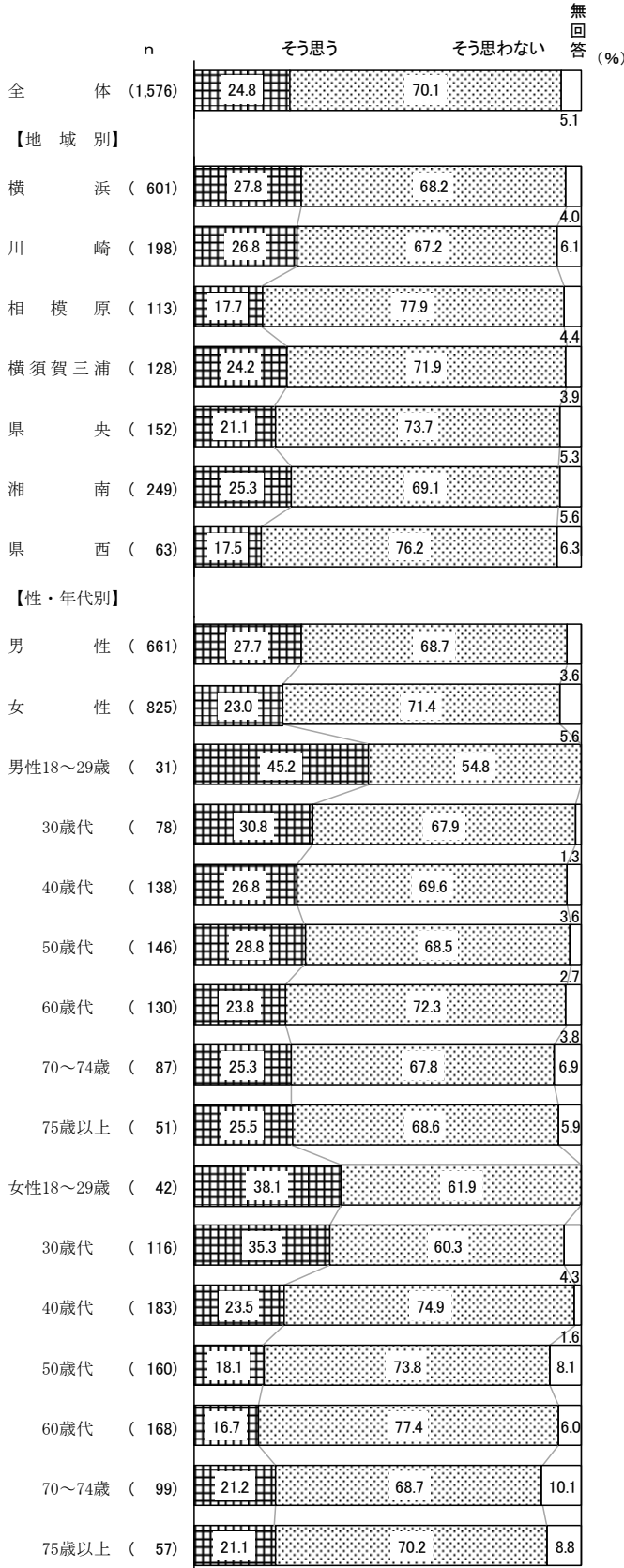
(6) 住居の造りや介護サービスの提供が今の状態の環境では、高齢者が安心して生活するのはむずかしい



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(7) 鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人によさしいまちになっている

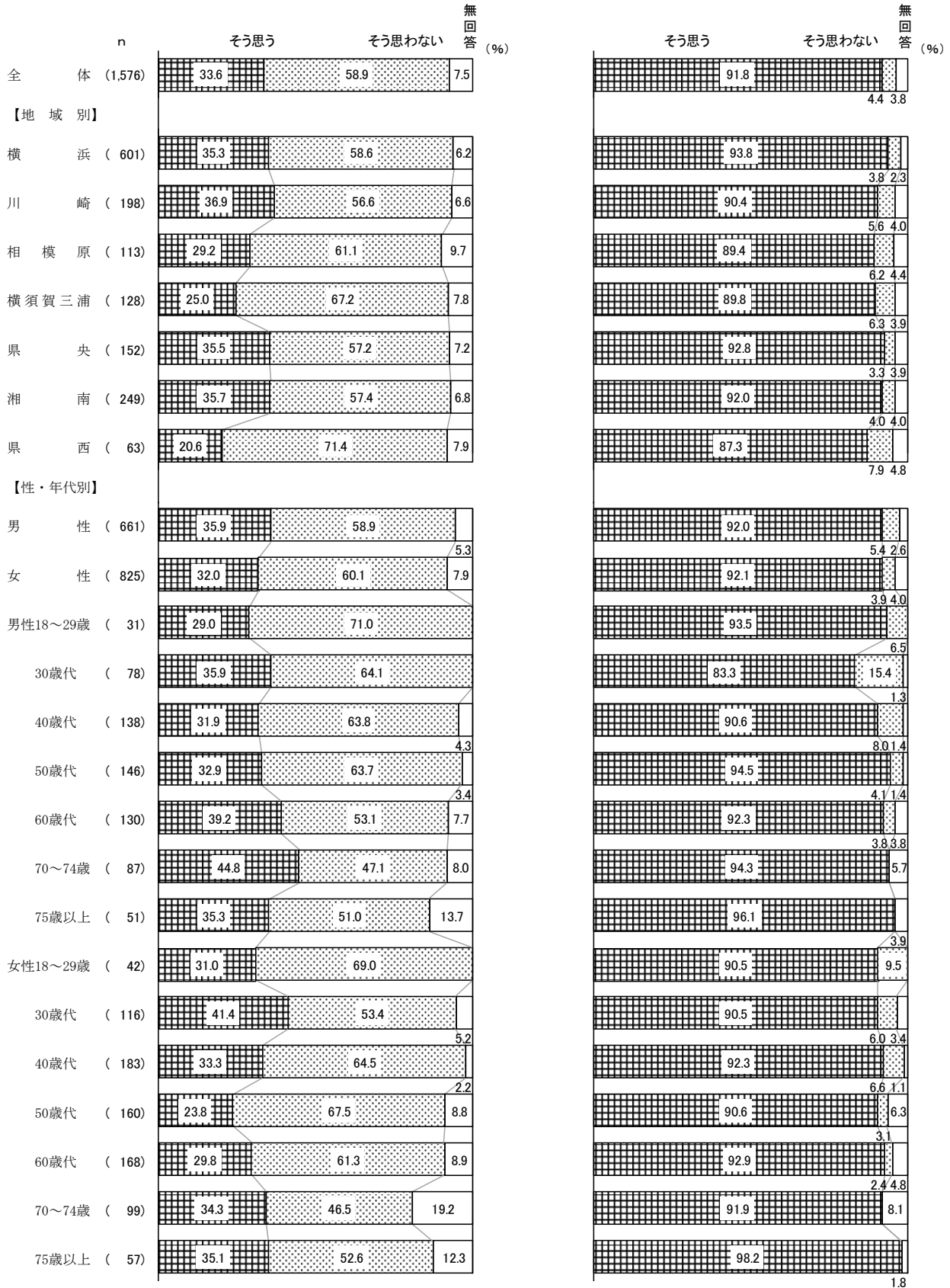
(8) 一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている



図表2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(9) 今後10年くらいの間に、かかりつけの医療から高度医療まで、地域医療のネットワーク化が進んでいる

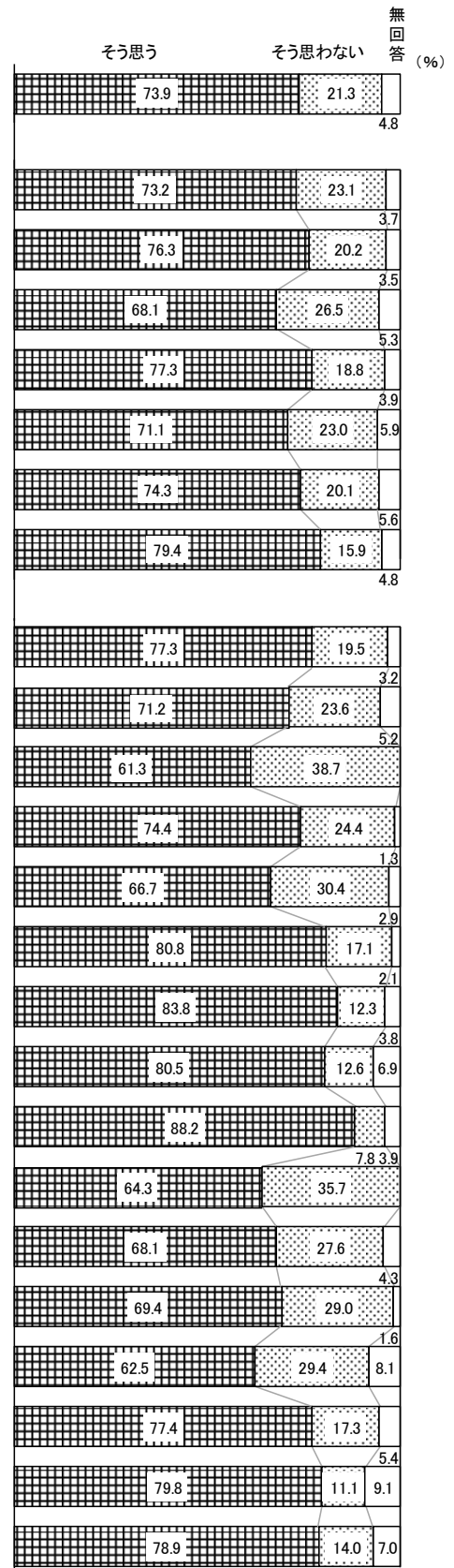
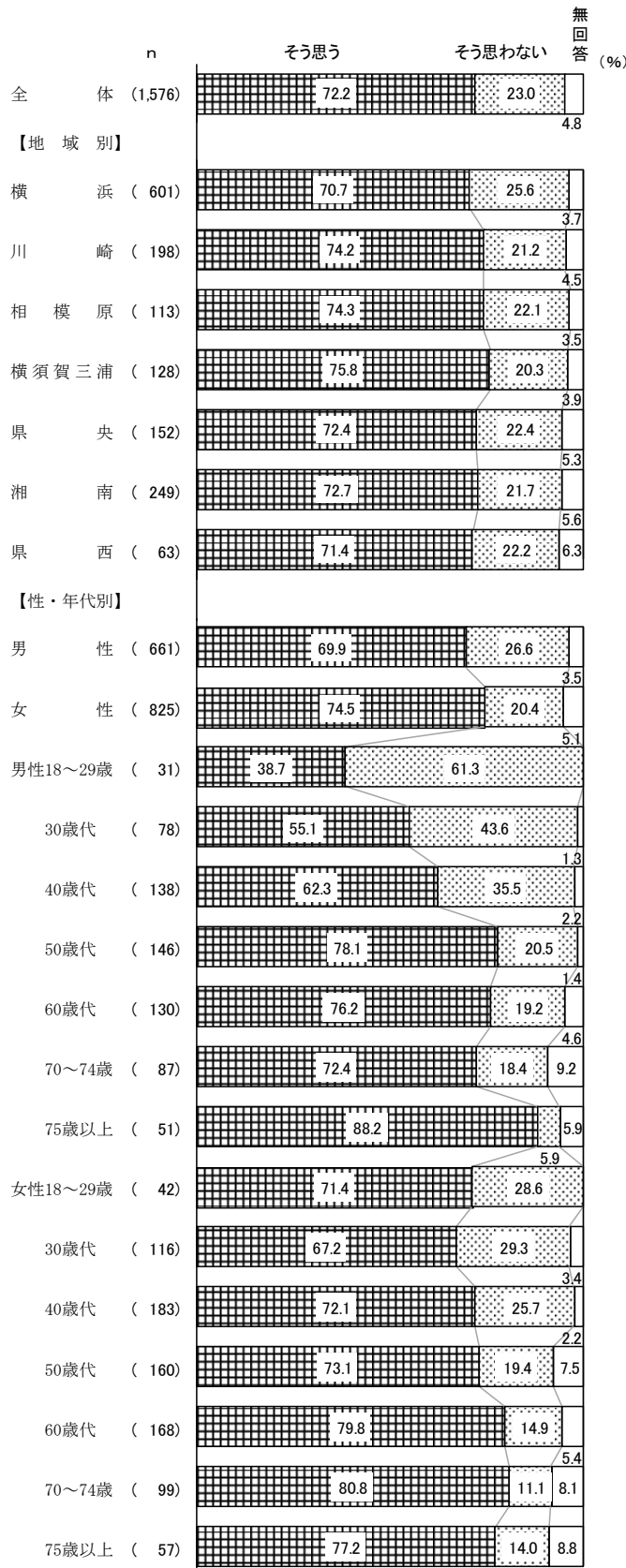
(10) 環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている



図表2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(11) 今より生活が不便になっても省エネには積極的に取り組むべきだ

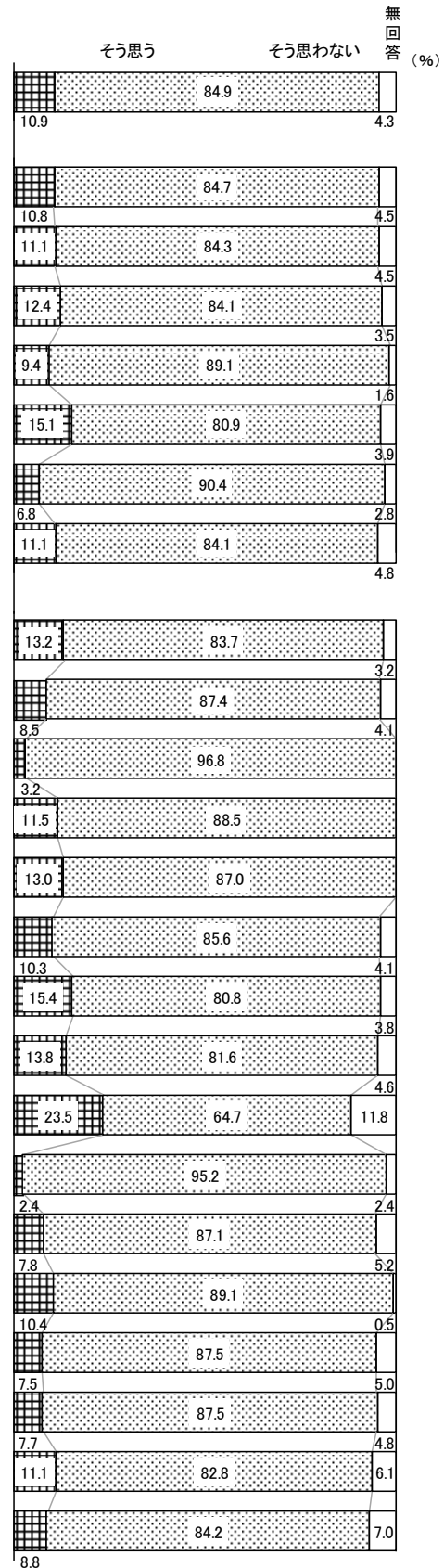
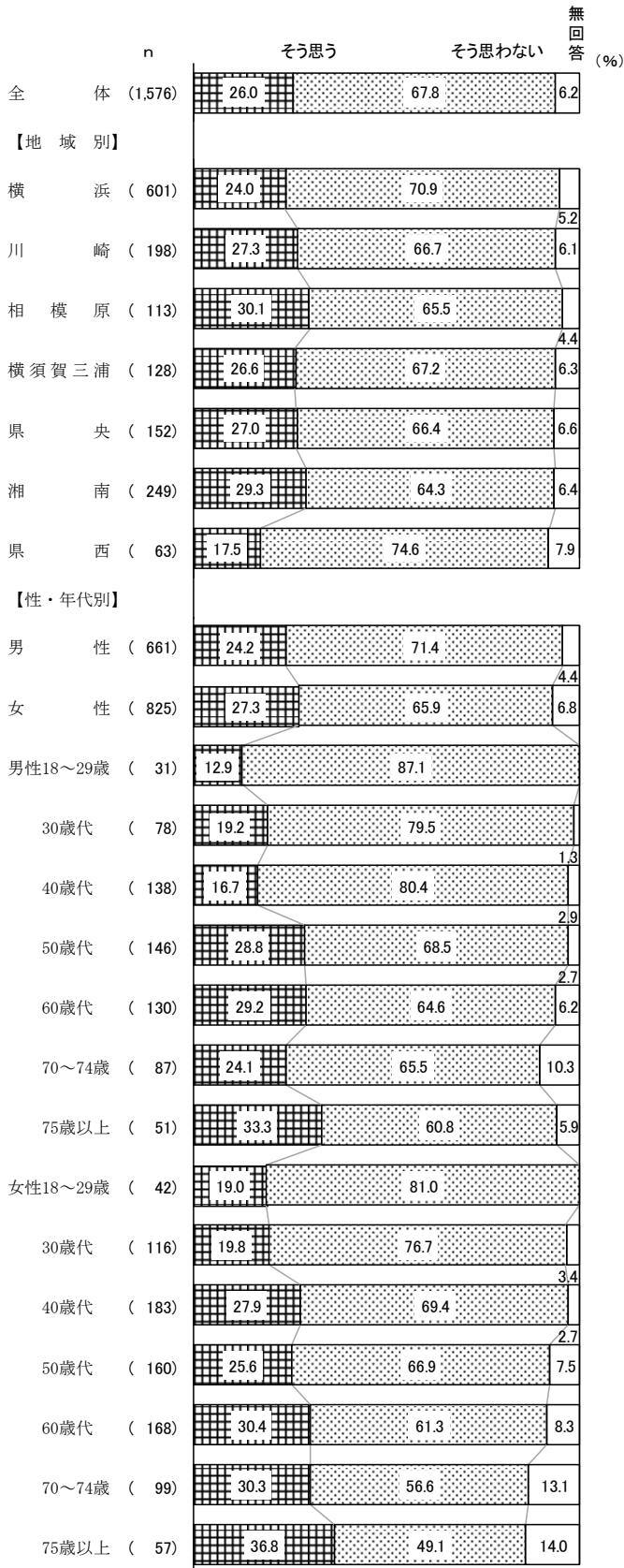
(12) 森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ



図表2(4) 生活意識(地域別、性・年代別)(つづき)

(13) 公益活動を行うNPOなどに
寄附してみたい

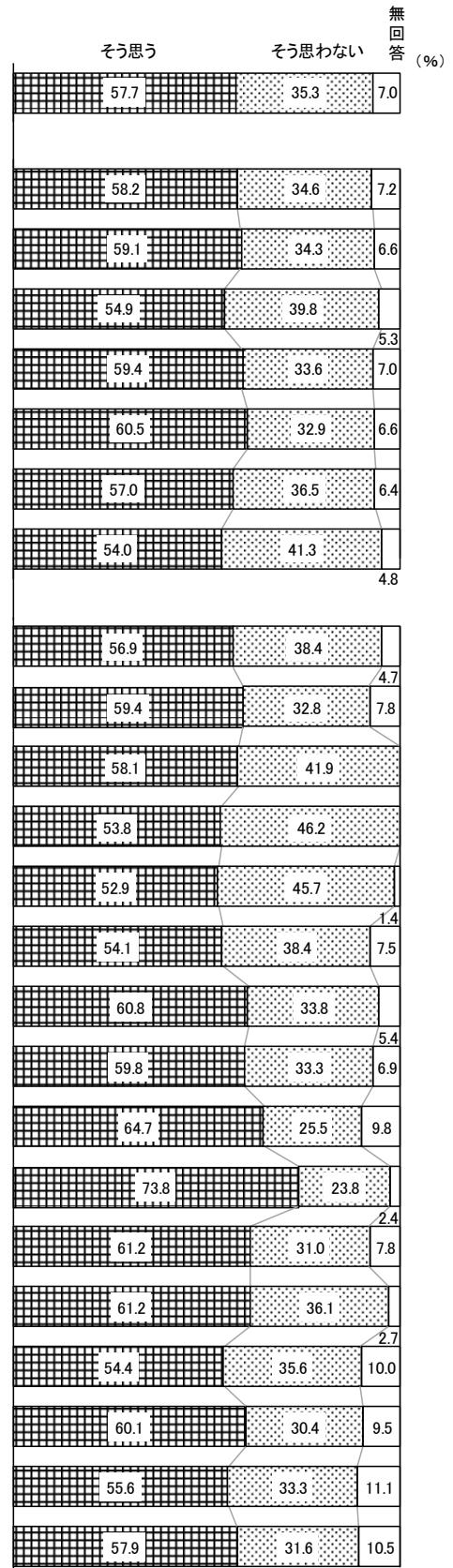
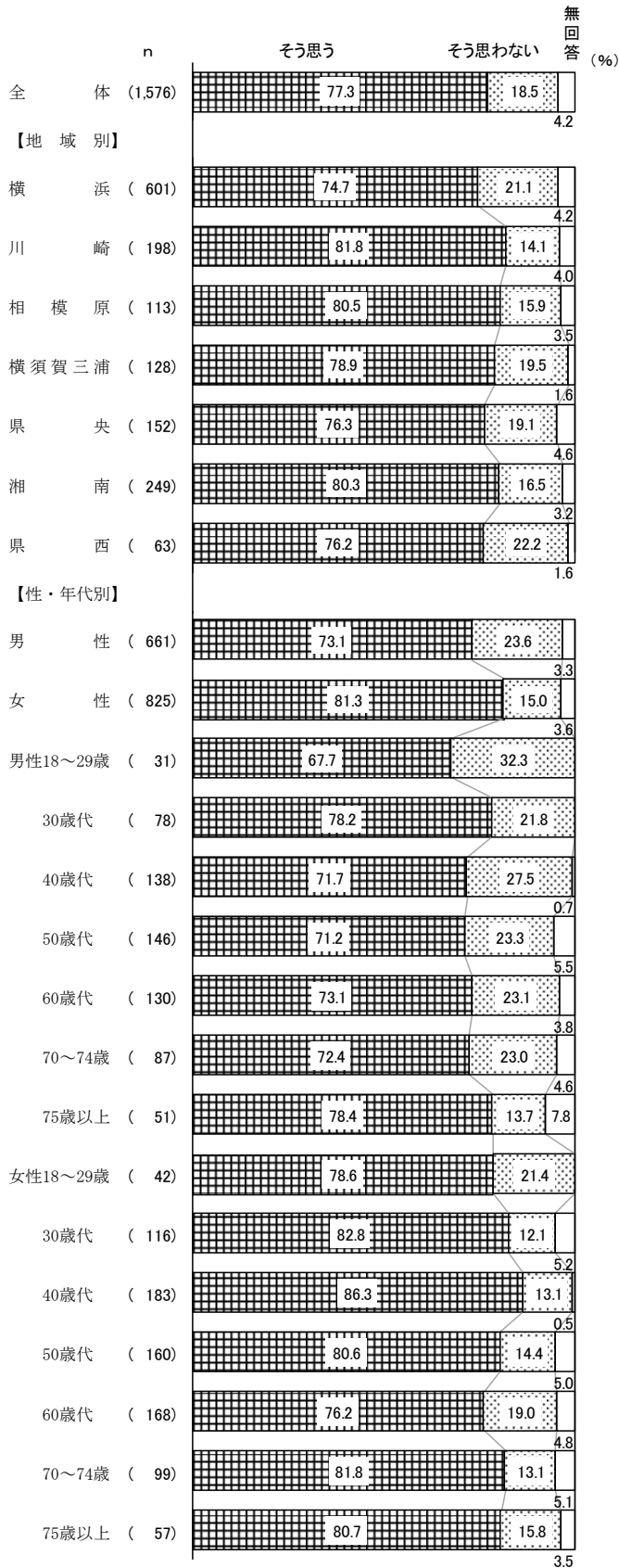
(14) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ



図表2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(15) 女性が働き続けるには、まだまだ
厳しい世の中だ

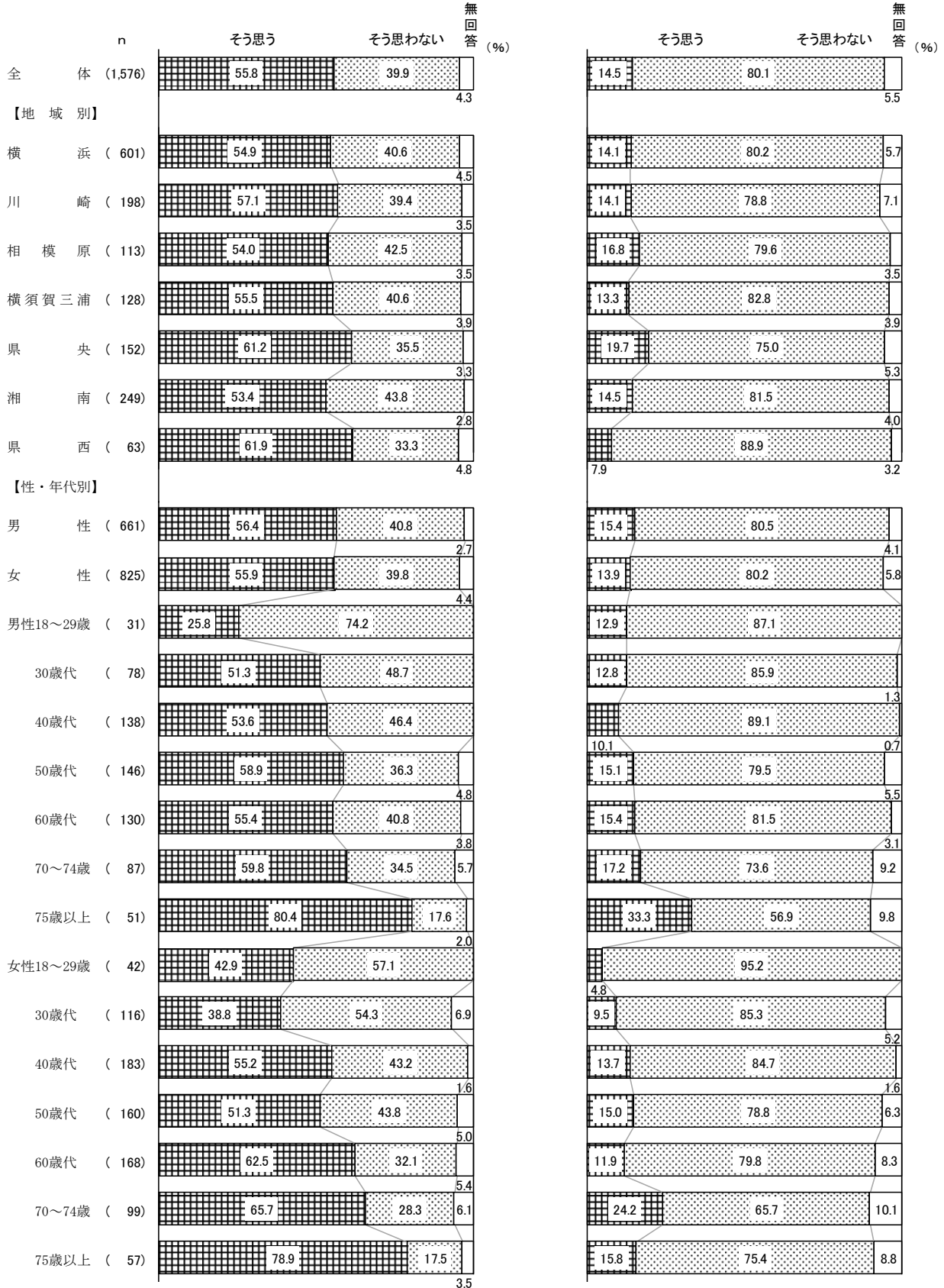
(16) 神奈川県でくらす外国人も日本人と
同じような権利を持つべきだ



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(17) いじめや差別は、一人ひとりが思いやりの心を持ってばなくせるものだ

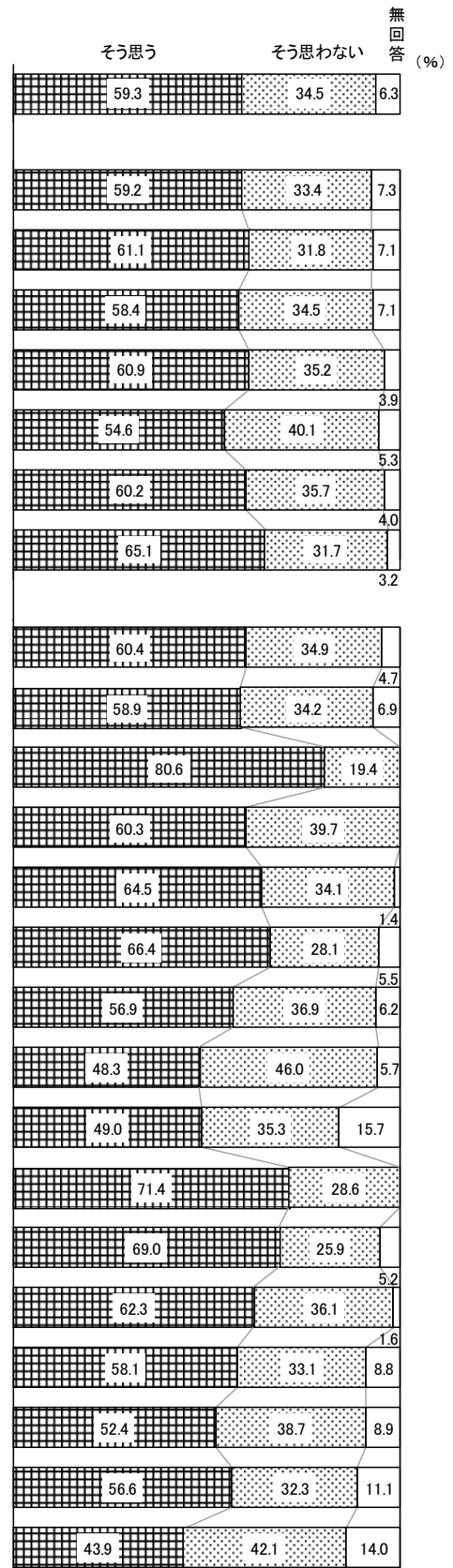
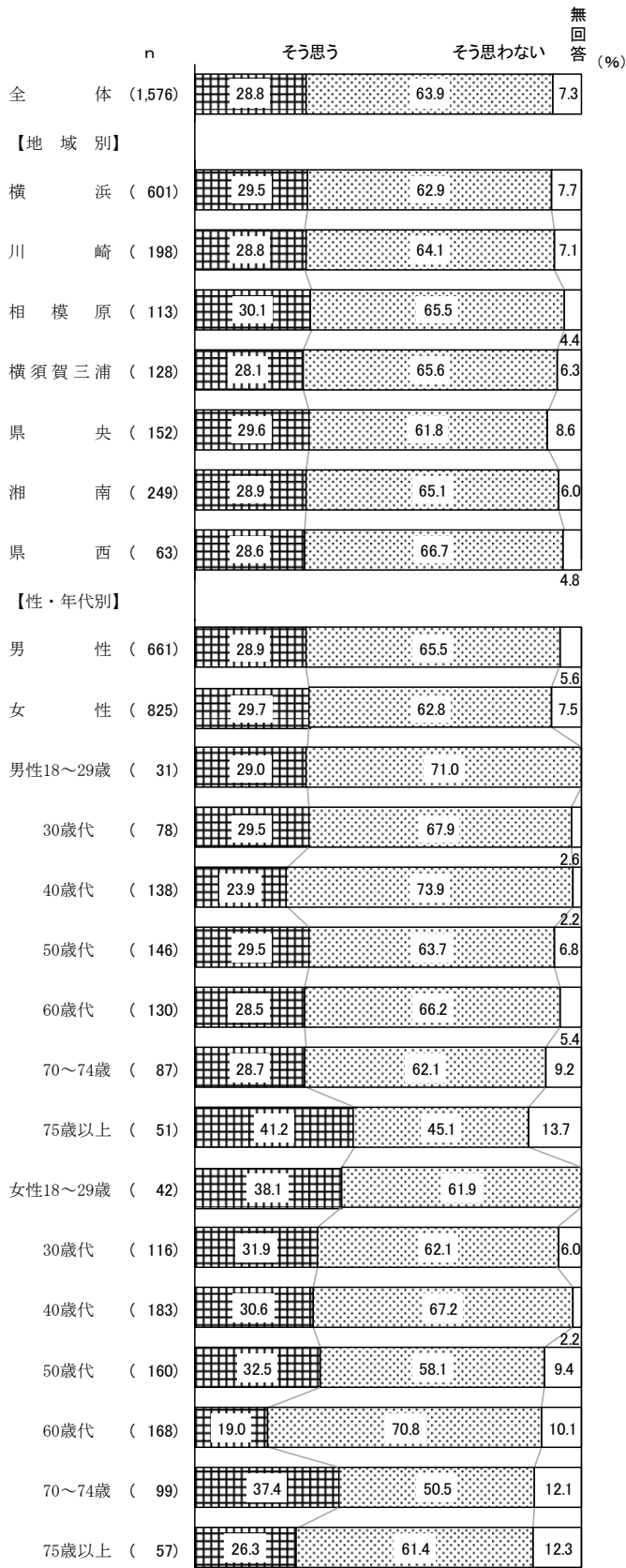
(18) 今後 10 年くらいの間、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている



図表2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(19) 今後10年くらいの間に、外国人にとっても
くらしやすい地域社会になっている

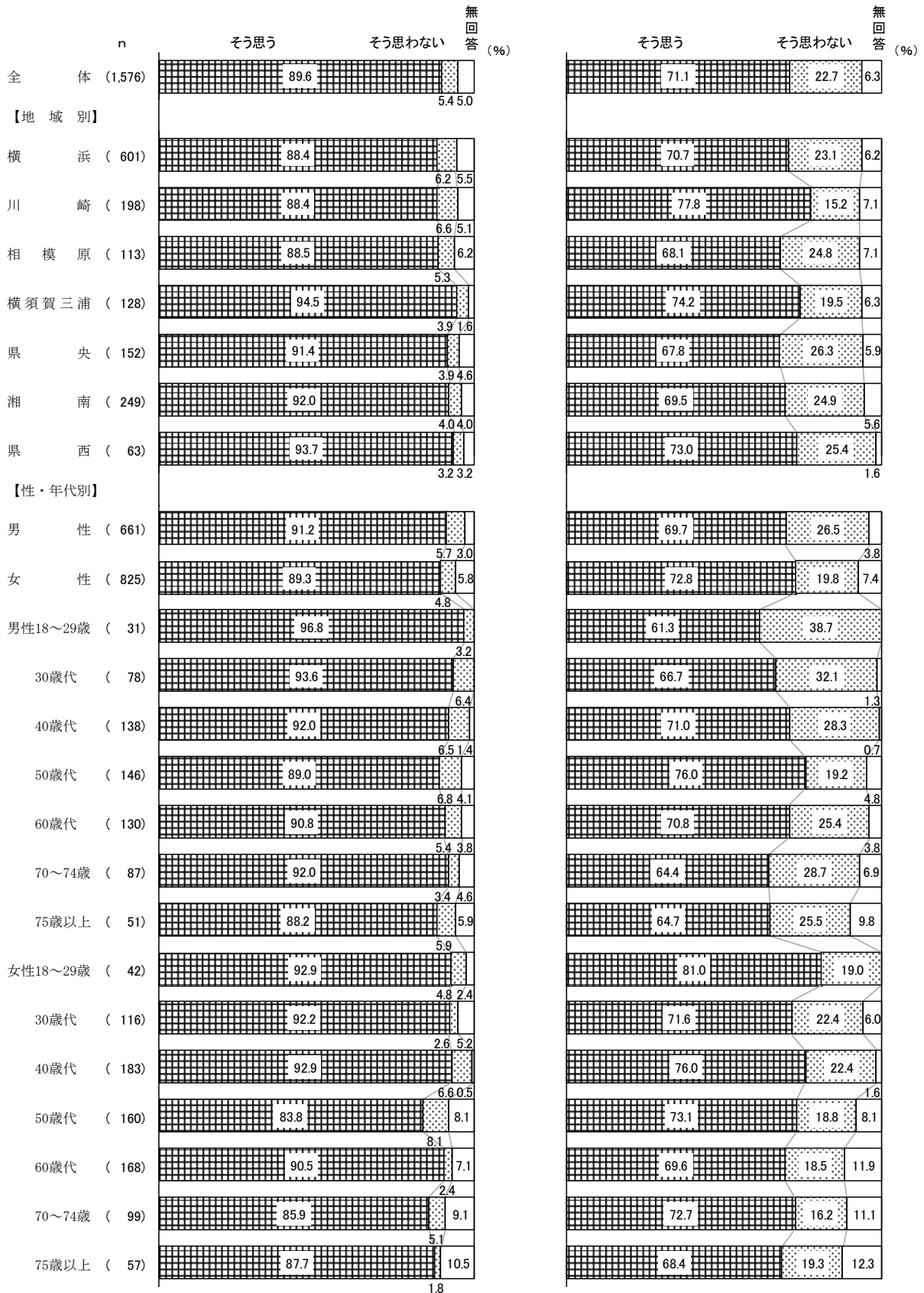
(20) 子どもを生み育てる環境が今のままでは、
子どもを持つのはむずかしい



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(21) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ

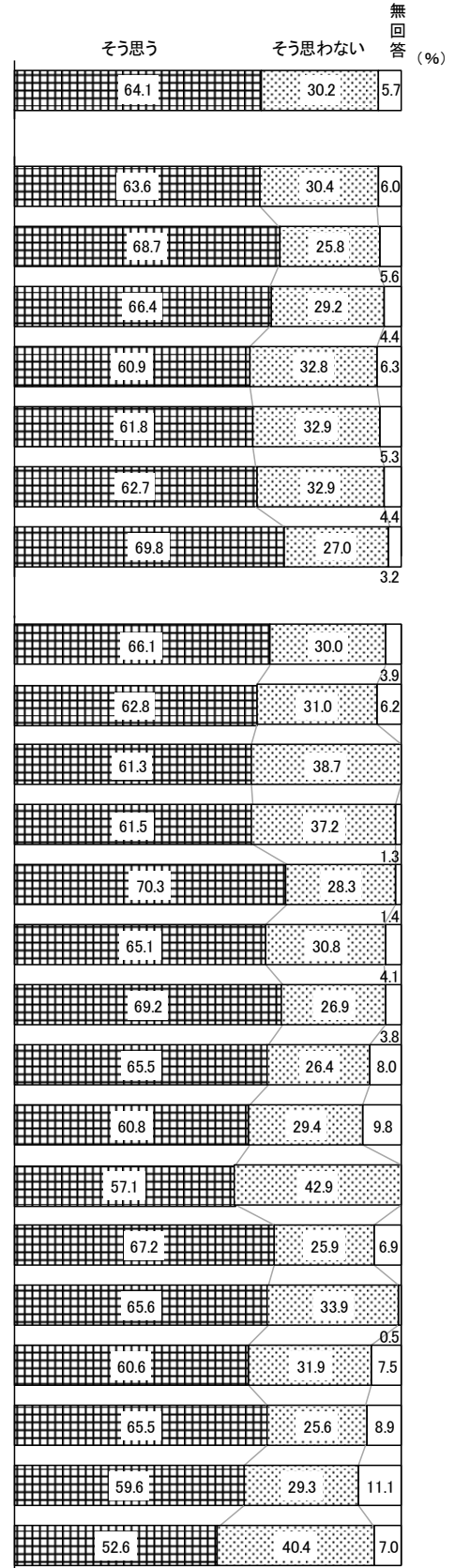
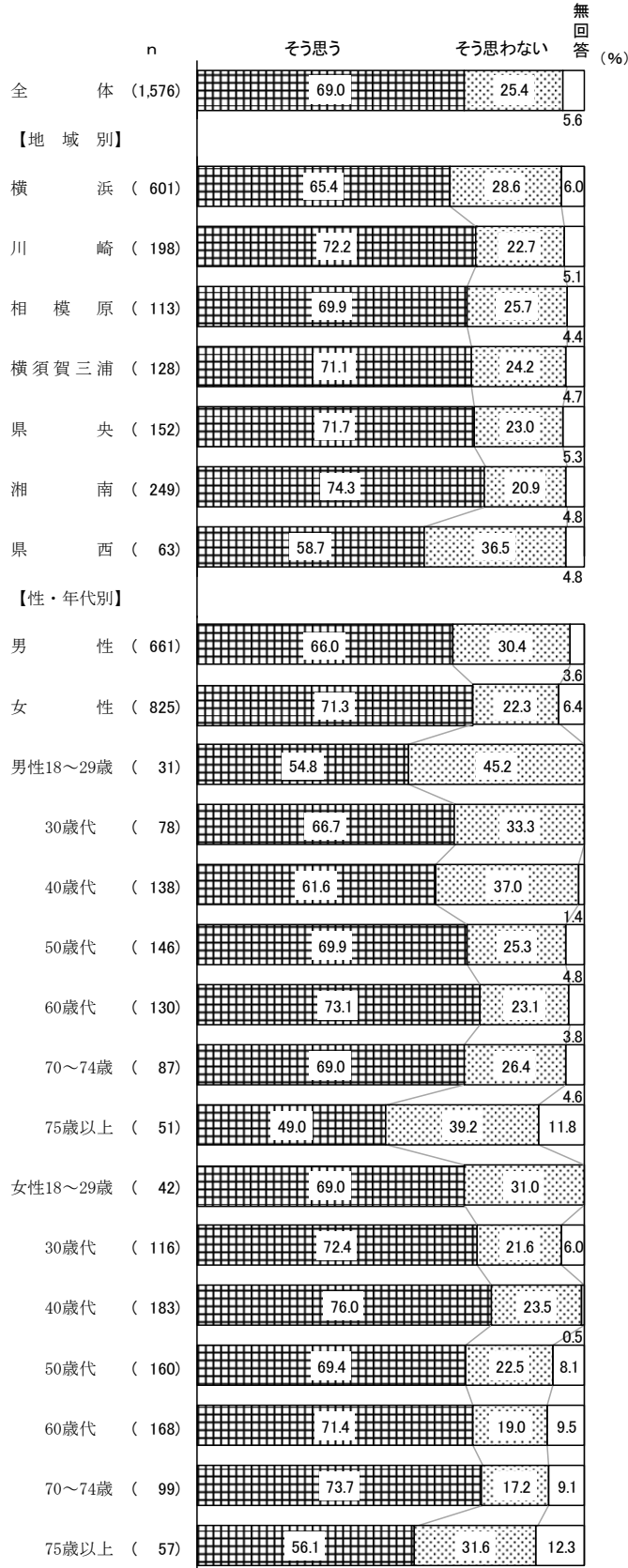
(22) 国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい



図表2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(23) 若者の「ひきこもり」など、青少年が自分自身の価値や存在感を実感しにくい世の中になっている

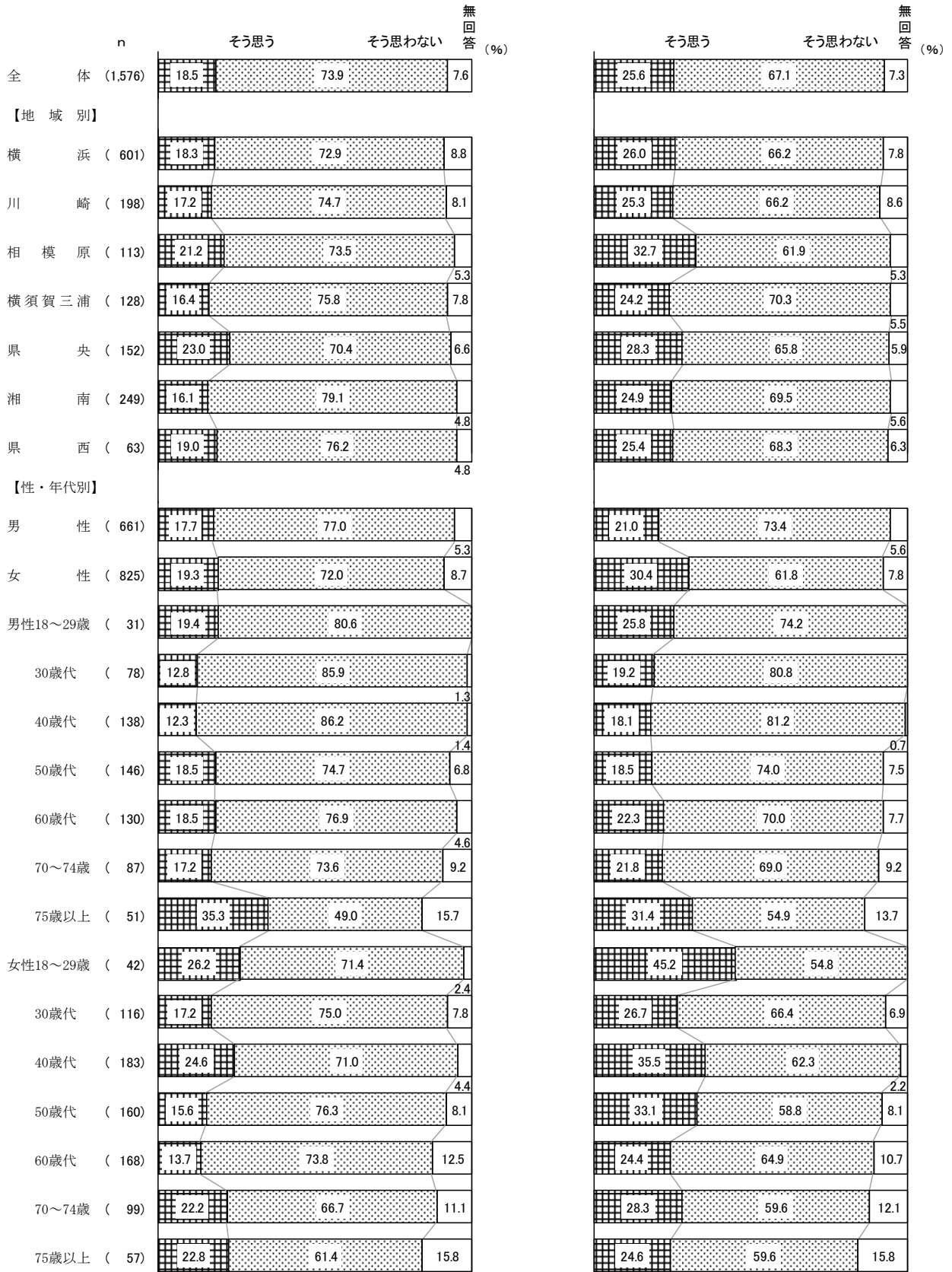
(24) 青少年をめぐる昨今問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい



図表2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(25) 教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている

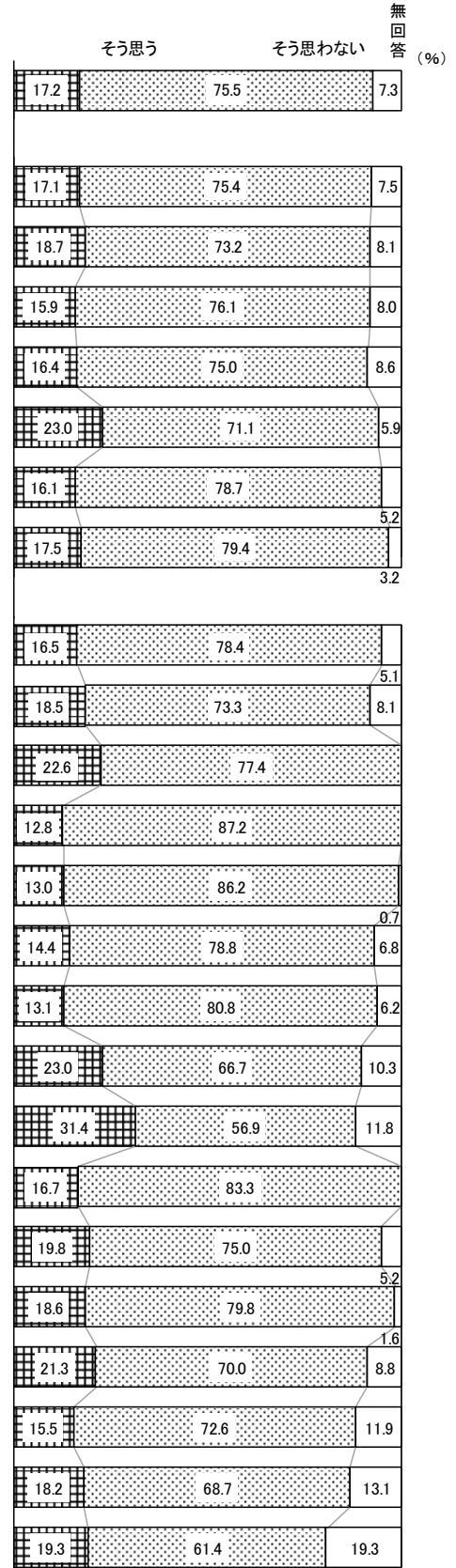
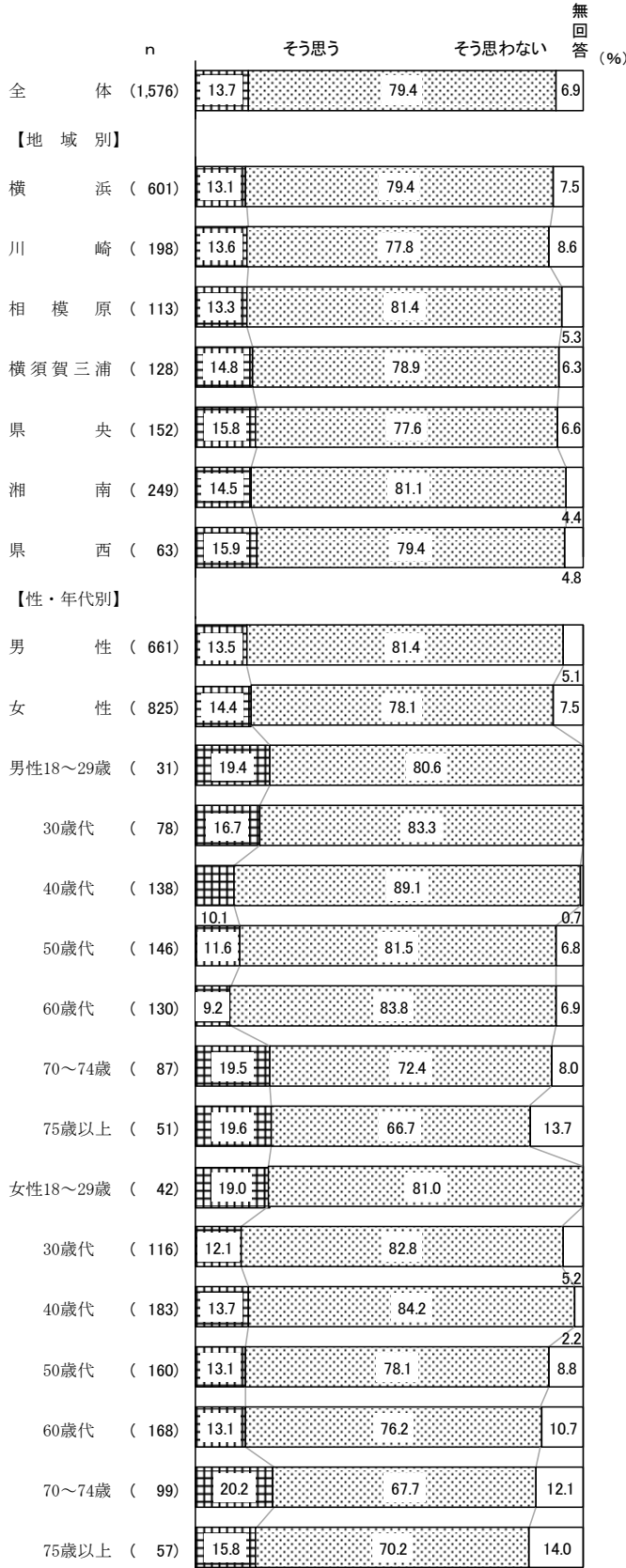
(26) 今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている



図表2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(27) 今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健やかな成長に責任を持つようになっていく

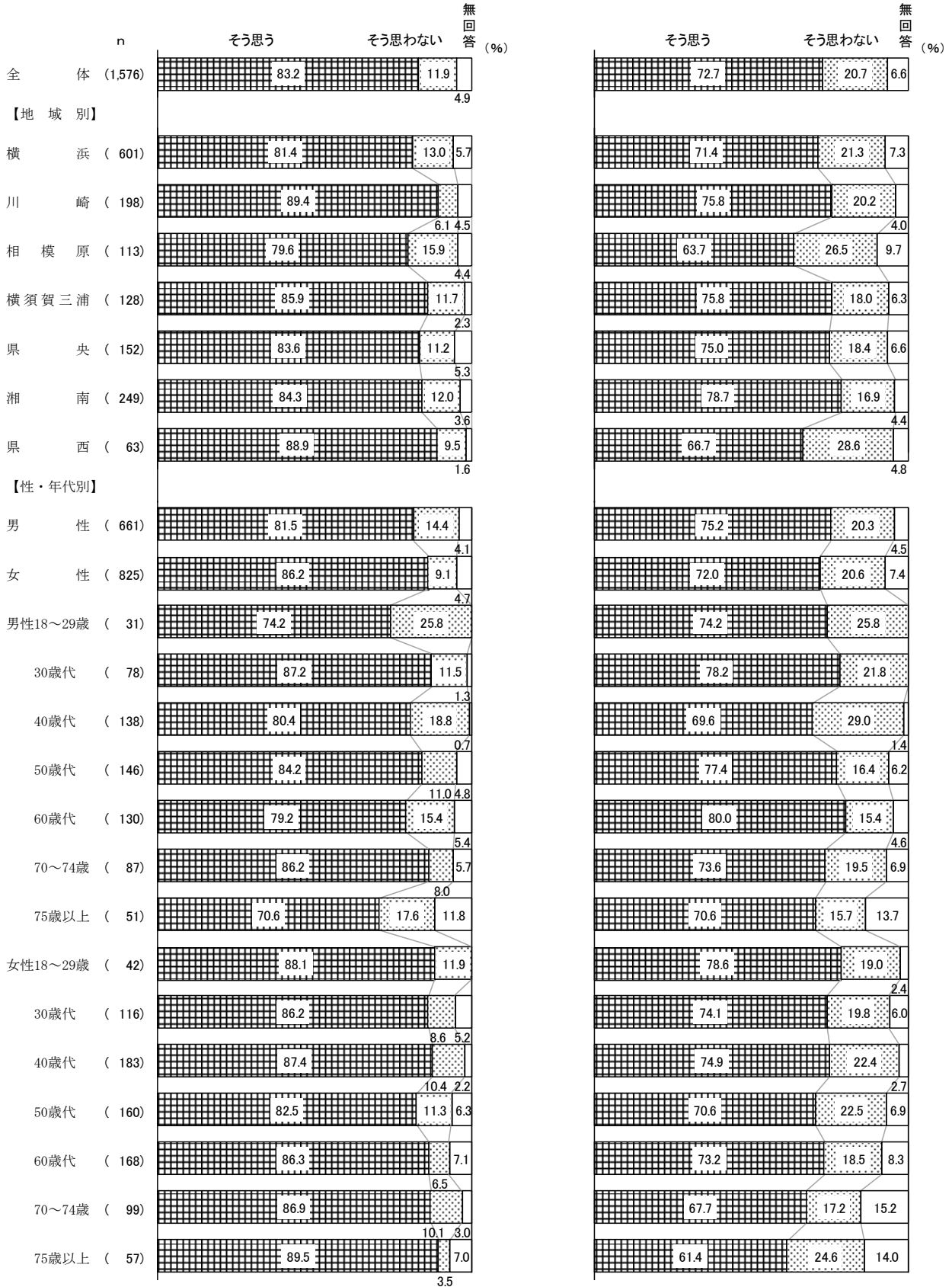
(28) 今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが提携し県民全体で進めるようになっていく



図表2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(29) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい

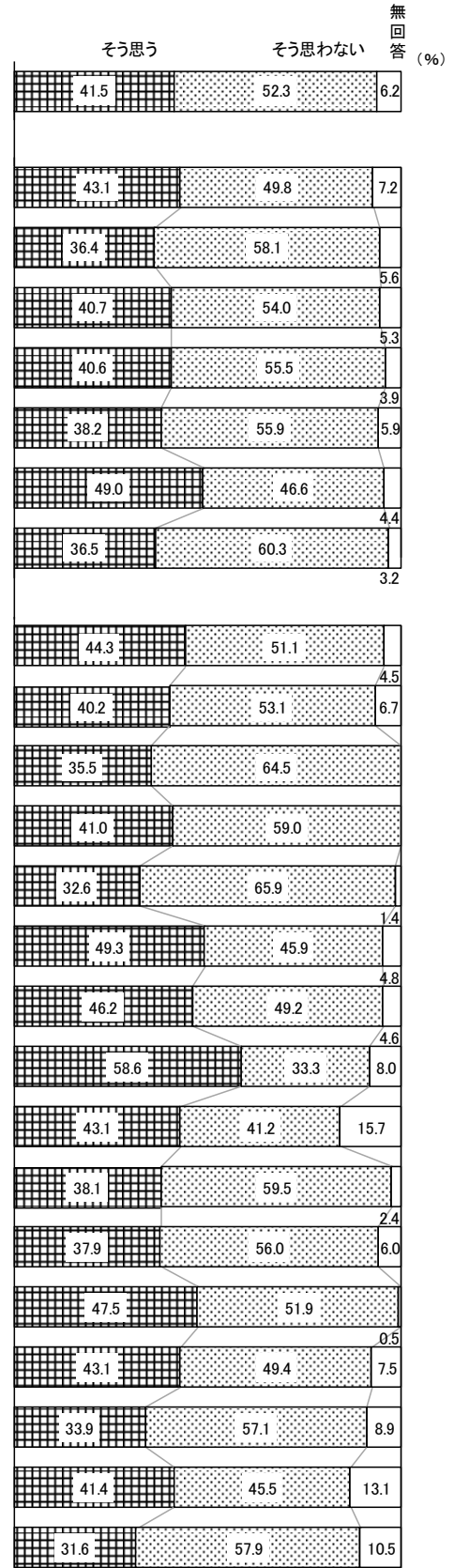
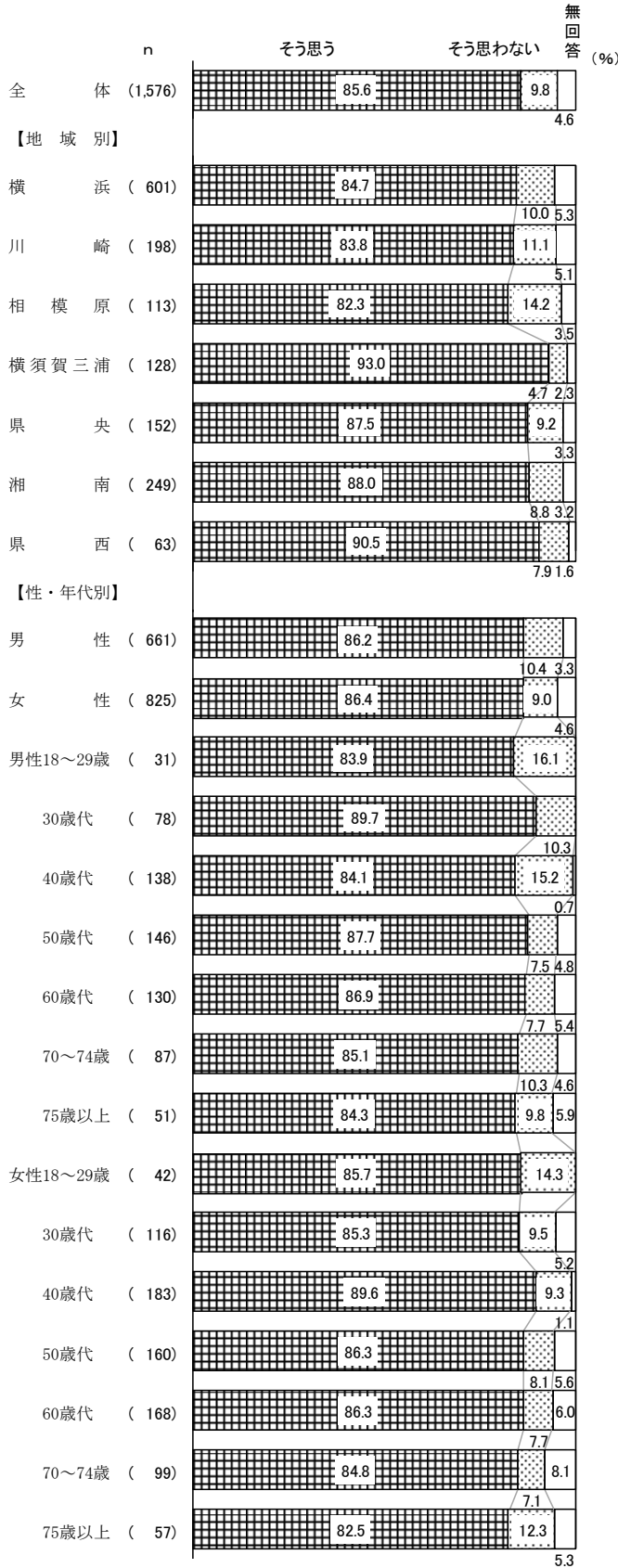
(30) 県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(31) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ

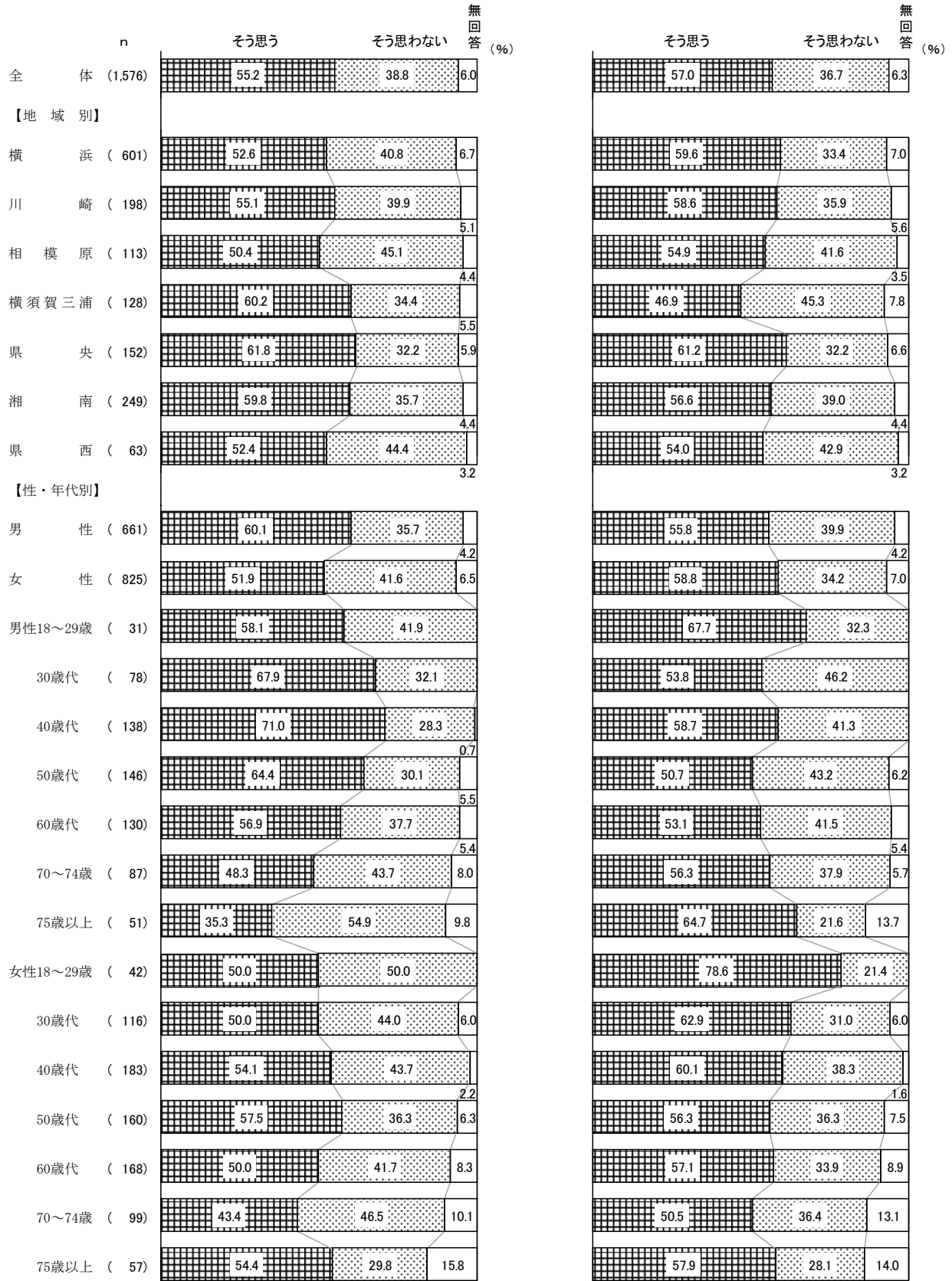
(32) まちなみ、歴史的建造物の保全や公園づくりなど、まちづくり関係の活動に参加してみたい



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別) (つづき)

(33) 県内では、交通渋滞が激しく自動車での移動が不便だ

(34) 今後 10 年くらいの間に、道路や公共交通網がさらに充実し、県内外への利便性がよくなっている



第3章 くらしの満足度【問7】

1 重要度【問7】

身近な生活に関する43項目について、どの程度重要だと感じているかを尋ねた。項目ごとに重要度を「非常に重要である」から「まったく重要ではない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は、「非常に重要である」「かなり重要である」「どちらともいえない」「さほど重要でない」「まったく重要ではない」の5区分に「分からない」を加えた6区分とした。

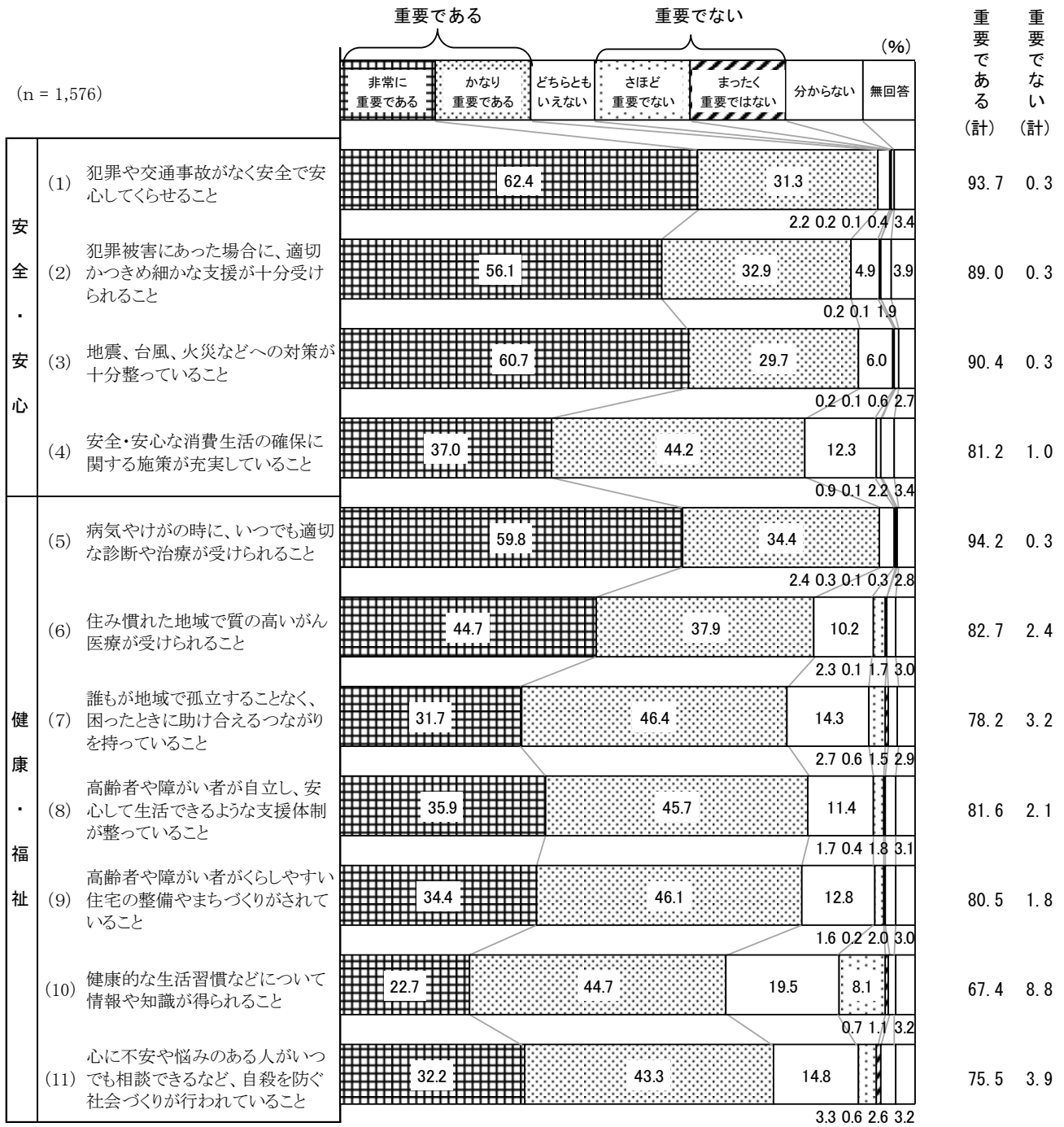
【全体の状況】

項目別の重要度の回答状況は、図表3-1-1に示すとおりである。

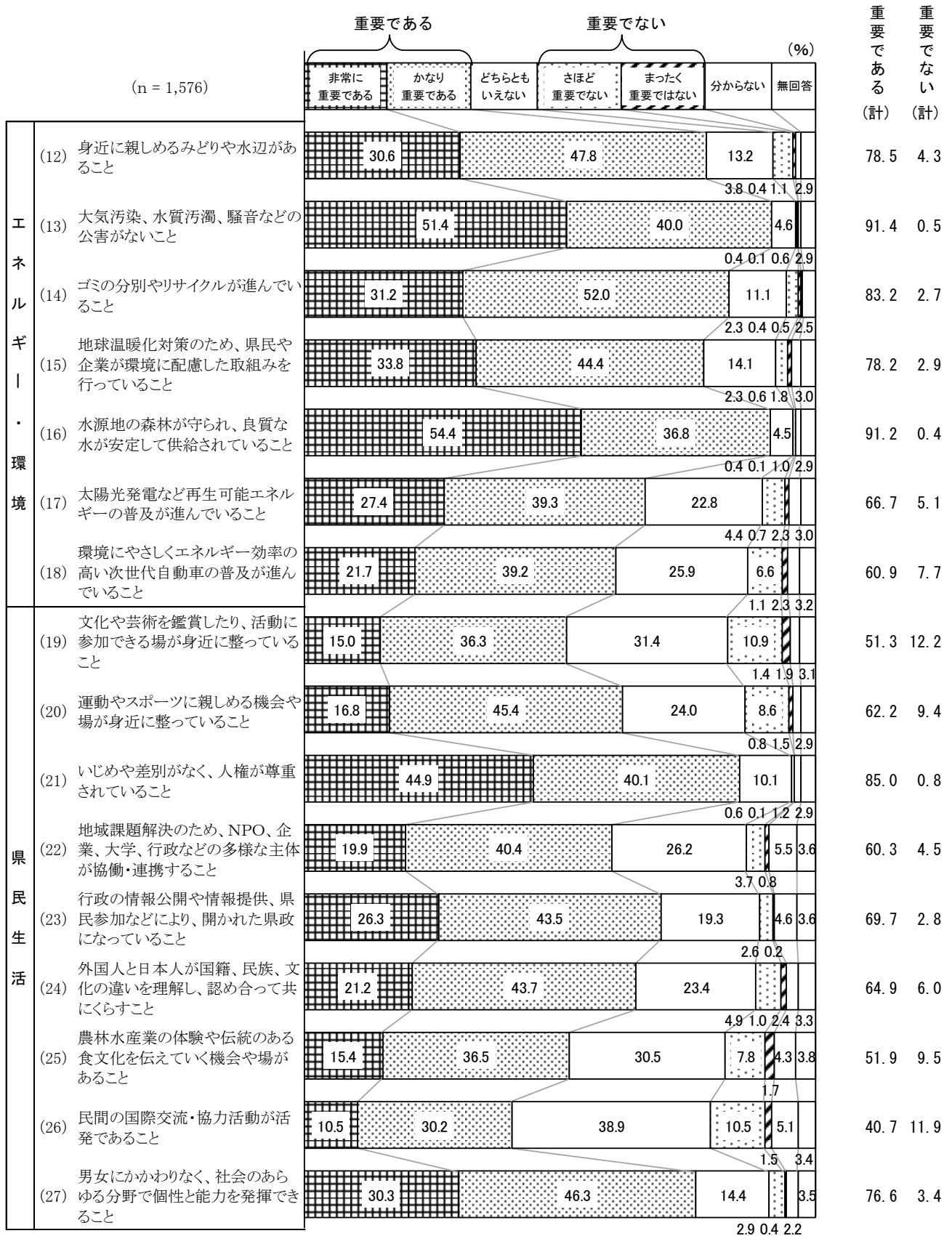
「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせた《重要である》と「さほど重要でない」と「まったく重要ではない」を合わせた《重要でない》を比較すると、すべての項目で《重要である》が《重要でない》を上回った。

《重要である》をみると、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」が94.2%で最も多く、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること」(93.7%)と「(13) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」(91.4%)が続いた。(図表3-1-1)

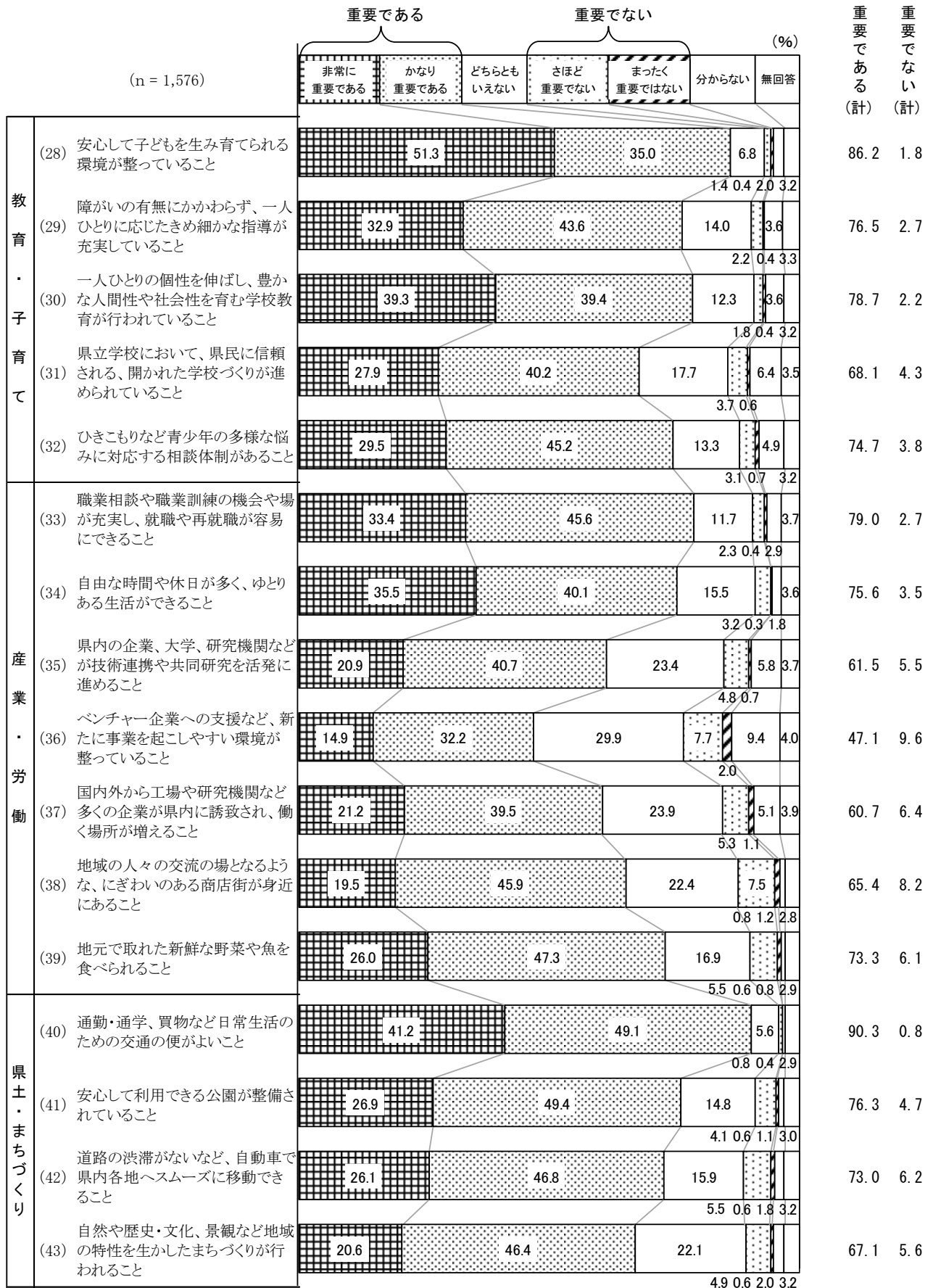
図表3-1-1 重要度



図表3-1-1 重要度（つづき）



図表3-1-1 重要度（つづき）



【過去との比較】

《重要である》の上位10項目について過去の調査と比較すると、上位6項目は、前回調査と同じ項目となっている。(図表3-1-2)

図表3-1-2 重要度《重要である》の上位10項目－過去との比較

	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)
1位	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(95.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(94.6%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(95.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.7%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.2%)
2位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.1%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(93.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(95.4%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(92.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(93.7%)
3位	下水道が整備されていること(91.8%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(92.9%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.4%)
4位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(90.8%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.7%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.8%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.2%)
5位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(90.8%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(92.0%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.3%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.4%)
6位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(90.2%)	下水道が整備されていること(90.0%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(91.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.3%)
7位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(89.9%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(91.4%)	下水道が整備されていること(89.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.0%)
8位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(89.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(89.4%)	下水道が整備されていること(91.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(87.1%)	安心して子どもを育てられる環境が整っていること(86.2%)
9位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.2%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.2%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(91.1%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(87.0%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.0%)
10位	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(87.8%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(89.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.7%)	安心して子どもを育てられる環境が整っていること(85.3%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(83.2%)

※各項目の過去との比較については、図表A (97～107ページ)を参照

図表3-1-3 重要度《重要である》の上位項目－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目	(5)	(1)	(13)	(16)	(3)	(40)	(2)
	地 域 上段：順位 下段：(%)	な病 診気 断や やけ 治が 療の が受 けら れつ ても 適切	し犯 て罪 くや ら交 せ通 る事 故が なく 安全 で安 心	公大 害気 が汚 染、 水質 汚濁、 騒音 などの	が水 安源地 定地の して森 林が 守られ 、良 質な水	十地 分震、 整、台 つて風、 いて火 災など への 対策が	た通 勤勤 の・通 交学 通の 便買 が物 よなど い日 常生 活の
全 体 (n=1,576)	① 94.2	② 93.7	③ 91.4	④ 91.2	⑤ 90.4	⑥ 90.3	⑦ 89.0
横 浜 (n= 601)	① 95.0	② 93.5	⑤ 91.2	③ 92.2	④ 91.5		
川 崎 (n= 198)	① 97.0	③ 93.4	④ 92.9		② 94.9	④ 92.9	
相模原 (n= 113)	② 92.0	① 92.9	② 92.0	④ 90.3			⑤ 89.4
横須賀三浦 (n= 128)	① 97.7	② 95.3	③ 94.5	④ 93.0			⑤ 92.2
県 央 (n= 152)	② 92.1	① 95.4	④ 88.8			④ 88.8	③ 89.5
湘 南 (n= 249)	② 95.6	① 96.0	② 95.6		④ 94.0	④ 94.0	
県 西 (n= 63)	② 93.7	④ 90.5	③ 92.1		① 95.2		④ 90.5

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-1-4 重要度《重要である》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目	(5)	(1)	(13)	(16)	(3)	(40)	(2)	(28)	(21)	(14)	(6)	(8)	(4)	(34)
	な病 診気 断や けが 治療 が受 けら れる こと と適切	して 犯罪 や交 通事 故が なく 安全 で安 心	公大 害気 が汚 染、 水質 汚濁 、騒 音な どの	が水 源地 の森 林が 守ら れ、 良質 な水	十分 地震 、台 風、 火災 など への 対策 が	た通 勤・ 通学 、買 物な ど日 常生 活の	る犯 罪被 害に あつ た場 合に 、適 切か ら	環安 境心 して 子ど もを 生み 育て られ る	さい じめ や差 別が なく 、人 権が 尊重	いる こと の分 別や リサ イク ルが 進ん で	療住 み慣 れた 地域 で質 の高 いが ん医	整高 して 生活 でき るよ うな 支 援体 制が	す安 全・ 安心 な消 費生 活の 確保 に 関	ある 自由 な時 間や 休日 が多 く、 ゆとり
全体 (n=1,576)	① 94.2	② 93.7	③ 91.4	④ 91.2	⑤ 90.4	⑥ 90.3	⑦ 89.0	⑧ 86.2	⑨ 85.0	⑩ 83.2	⑪ 82.7	⑫ 81.6	⑬ 81.2	⑭ 75.6
男性 (n= 661)	② 94.3	① 95.0	③ 92.6	④ 92.1	⑤ 90.0									
女性 (n= 825)	① 95.8	② 93.5	④ 92.0	⑤ 91.8	③ 92.7									
男性18～29歳 (n= 31)	② 93.5	① 96.8			③ 90.3		③ 90.3						③ 90.3	③ 90.3
30歳代 (n= 78)	② 96.2	① 97.4		③ 94.9		③ 94.9		⑤ 93.6						
40歳代 (n= 138)	② 94.9	① 100.0	⑤ 93.5	⑤ 93.5	③ 94.2		③ 94.2							
50歳代 (n= 146)	① 96.6	⑤ 91.8	① 96.6	③ 95.9	④ 92.5									
60歳代 (n= 130)	③ 91.5	① 95.4	② 92.3	④ 90.0	⑤ 87.7									
70～74歳 (n= 87)	① 94.3	② 93.1	② 93.1	⑤ 92.0						② 93.1				
75歳以上 (n= 51)	① 90.2	③ 88.2		⑤ 84.3					⑤ 84.3	① 90.2	④ 86.3			
女性18～29歳 (n= 42)	① 95.2	① 95.2			① 95.2		① 95.2	① 95.2						
30歳代 (n= 116)	① 97.4	③ 94.0	③ 94.0	③ 94.0	③ 94.0	② 94.8								
40歳代 (n= 183)	② 98.4	① 98.9	④ 95.6		③ 96.2	⑤ 95.1								
50歳代 (n= 160)	① 94.4	① 94.4	① 94.4		① 94.4		⑤ 91.3							
60歳代 (n= 168)	① 96.4		④ 92.3	② 94.0						⑤ 91.7		③ 92.9		
70～74歳 (n= 99)	① 93.9	⑤ 89.9		④ 90.9	⑤ 89.9	② 91.9				② 91.9				
75歳以上 (n= 57)	② 89.5	⑤ 86.0		② 89.5	④ 87.7					① 91.2				

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

2 満足度【問7】

「重要度」で尋ねた項目と同じ43項目について、どの程度満たされていると感じているかを尋ねた。項目ごとに「十分満たされている」から「ほとんど満たされていない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は「十分満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の5区分に「分からない」を加えた6区分とした。

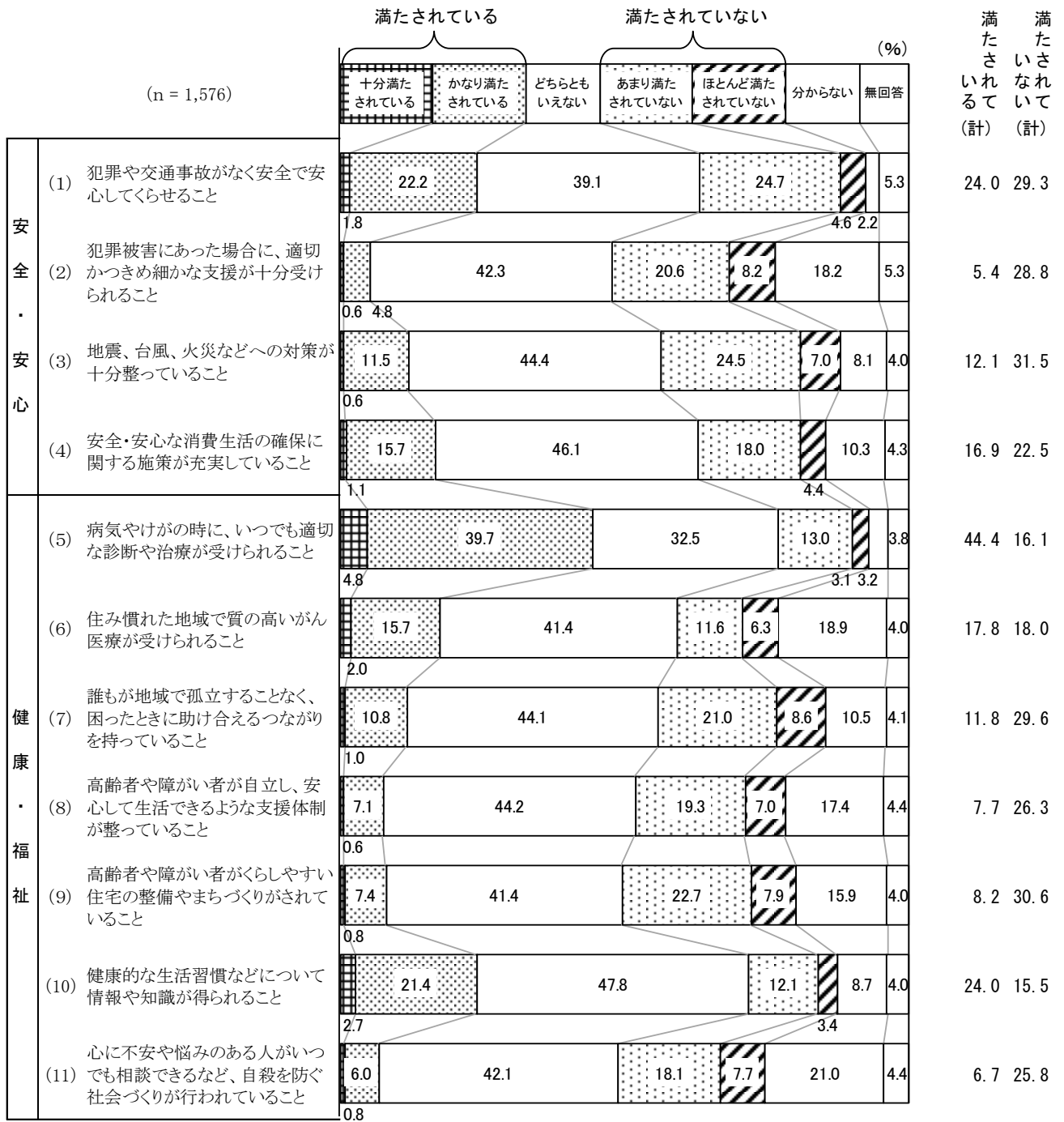
【全体の状況】

項目別の満足度の回答状況は、図表3-2-1に示すとおりである。

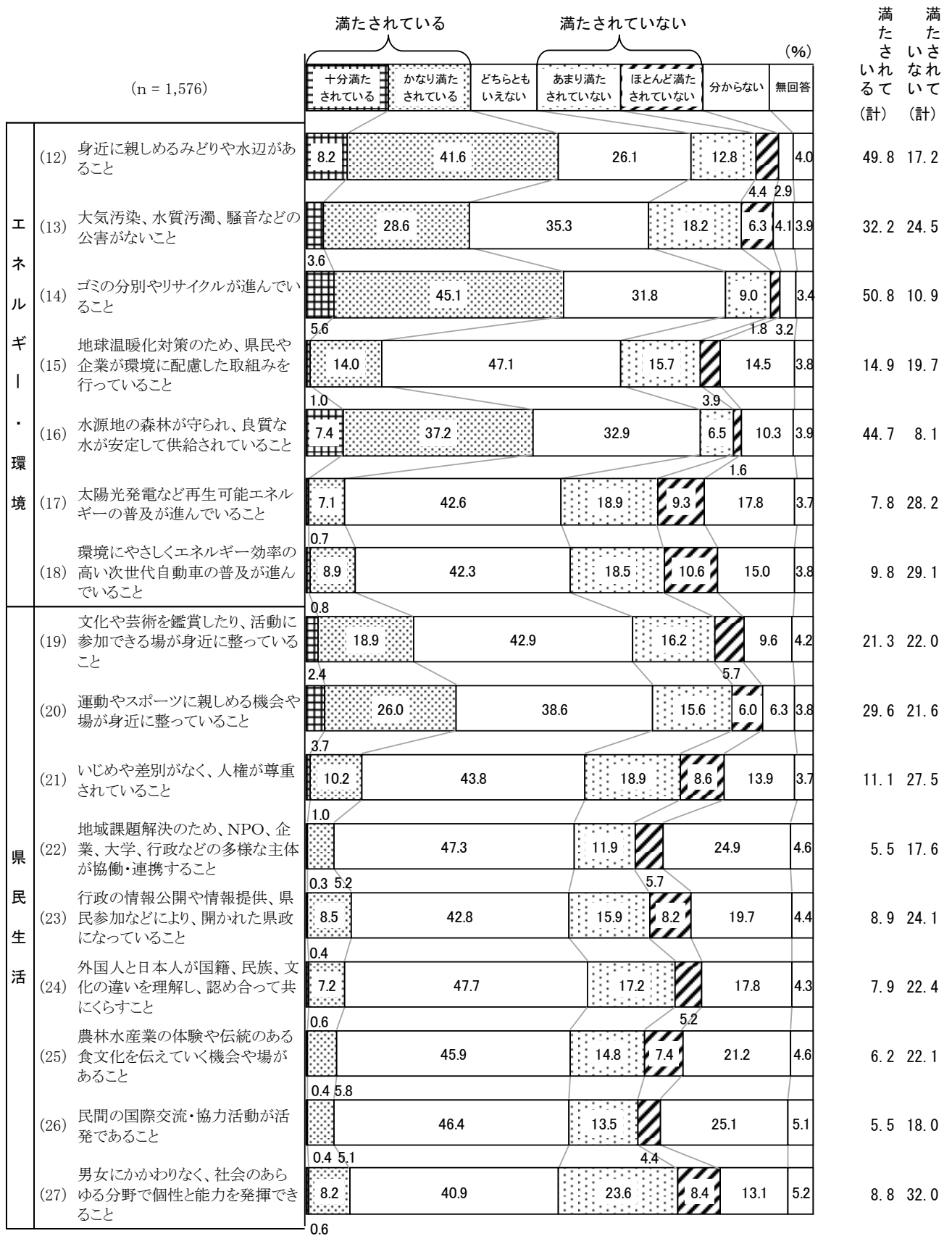
「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせた《満たされている》は、「(14) ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」が50.8%で最も多く、「(12) 身近に親しめるみどりや水辺があること」(49.8%)と「(40) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」(48.4%)が続いた。

「あまり満たされていない」と「ほとんど満たされていない」を合わせた《満たされていない》は、「(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が43.8%で最も多く、「(42) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」(36.7%)と「(27) 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること」(32.0%)が続いた。(図表3-2-1)

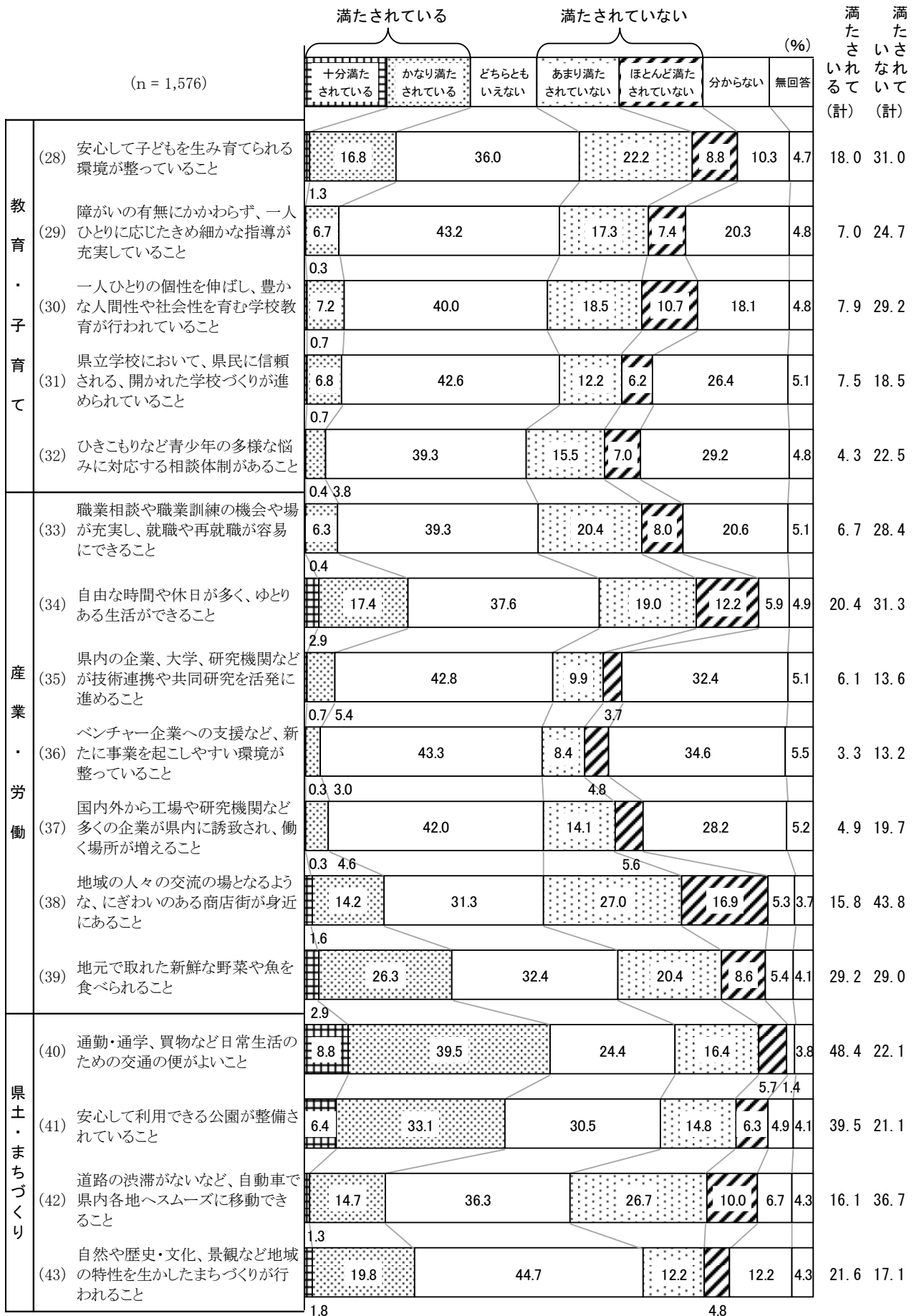
図表3-2-1 満足度



図表3-2-1 満足度（つづき）



図表3-2-1 満足度（つづき）



【過去との比較】

《満たされている》の上位10項目について過去の調査と比較すると、今年度から追加された項目である「(14) ゴみの分別やリサイクルが進んでいること」が第1位、平成28年度～令和元年度まで第3位だった「(12) 身近に親しめるみどりや水辺があること」が第2位、平成28年度～令和元年度まで第2位だった「(40) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が第3位となった。(図表3-2-2)

図表3-2-2 満足度《満たされている》の上位10項目－過去との比較

	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)
1位	下水道が整備されていること(68.5%)	下水道が整備されていること(65.4%)	下水道が整備されていること(68.0%)	下水道が整備されていること(68.2%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(50.8%) (新規)
2位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(51.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(44.9%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.7%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(49.8%)
3位	身近に親しめる緑や水辺があること(47.3%)	身近に親しめる緑や水辺があること(44.1%)	身近に親しめる緑や水辺があること(47.6%)	身近に親しめる緑や水辺があること(46.9%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(48.4%)
4位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(44.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(47.3%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(43.5%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(44.7%)
5位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(44.1%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(41.4%)	安心して利用できる公園が整備されていること(43.5%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(41.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(44.4%)
6位	安心して利用できる公園が整備されていること(43.4%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(39.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.9%)	安心して利用できる公園が整備されていること(41.0%)	安心して利用できる公園が整備されていること(39.5%)
7位	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(41.6%)	安心して利用できる公園が整備されていること(39.0%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(42.3%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(39.5%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(32.2%)
8位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(34.2%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(30.9%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(34.7%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(31.3%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(29.6%)
9位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(31.3%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(33.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(29.6%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(29.2%)
10位	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(27.4%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(31.8%)	文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること(26.4%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること 健康的な生活習慣などについて情報や知識が得られること(24.0%)

※「下水道が整備がされていること」は令和2年度より削除

※各項目の過去との比較については、図表B（108～118ページ）を参照

《満たされていない》の上位10項目について過去の調査と比較すると、平成28年度～令和元年度の調査と同様に、「(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が第1位となった。「(42)道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」は、前回調査の第4位から第2位となった。「(27) 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること」は、前回調査の第7位から第3位となった。(図表3-2-3)

図表3-2-3 満足度《満たされていない》の上位10項目－過去との比較

	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)
1位	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(41.9%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.9%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.5%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(41.6%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.8%)
2位	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(33.5%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.0%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(33.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(37.8%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(36.7%)
3位	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(32.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(34.7%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(33.1%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(35.2%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(32.0%)
4位	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(32.3%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(33.9%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(31.7%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(33.9%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(31.5%)
5位	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(31.5%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(31.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(30.3%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(33.6%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(31.3%)
6位	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(31.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(31.7%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(28.9%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(33.1%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(31.0%)
7位	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(31.5%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(28.5%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(31.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(30.6%)
8位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.0%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.7%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(28.0%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性をはぐむ学校教育が行われていること(31.4%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(29.6%)
9位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(29.5%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(30.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(27.7%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.8%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(29.3%)
10位	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(29.2%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.2%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(27.2%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(30.3%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.2%)

※各項目の過去との比較については、図表B（108～118 ページ）を参照

図表3-2-4 満足度《満たされている》の上位項目－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目 地域 上段：順位 下段：(%)	(14)	(12)	(40)	(16)	(5)	(41)	(39)
		がゴミの分別やサイクル	水辺に親しむみどりや	が常勤・通学、買い物など	さ良水受で病けも適切なが診の時に、療がつ	良質の水が森が守られ、	が安心して利用できる公園
全 体 (n=1,576)	① 50.8	② 49.8	③ 48.4	④ 44.7	⑤ 44.4	⑥ 39.5	⑨ 29.2
横 浜 (n= 601)	② 49.6	③ 46.9	① 50.9	④ 45.3	⑤ 44.3		
川 崎 (n= 198)	② 51.5	③ 43.4	① 59.6		⑤ 41.9	④ 42.9	
相模原 (n= 113)	④ 41.6	② 47.8		③ 46.9	① 49.6	⑤ 38.9	
横須賀三浦 (n= 128)	② 51.6	① 53.1	⑤ 39.8		③ 43.8		③ 43.8
県 央 (n= 152)	① 55.3	② 49.3	④ 44.7	④ 44.7	③ 46.1		
湘 南 (n= 249)	② 58.6	① 59.4	③ 49.0	④ 46.2		⑤ 43.8	
県 西 (n= 63)	⑤ 46.0	① 73.0		② 58.7	③ 55.6		④ 49.2

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-5 満足度《満たされていない》の上位項目—地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

項目 (番号)	(38)	(42)	(27)	(3)	(34)	(28)	(9)	(7)	(1)	(30)	(18)	(39)	(17)	(8)	(13)	(6)
	地域															
項目	とにぎわいの人々の交流の場となるような、	道路の渋滞がないなど、自動車ですぐに移動できること	分野で個性と能力を発揮できること	地震、台風、火災などへの対策が十分	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	安心して子どもを育てられる環境が整っていること	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持つていること	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらすること	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること
地域	全 体 (n=1,576)	横 浜 (n= 601)	川 崎 (n= 198)	相模原 (n= 113)	横須賀三浦 (n= 128)	県 央 (n= 152)	湘 南 (n= 249)	県 西 (n= 63)								
上段：順位	①	②	④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
下段：(%)	43.8	36.7	32.0	31.5	31.3	31.0	30.6	29.6	29.3	29.2	29.1	29.0	28.2	26.3	24.5	18.0

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-6 満足度《満たされている》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目 性・年代 上段：順位 下段：(%)	(14)	(12)	(40)	(16)	(5)	(41)
		でゴミの分別やリサイクルが進ん	あ身近に親しめるみどりや水辺が	の通勤・通学、通の買物がよど日常生活	と水源地の森林が守られ、良質な	と切気な断けや治療が受けられるも適
全体 (n=1,576)	① 50.8	② 49.8	③ 48.4	④ 44.7	⑤ 44.4	⑥ 39.5
男性 (n= 661)	① 53.7	② 49.6	⑤ 46.4	④ 47.0	③ 48.1	
女性 (n= 825)	③ 49.3	① 50.9	② 50.4	④ 43.2	⑤ 42.3	
男性18～29歳 (n= 31)		① 51.6	③ 45.2	③ 45.2	① 51.6	③ 45.2
30歳代 (n= 78)	② 52.6	④ 47.4		① 53.8	⑤ 44.9	③ 48.7
40歳代 (n= 138)	③ 50.7	① 54.3	⑤ 43.5	④ 44.9	② 52.2	
50歳代 (n= 146)	② 49.3	③ 46.6	① 50.7	④ 45.9	⑤ 43.2	
60歳代 (n= 130)	① 51.5	② 47.7	③ 46.2	⑤ 39.2	④ 45.4	
70～74歳 (n= 87)	① 64.4	③ 54.0	⑤ 50.6	② 58.6	④ 52.9	
75歳以上 (n= 51)	① 72.5	⑤ 45.1		③ 47.1	② 52.9	③ 47.1
女性18～29歳 (n= 42)	③ 47.6	② 54.8	① 59.5		④ 45.2	④ 45.2
30歳代 (n= 116)	⑤ 36.2	② 49.1	① 55.2		④ 42.2	③ 44.0
40歳代 (n= 183)	③ 50.3	① 56.8	② 51.4	⑤ 41.0	④ 45.9	⑤ 41.0
50歳代 (n= 160)	③ 45.0	② 47.5	① 53.1	④ 40.6	⑤ 38.1	
60歳代 (n= 168)	① 52.4	② 47.6	④ 41.1	② 47.6	⑤ 38.7	
70～74歳 (n= 99)	① 61.6	② 56.6	③ 52.5	④ 50.5	⑤ 47.5	⑤ 47.5
75歳以上 (n= 57)	① 56.1	④ 42.1	③ 47.4	② 49.1	④ 42.1	

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/)

図表3-2-7 満足度《満たされていない》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目	(38)	(42)	(27)	(3)	(34)	(28)	(9)	(7)	(1)	(30)	(18)	(39)	(2)	(33)	(17)	(21)	(11)	(13)	(24)
	地域の商店街が身近にあること	道路の渋滞がないこと	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	安心して子どもを育てられる環境が整っていること	高齢者が障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持っていること	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	犯罪被害にあつた場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること	就職が容易にできること	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合つて共にくらすこと
全体 (n=1,576)	① 43.8	② 36.7	③ 32.0	④ 31.5	⑤ 31.3	⑥ 31.0	⑦ 30.6	⑧ 29.6	⑨ 29.3	⑩ 29.2	⑪ 29.1	⑫ 29.0	⑬ 28.8	⑭ 28.4	⑮ 28.2	⑯ 27.5	⑰ 25.8	⑱ 24.5	㉔ 22.4
男性 (n= 661)	① 43.4	② 43.1		③ 33.3		④ 33.1									⑤ 32.1				
女性 (n= 825)	① 45.8	② 32.6	③ 32.5	⑤ 30.5			④ 31.5												
男性18～29歳 (n= 31)	⑤ 38.7	② 45.2	① 51.6		② 45.2	② 45.2								⑤ 38.7					
30歳代 (n= 78)	③ 41.0	① 52.6			② 47.4	④ 38.5					⑤ 35.9								
40歳代 (n= 138)	② 45.7	① 58.0		③ 37.7	④ 35.5			④ 35.5											
50歳代 (n= 146)	② 45.9	① 46.6		④ 32.9			④ 32.9								③ 34.2				
60歳代 (n= 130)	① 43.8	② 37.7				⑤ 34.6					④ 36.9				② 37.7				
70～74歳 (n= 87)	① 47.1		④ 34.5	② 41.4		③ 37.9	④ 34.5						④ 34.5						
75歳以上 (n= 51)	② 29.4			② 29.4							④ 27.5				④ 27.5				① 31.4
女性18～29歳 (n= 42)		④ 33.3	② 35.7		① 45.2	④ 33.3		④ 33.3		④ 33.3							② 35.7		
30歳代 (n= 116)	① 45.7		④ 40.5			② 44.0					⑤ 37.1					③ 41.4			
40歳代 (n= 183)	① 53.0	② 41.0	④ 32.2		③ 39.9					⑤ 30.1									
50歳代 (n= 160)	① 48.8			④ 35.6	④ 35.6		② 38.8	③ 36.3											
60歳代 (n= 168)	① 45.8			③ 33.3			② 37.5		⑤ 32.1	④ 32.7									
70～74歳 (n= 99)	① 37.4			③ 30.3				④ 28.3	④ 28.3					② 35.4					
75歳以上 (n= 57)	① 42.1						② 38.6					② 38.6	④ 36.8					④ 36.8	

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

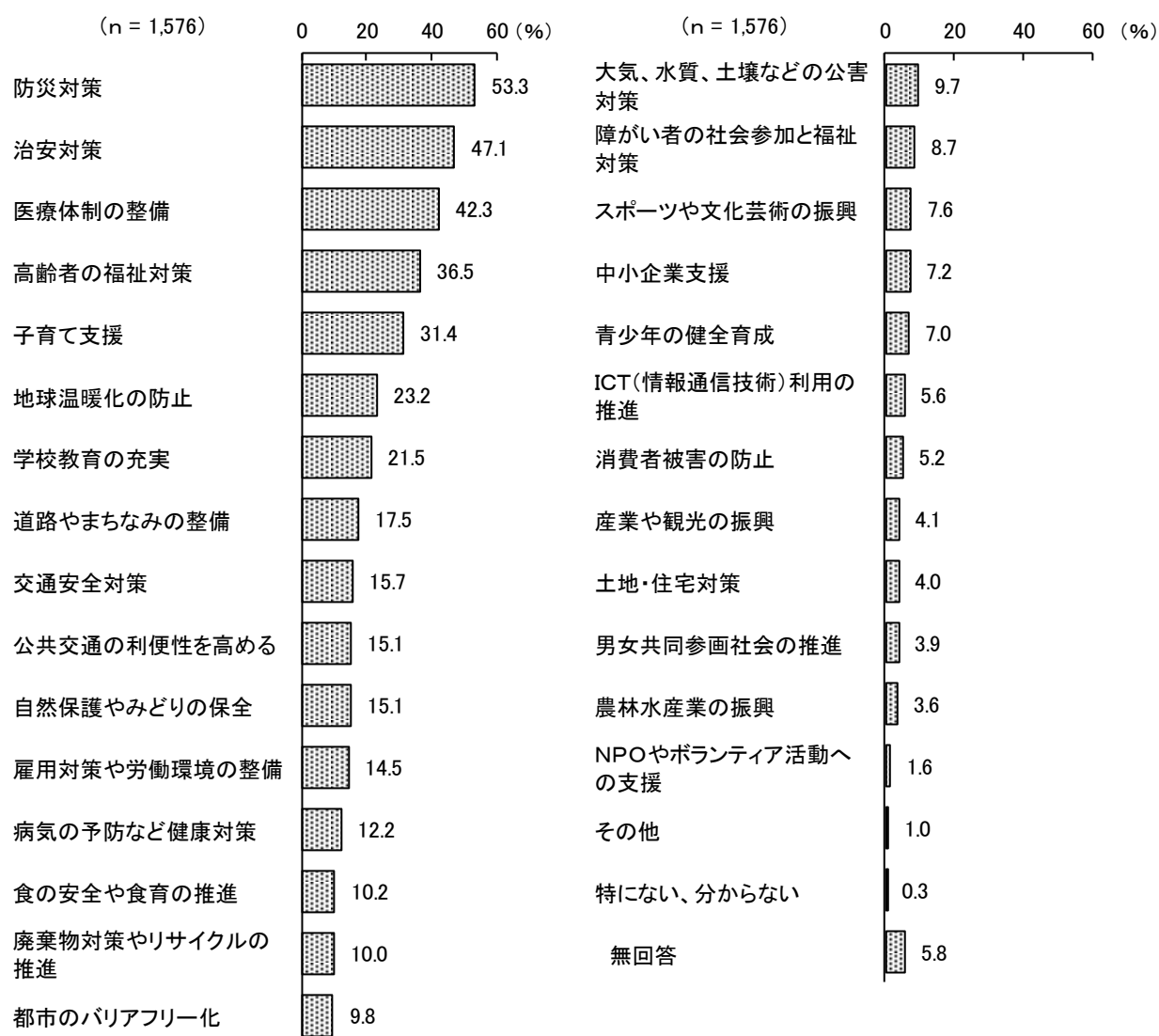
第4章 県行政への要望【問8】

県行政を進めていくうえで力を入れて取り組んでほしい分野

【全体の状況】

神奈川県を行政を進めていくうえで、力を入れて取り組んでほしい分野について30項目を挙げて複数回答（5つまで選択可）で尋ねたところ、上位5項目は、第1位「防災対策」（53.3%）、第2位「治安対策」（47.1%）、第3位「医療体制の整備」（42.3%）、第4位「高齢者の福祉対策」（36.5%）、第5位「子育て支援」（31.4%）となった。（図表4-1）

図表4-1 県行政への要望（複数回答）



【過去との比較】

過去の調査と比較すると、前回調査と同様に「防災対策」が第1位、「治安対策」が第2位、「医療体制の整備」が第3位となった。前回調査で第5位であった「高齢者の福祉対策」が第4位、第4位であった「子育て支援」が第5位となった。上位5項目は、平成28年度以降同じ項目となっている。(図表4-2)

図表4-2 県行政への要望（上位10項目）（複数回答）－過去との比較



※各選択肢の過去との比較については、図表C（119ページ）を参照

図表4-3 県行政への要望（上位項目）（複数回答）－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

選択肢 地域 上段：順位 下段：(%)	防 災 対 策	治 安 対 策	医 療 体 制 の 整 備	高 齢 者 の 福 祉 対 策	子 育 て 支 援	地 球 温 暖 化 の 防 止	道 路 や ま ち な み の 整 備
全 体 (n=1,576)	① 53.3	② 47.1	③ 42.3	④ 36.5	⑤ 31.4	⑥ 23.2	⑧ 17.5
横 浜 (n= 601)	① 56.2	② 53.4	③ 43.1	④ 36.6	⑤ 33.8		
川 崎 (n= 198)	① 52.0	② 51.0	③ 47.0	④ 41.9	⑤ 37.4		
相模原 (n= 113)	② 46.0	① 46.9	④ 37.2	③ 38.1	⑤ 28.3		
横須賀三浦 (n= 128)	① 56.3	② 44.5	③ 41.4	④ 37.5	⑤ 33.6	⑤ 33.6	
県 央 (n= 152)	① 59.2	② 51.3	③ 46.7	④ 42.1			⑤ 32.2
湘 南 (n= 249)	① 60.2	③ 42.2	② 46.2	④ 38.2	⑤ 34.1		
県 西 (n= 63)	① 52.4	③ 44.4	① 52.4	④ 33.3		⑤ 30.2	

※各選択肢の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表4-4 県行政への要望（上位項目）（複数回答）－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

選択肢 性・年代 上段：順位 下段：（％）	防 災 対 策	治 安 対 策	医 療 体 制 の 整 備	高 齢 者 の 福 祉 対 策	子 育 て 支 援	地 球 温 暖 化 の 防 止	学 校 教 育 の 充 実	交 通 安 全 対 策	公 共 交 通 の 利 便 性 を 高 め る
全 体 (n=1,576)	① 53.3	② 47.1	③ 42.3	④ 36.5	⑤ 31.4	⑥ 23.2	⑦ 21.5	⑨ 15.7	⑩ 15.1
男 性 (n= 661)	① 57.9	② 51.4	③ 43.6	④ 36.3	⑤ 31.0				
女 性 (n= 825)	① 54.2	② 47.9	③ 45.0	④ 40.2	⑤ 34.4				
男性18～29歳 (n= 31)	② 45.2	① 58.1	⑤ 29.0		② 45.2		④ 38.7		⑤ 29.0
30歳代 (n= 78)	④ 37.2	③ 39.7	② 41.0		① 59.0		⑤ 35.9		
40歳代 (n= 138)	① 58.0	① 58.0	④ 39.1		③ 40.6		⑤ 27.5		
50歳代 (n= 146)	① 67.1	② 56.8	③ 46.6	④ 41.1				⑤ 23.3	
60歳代 (n= 130)	① 62.3	② 49.2	④ 46.9	③ 47.7		⑤ 28.5			
70～74歳 (n= 87)	① 63.2	③ 47.1	③ 47.1	② 51.7		⑤ 28.7			
75歳以上 (n= 51)	② 51.0	③ 45.1	③ 45.1	① 54.9		⑤ 35.3			
女性18～29歳 (n= 42)	② 57.1	③ 45.2	④ 40.5		① 61.9		⑤ 23.8		
30歳代 (n= 116)	④ 44.8	② 54.3	③ 47.4		① 68.1		⑤ 36.2		
40歳代 (n= 183)	① 56.3	② 48.6	④ 39.9		③ 41.5		⑤ 37.7		
50歳代 (n= 160)	① 55.0	① 55.0	③ 50.6	④ 43.8	⑤ 27.5				
60歳代 (n= 168)	① 61.9	④ 41.1	③ 45.2	② 48.8		⑤ 34.5			
70～74歳 (n= 99)	② 50.5	⑤ 44.4	④ 46.5	① 54.5		③ 48.5			
75歳以上 (n= 57)	③ 45.6	④ 40.4	④ 40.4	① 64.9		② 49.1			

※各選択肢の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。
（県民ニーズ調査：<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>）

第IV部 県政への自由意見

調査テーマへの自由意見

質問の最後に、調査テーマに対しての意見、提案などを自由に記述してもらったところ、回答者1,576人のうち、26.2%に相当する413人から多岐にわたる意見（1,102件）が寄せられた。

（1）安全・安心

- ・ 自然災害・防災に関する事 … 35 件
- ・ 治安対策に関する事 … 20 件
- ・ 防犯に関する事 … 20 件
- ・ 交通安全に関する事 … 19 件
- ・ 消費生活に関する事 … 2 件

（2）健康・福祉

- ・ 健康に関する事 … 133 件
- ・ 病気に関する事 … 120 件
- ・ 子どもに関する事 … 96 件
- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する事 … 60 件
- ・ 医療（治療・薬）に関する事 … 38 件
- ・ 障がい者に関する事 … 24 件
- ・ 人権に関する事 … 15 件
- ・ 食に関する事 … 10 件

（3）エネルギー・環境

- ・ 環境保全に関する事 … 47 件
- ・ 河川に関する事 … 26 件
- ・ ごみ問題に関する事 … 11 件
- ・ 森林に関する事 … 11 件
- ・ 生物に関する事 … 8 件
- ・ 農業に関する事 … 4 件
- ・ 畜産に関する事 … 4 件
- ・ 水産に関する事 … 4 件

（4）県民生活

- ・ 国際交流に関する事 … 16 件
- ・ 文化芸術に関する事 … 11 件
- ・ スポーツ・運動に関する事 … 5 件

(5) 産業・労働

- ・ 雇用に関する事 35 件
- ・ 企業支援に関する事 29 件
- ・ 商店街に関する事 10 件

(6) 県土・まちづくり

- ・ 都市整備に関する事 76 件
- ・ 道路に関する事 53 件
- ・ インフラ整備に関する事 44 件
- ・ 河川・下水に関する事 19 件
- ・ 住居に関する事 17 件

(7) 県政一般

- ・ I R (カジノ誘致) に関する事 32 件
- ・ 知事・県議会議員・職員に関する事 27 件
- ・ 広報に関する事 10 件

(8) その他

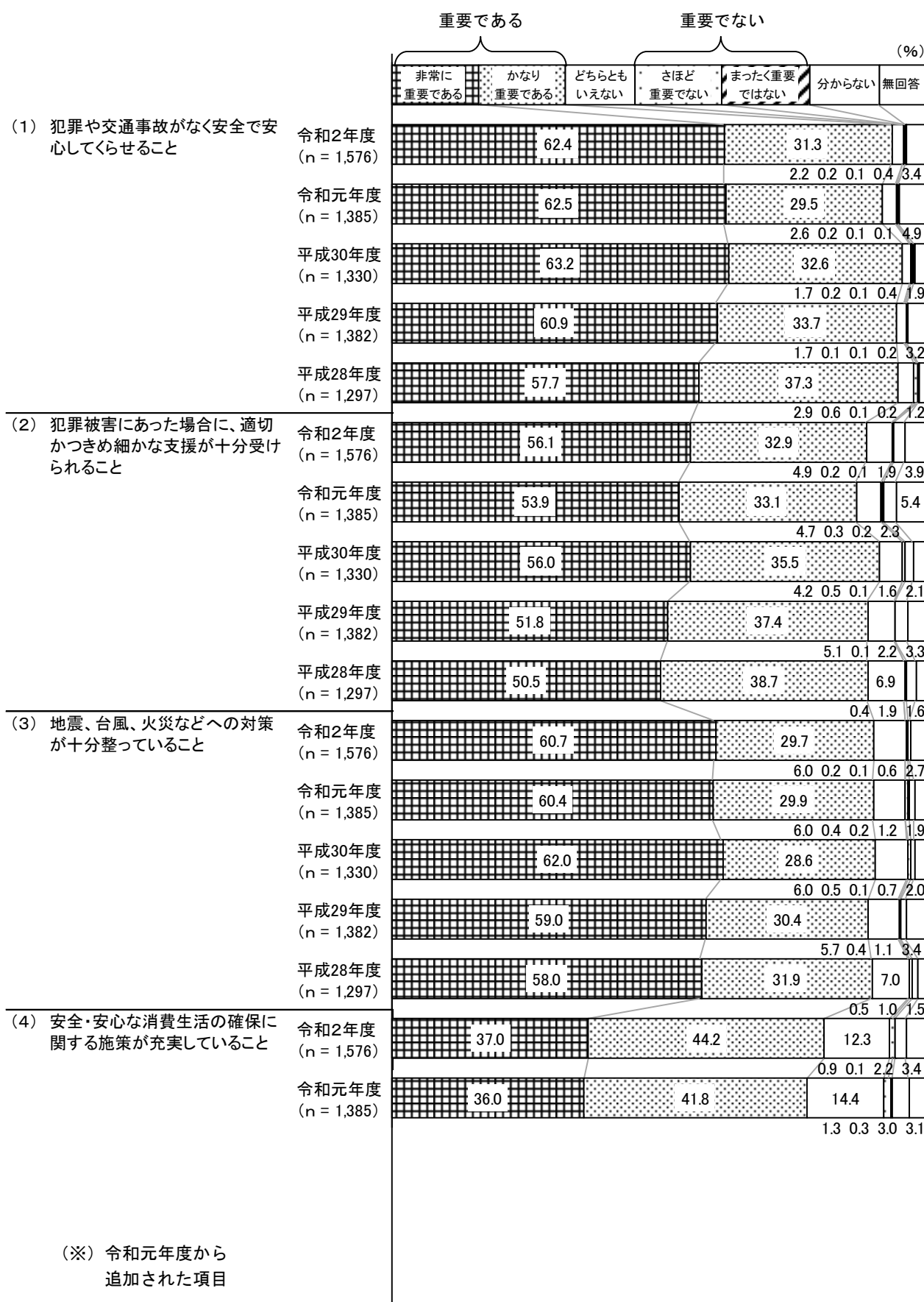
- ・ アンケートに関する事 11 件

第V部 グラフ

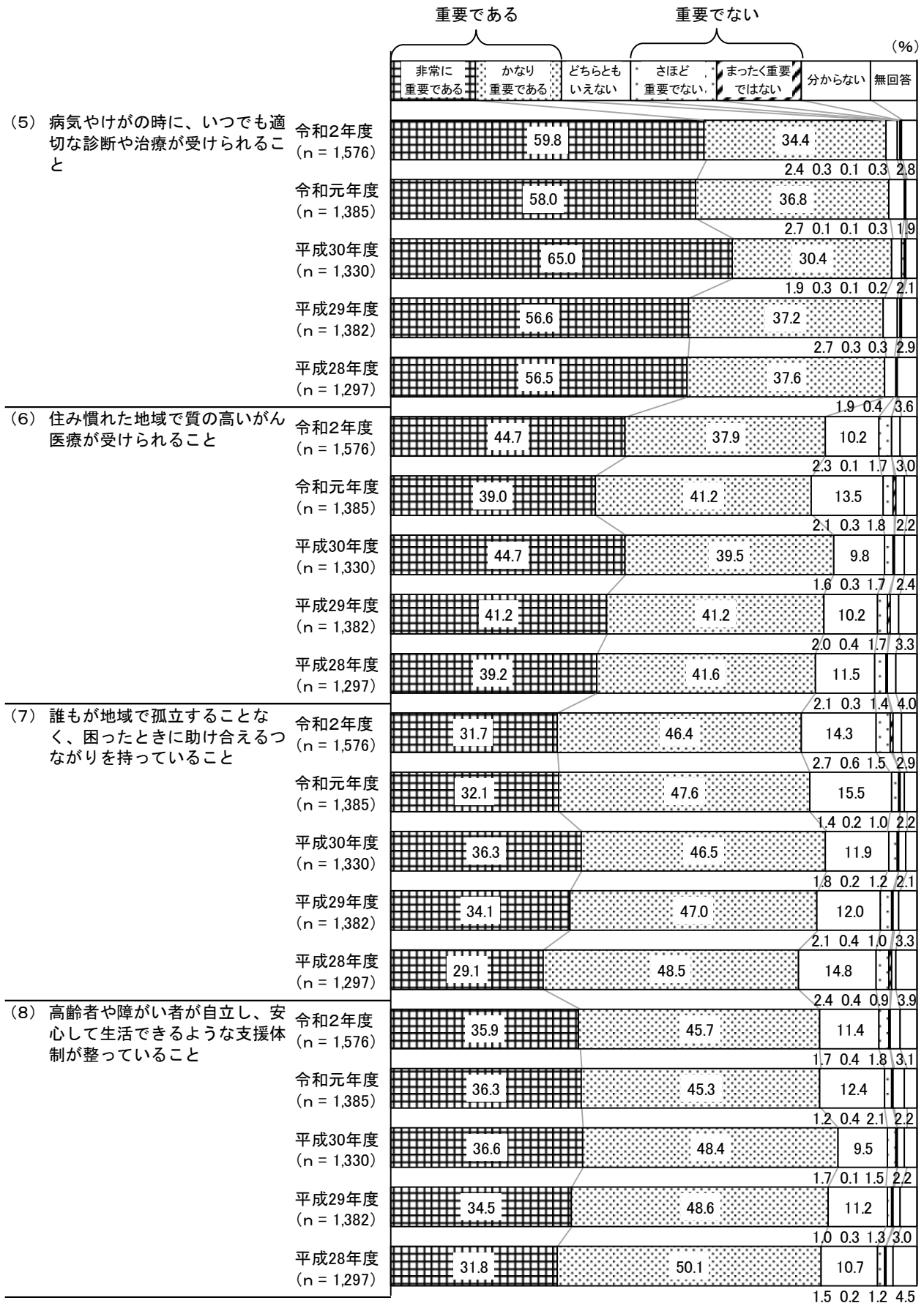
(くらしの満足度、県行政への要望)

※ 地域、性・年代別の集計表については県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。
(県民ニーズ調査：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

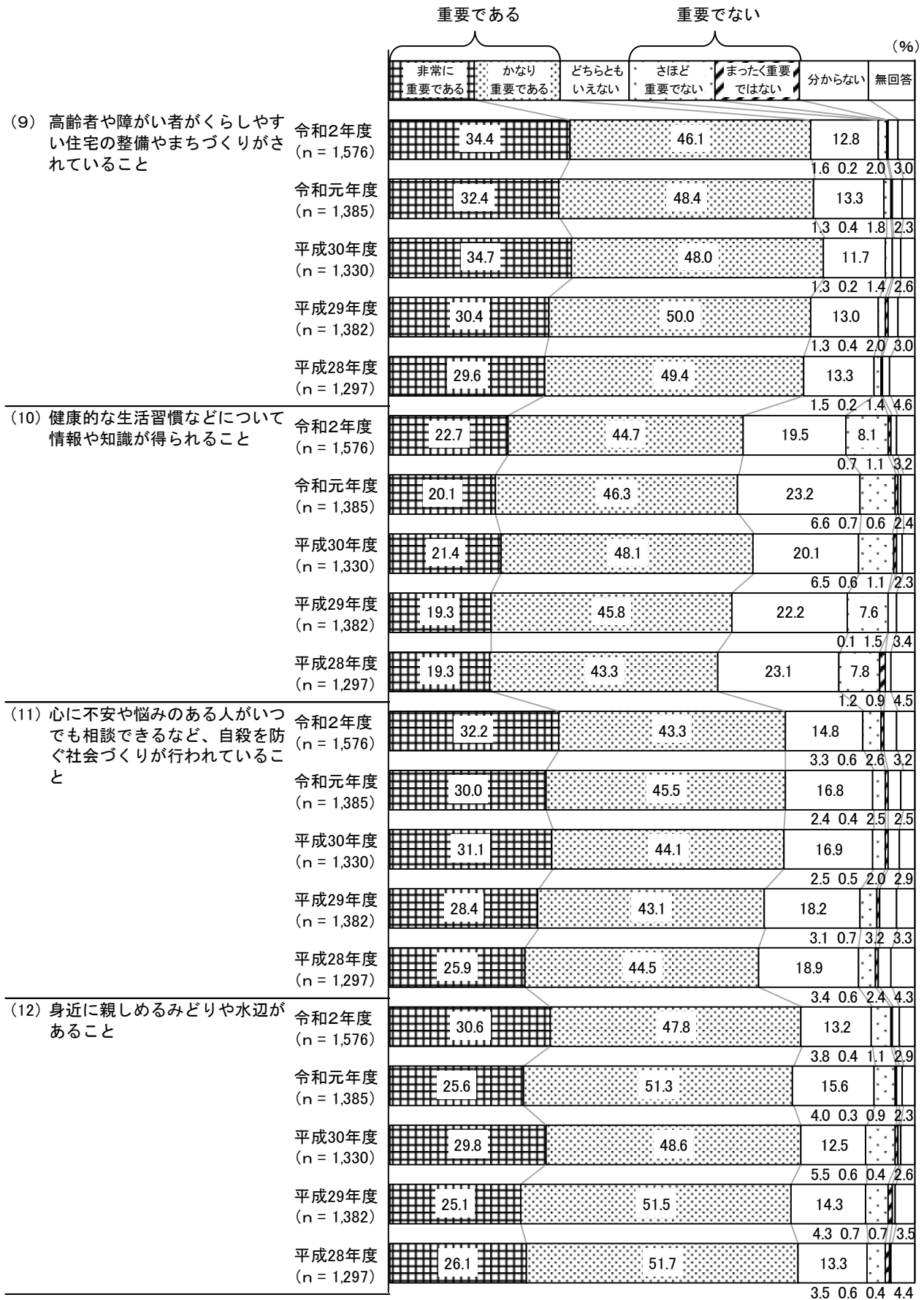
図表A 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較



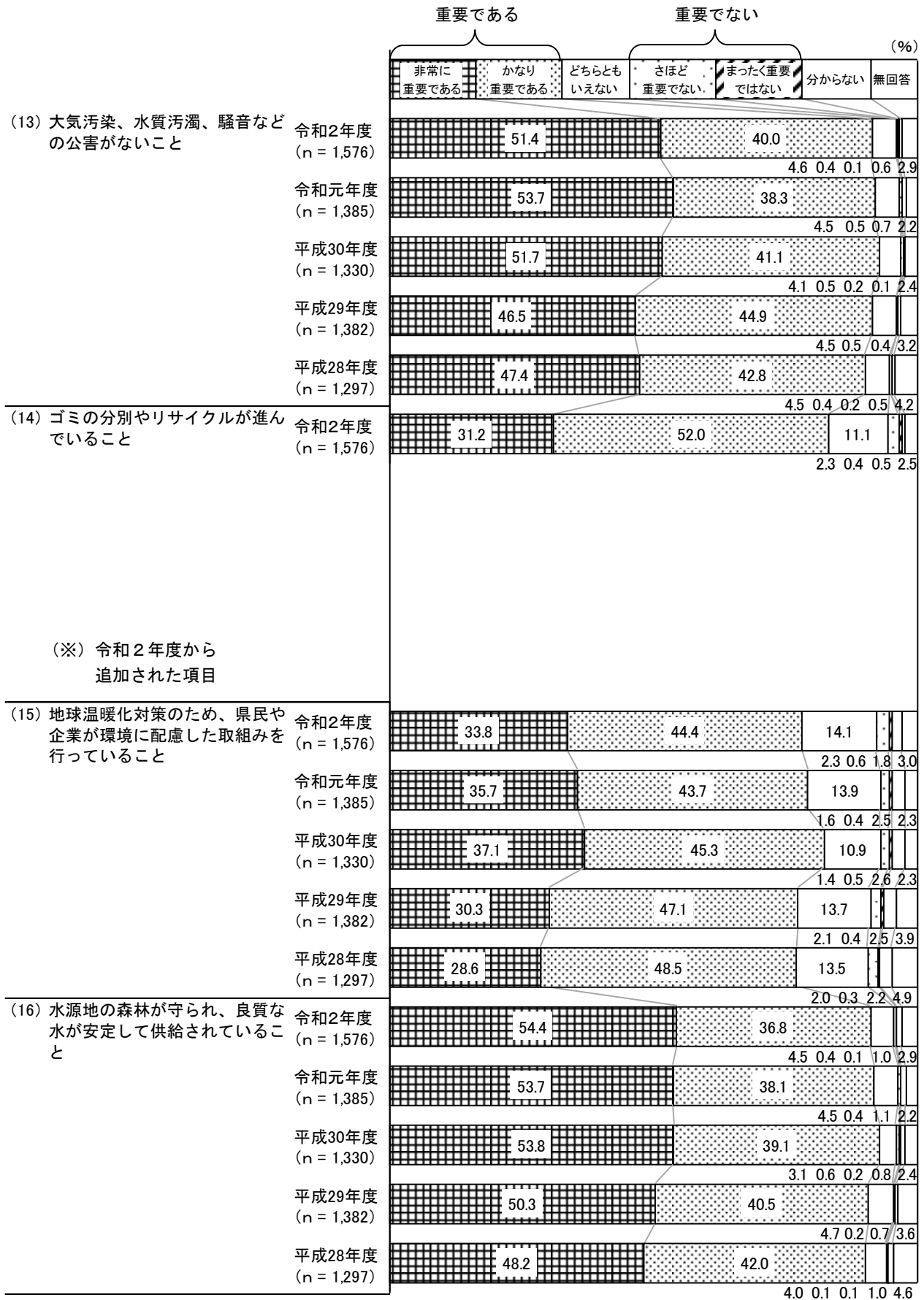
図表A 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



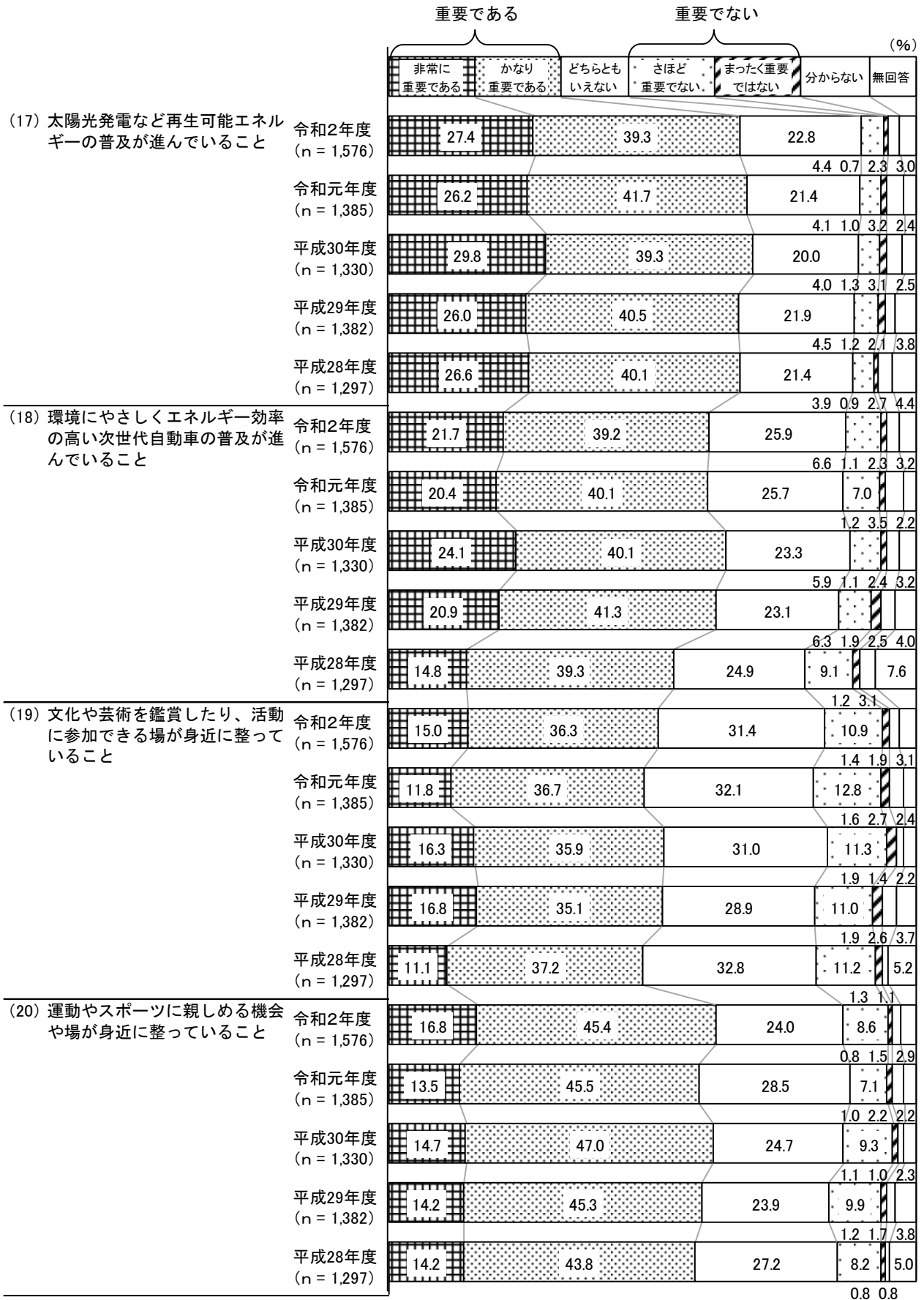
図表A 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



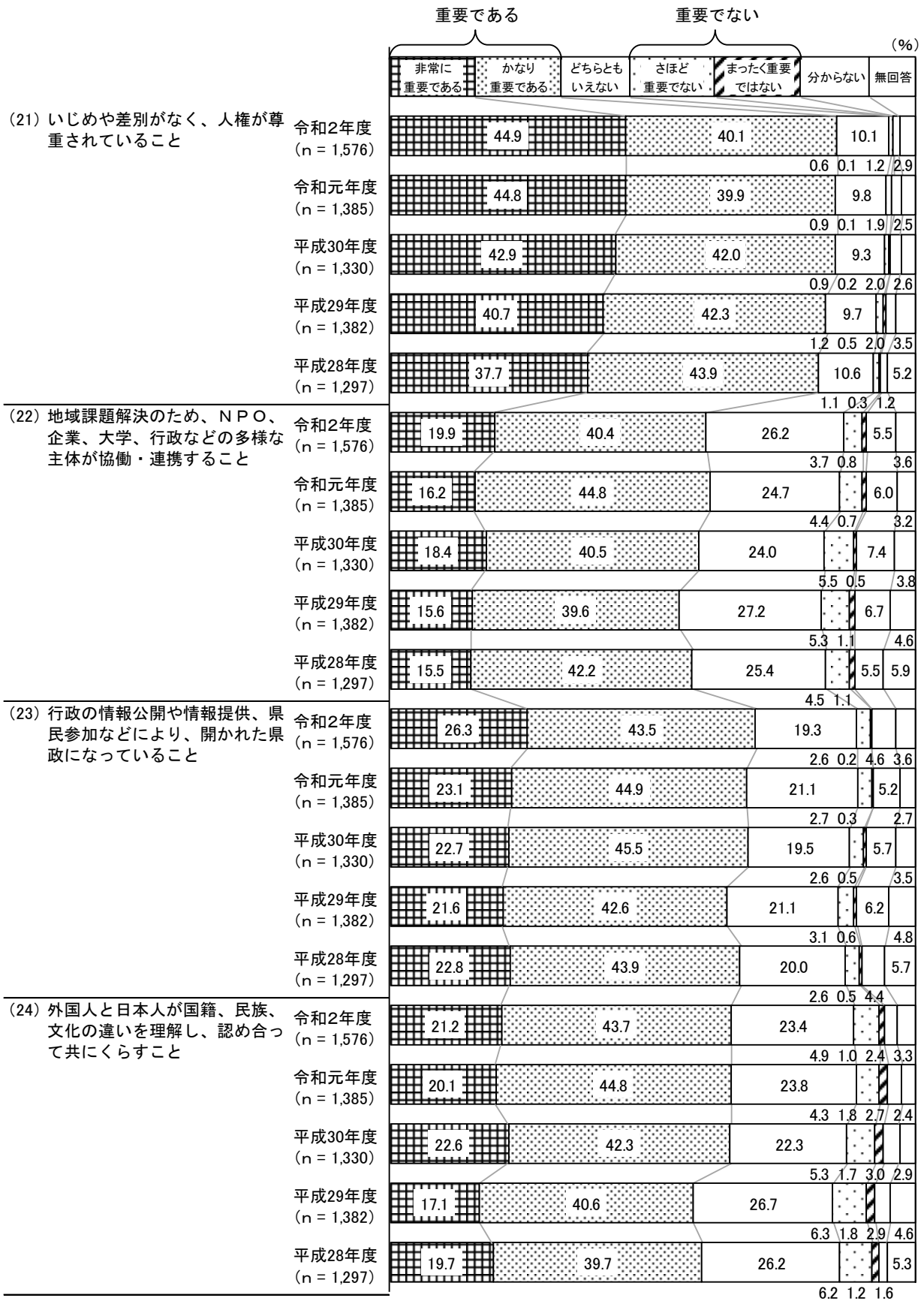
図表A 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



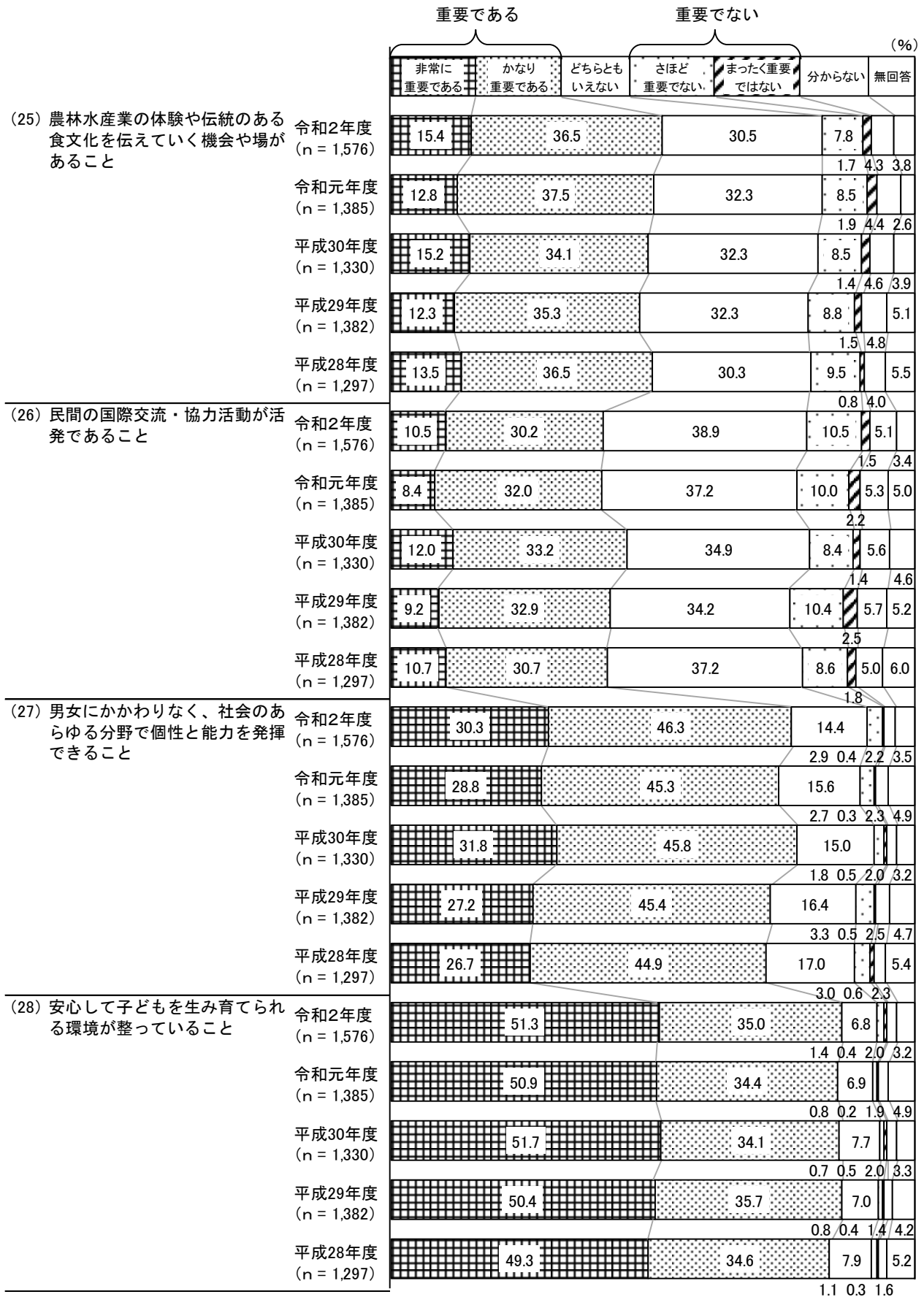
図表A 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



図表A 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



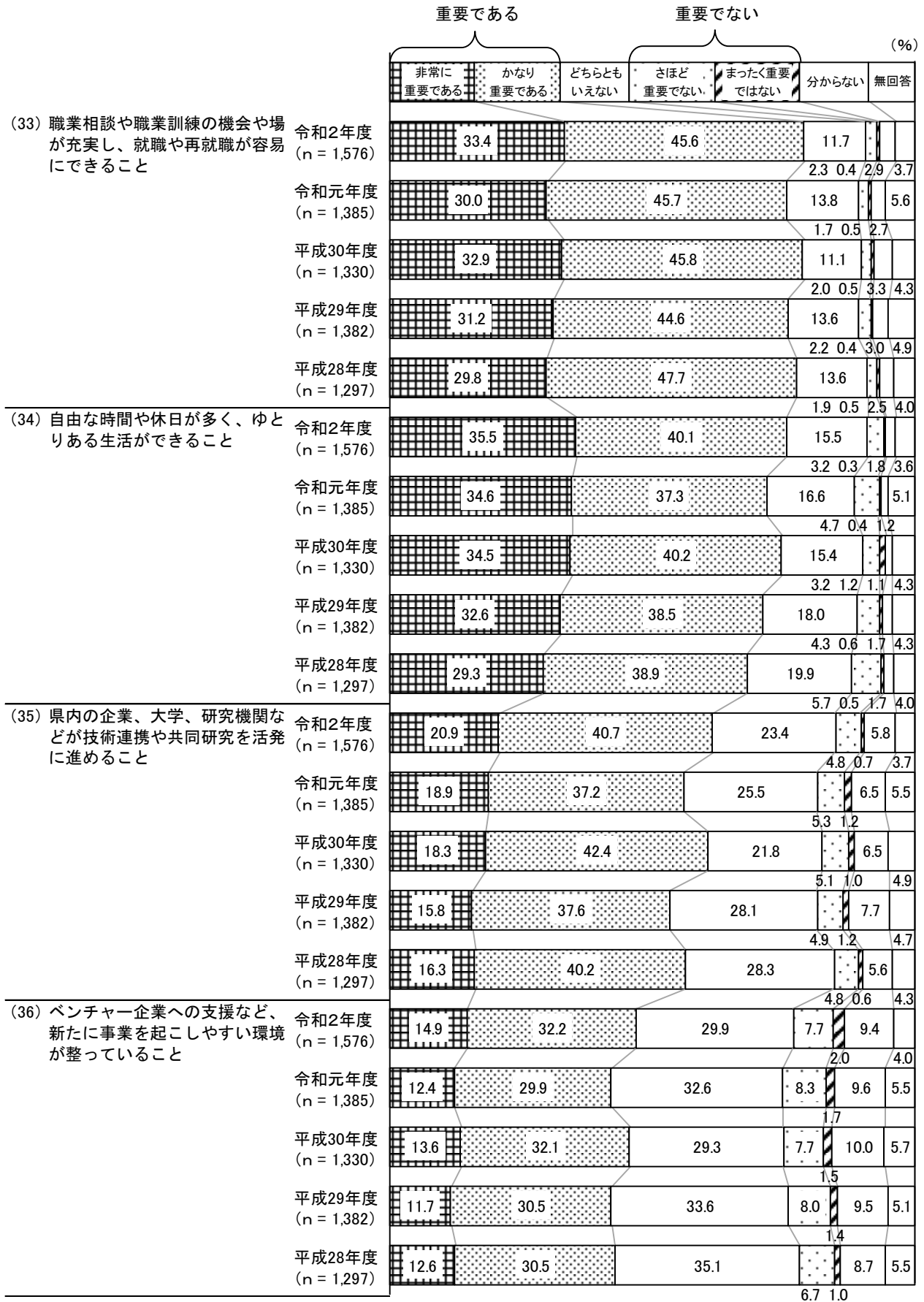
図表A 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



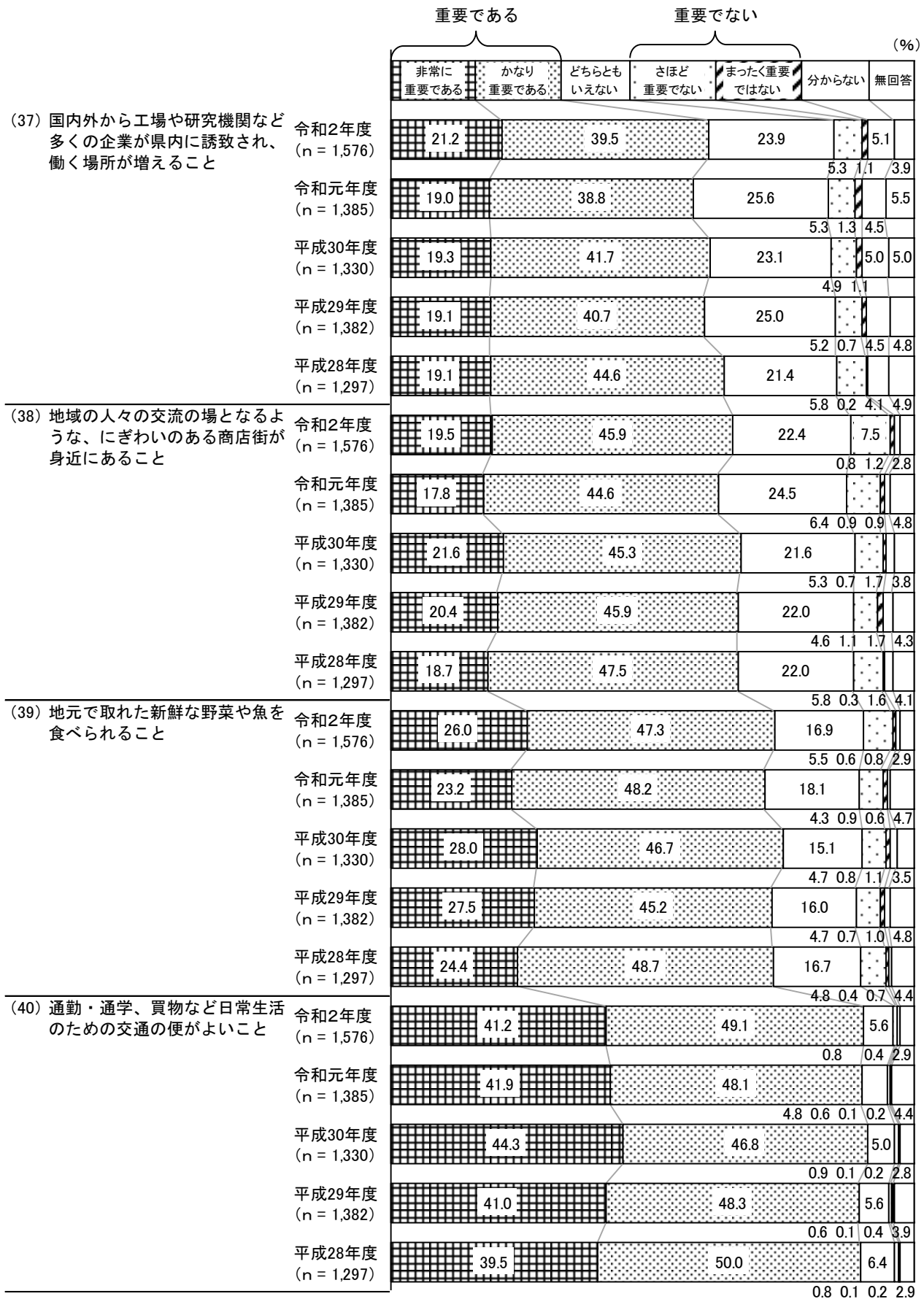
図表A 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）

		重要である					重要でない			分らない	無回答
		非常に重要である		かなり重要である		どちらともいえない	さほど重要でない		まったく重要ではない		
		非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要でない	まったく重要ではない	分らない	無回答			
(29) 障がいの有無にかかわらず、一人ひとりに応じたきめ細かな指導が充実していること	令和2年度 (n = 1,576)	32.9		43.6		14.0	2.2	0.4	3.6	3.3	
	令和元年度 (n = 1,385)	29.2		42.8		17.6	1.2	0.3	3.8	5.1	
	平成30年度 (n = 1,330)	33.9		41.0		15.6	1.7	0.5	3.3	3.9	
	平成29年度 (n = 1,382)	33.6		39.8		16.2	2.0	0.6	3.1	4.8	
	平成28年度 (n = 1,297)	30.6		42.5		17.0	1.5	0.5	2.6		
(30) 一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	令和2年度 (n = 1,576)	39.3		39.4		12.3	1.8	0.4	3.6	3.2	
	令和元年度 (n = 1,385)	35.7		42.0		12.9	0.9	0.1	3.3	5.1	
	平成30年度 (n = 1,330)	36.0		42.6		11.5	1.9	0.8	3.2	4.0	
	平成29年度 (n = 1,382)	33.9		42.8		13.2	2.0	0.7	3.4	4.2	
	平成28年度 (n = 1,297)	30.7		48.0		12.2	2.4	0.5	3.3	2.9	
(31) 県立学校において、県民に信頼される、開かれた学校づくりが進められていること	令和2年度 (n = 1,576)	27.9		40.2		17.7	3.7	0.6	6.4	3.5	
	令和元年度 (n = 1,385)	23.9		40.4		21.0	2.8	0.4	6.1	5.5	
	平成30年度 (n = 1,330)	25.5		43.4		16.3	4.2	0.8	5.2	4.7	
	平成29年度 (n = 1,382)	23.6		42.6		18.6	3.3	0.8	6.2	5.0	
	平成28年度 (n = 1,297)	20.8		44.8		20.4	3.9	0.8	5.7	3.7	
(32) ひきこもりなど青少年の多様な悩みに対応する相談体制があること	令和2年度 (n = 1,576)	29.5		45.2		13.3	3.1	0.7	4.9	3.2	
	令和元年度 (n = 1,385)	29.0		43.8		14.8	2.0	0.5	4.4	5.4	
	平成30年度 (n = 1,330)	29.0		45.0		14.8	2.2	0.6	4.2	4.1	
	平成29年度 (n = 1,382)	25.8		46.2		16.1	2.6	0.4	4.3	4.6	
	平成28年度 (n = 1,297)	24.0		48.3		16.7	2.8	0.6	4.4	3.2	

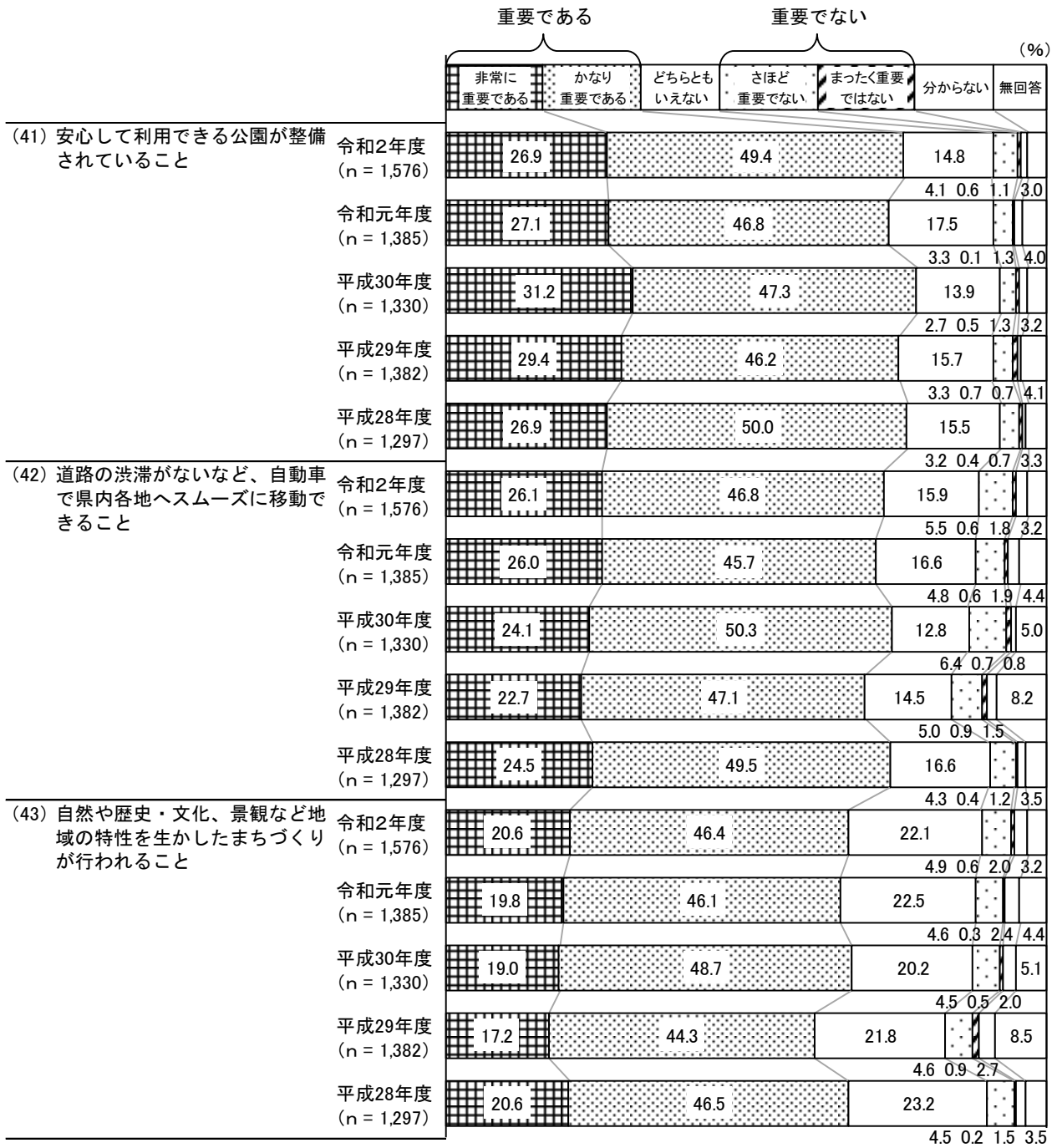
図表A 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



図表A 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



図表A 暮らしの満足度（重要度）－過去との比較（つづき）



図表B 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較

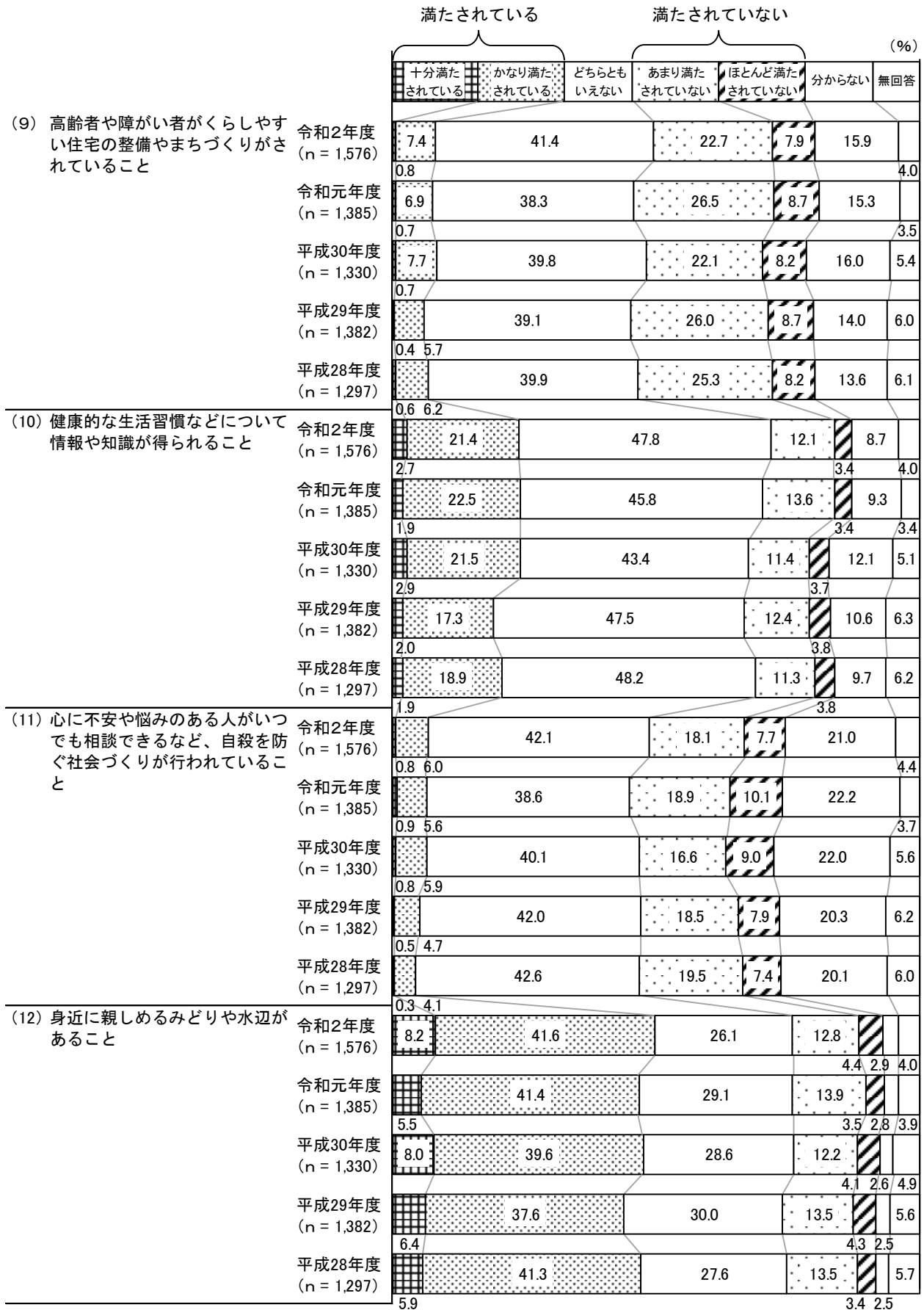


(※) 令和元年度から追加された項目

図表B 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較（つづき）

		満たされている		満たされていない			無回答	(%)
		十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない		
		分らない	分らない	分らない	分らない	分らない		
(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること	令和2年度 (n = 1,576)	4.8	39.7	32.5	13.0	3.1	3.2	3.8
	令和元年度 (n = 1,385)	4.3	39.2	31.3	15.2	3.1	3.6	3.3
	平成30年度 (n = 1,330)	5.4	41.9	29.2	12.4	2.4	3.5	5.3
	平成29年度 (n = 1,382)	4.7	36.7	32.9	12.9	3.3	3.5	6.1
	平成28年度 (n = 1,297)	4.2	39.9	33.3	12.2	2.5	3.1	4.9
(6) 住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること	令和2年度 (n = 1,576)	2.0	15.7	41.4	11.6	6.3	18.9	4.0
	令和元年度 (n = 1,385)	2.6	14.6	40.1	13.1	6.7	19.7	3.2
	平成30年度 (n = 1,330)	2.6	17.1	36.2	13.2	6.2	19.5	5.1
	平成29年度 (n = 1,382)	2.8	14.4	34.9	15.8	7.2	18.5	6.4
	平成28年度 (n = 1,297)	1.2	14.9	42.3	13.3	5.4	17.3	5.7
(7) 誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持っていること	令和2年度 (n = 1,576)	1.0	10.8	44.1	21.0	8.6	10.5	4.1
	令和元年度 (n = 1,385)	1.2	9.1	42.7	23.0	7.1	13.6	3.2
	平成30年度 (n = 1,330)	1.1	9.2	41.7	20.3	7.7	15.3	4.7
	平成29年度 (n = 1,382)	0.9	7.7	41.8	21.3	10.1	12.1	6.0
	平成28年度 (n = 1,297)	0.6	9.7	42.0	22.2	6.8	12.6	6.1
(8) 高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	令和2年度 (n = 1,576)	0.6	7.1	44.2	19.3	7.0	17.4	4.4
	令和元年度 (n = 1,385)	0.9	6.9	40.0	23.6	7.1	18.2	3.2
	平成30年度 (n = 1,330)	1.0	8.1	38.9	21.7	6.8	18.7	4.7
	平成29年度 (n = 1,382)	0.7	7.7	39.0	22.9	7.3	17.1	5.3
	平成28年度 (n = 1,297)	0.3	41.5	23.0	7.0	16.2	6.2	

図表B 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較（つづき）



図表B 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較（つづき）

		満たされている		満たされていない				
		十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からない	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
(13) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	令和2年度 (n = 1,576)	28.6	35.3	18.2	3.6	6.3	4.1	3.9
	令和元年度 (n = 1,385)	26.9	37.2	19.4	2.7	5.5	3.4	5.0
	平成30年度 (n = 1,330)	29.1	34.8	17.5	4.1	5.6	4.3	4.6
	平成29年度 (n = 1,382)	24.0	36.3	18.8	3.4	7.3	4.0	6.2
	平成28年度 (n = 1,297)	28.4	34.0	19.7	2.9	5.6	3.9	5.6
	令和2年度 (n = 1,576)	45.1	31.8	9.0	5.6	1.8	3.2	3.4
(※) 令和元年度から追加された項目								
(15) 地球温暖化対策のため、県民や企業が環境に配慮した取組みを行っていること	令和2年度 (n = 1,576)	14.0	47.1	15.7	1.0	3.9	14.5	3.8
	令和元年度 (n = 1,385)	9.6	44.8	16.9	1.2	5.3	19.1	3.2
	平成30年度 (n = 1,330)	10.2	42.9	15.9	1.3	5.0	19.8	4.9
	平成29年度 (n = 1,382)	11.1	44.0	14.7	1.2	4.6	18.2	6.2
	平成28年度 (n = 1,297)	12.6	47.4	12.7	1.2	3.8	16.2	6.2
	令和2年度 (n = 1,576)	7.4	37.2	32.9	7.4	6.5	10.3	3.9
(16) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること	令和2年度 (n = 1,576)	7.4	37.2	32.9	7.4	6.5	10.3	3.9
	令和元年度 (n = 1,385)	35.8	33.4	7.4	5.3	1.7	13.1	3.2
	平成30年度 (n = 1,330)	7.1	35.9	29.9	7.1	6.7	12.9	5.0
	平成29年度 (n = 1,382)	37.2	31.5	7.2	5.0	2.2	11.3	5.6
	平成28年度 (n = 1,297)	39.1	29.5	7.0	5.2	2.1	11.0	6.2
	令和2年度 (n = 1,576)	7.4	37.2	32.9	7.4	6.5	10.3	3.9

図表B 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較（つづき）

		満たされている					満たされていない			分らない	無回答	(%)	
		十分満たされている		かなり満たされている			どちらともいえない		あまり満たされていない				ほとんど満たされていない
		十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分らない	無回答					
(17) 太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること	令和2年度 (n = 1,576)	7.1	42.6	18.9	9.3	17.8							
		0.7								3.7			
	令和元年度 (n = 1,385)	0.9	40.2	20.2	10.0	18.9							
		6.1								3.5			
	平成30年度 (n = 1,330)	7.7	38.4	17.6	9.6	20.5					5.0		
		1.2											
(18) 環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	令和2年度 (n = 1,576)	8.9	42.3	18.5	10.6	15.0							
		0.8								3.8			
	令和元年度 (n = 1,385)	9.4	39.5	18.3	10.4	17.8							
		1.0								3.6			
	平成30年度 (n = 1,330)	10.8	38.2	17.4	9.7	17.4					5.4		
		1.1											
(19) 文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	令和2年度 (n = 1,576)	18.9	42.9	16.2	9.6								
		2.4				5.7				4.2			
	令和元年度 (n = 1,385)	23.8	40.1	15.5	10.4								
		2.7				4.0				3.5			
	平成30年度 (n = 1,330)	18.8	40.1	15.1	7.5	11.4							
		2.6								4.5			
(20) 運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること	令和2年度 (n = 1,576)	26.0	38.6	15.6	6.3								
		3.7				6.0				3.8			
	令和元年度 (n = 1,385)	28.4	37.6	15.0	7.9								
		2.9				4.8				3.3			
	平成30年度 (n = 1,330)	27.7	35.6	15.2	6.7								
		4.1				6.1				4.7			
(20) 運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること	令和2年度 (n = 1,576)	25.7	38.1	15.7	6.9								
		2.7				4.9				5.9			
	平成29年度 (n = 1,382)	23.1	39.2	16.5	6.4								
		2.7				5.6				6.4			
	平成28年度 (n = 1,297)	23.1	39.2	16.5	6.4								
		2.7				5.6				6.4			

図表B 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較（つづき）

	満たされている		満たされていない			分からない	無回答
	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない		
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)		
(21) いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	令和2年度 (n = 1,576)	10.2	43.8	18.9	8.6	13.9	
		1.0					3.7
	令和元年度 (n = 1,385)	9.3	45.1	18.0	8.8	14.4	
		1.1					3.4
	平成30年度 (n = 1,330)	10.4	43.4	18.6	6.9	13.5	5.3
		1.8					
(22) 地域課題解決のため、NPO、企業、大学、行政などの多様な主体が協働・連携すること	令和2年度 (n = 1,576)	0.3	47.3	11.9	5.7	24.9	
		5.2					4.6
	令和元年度 (n = 1,385)	0.8	45.1	13.3	4.2	27.4	
		5.3					4.0
	平成30年度 (n = 1,330)	0.5	43.2	12.9	3.7	28.9	5.9
		4.8					
(23) 行政の情報公開や情報提供、県民参加などにより、開かれた県政になっていること	令和2年度 (n = 1,576)	8.5	42.8	15.9	8.2	19.7	
		0.4					4.4
	令和元年度 (n = 1,385)	8.4	44.8	13.9	6.4	21.6	
		1.1					3.8
	平成30年度 (n = 1,330)	10.0	43.8	11.7	6.0	21.9	5.7
		0.9					
(24) 外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合っ て共にくらすこと	令和2年度 (n = 1,576)	7.2	47.7	17.2	5.2	17.8	
		0.6					4.3
	令和元年度 (n = 1,385)	6.9	46.7	15.7	5.0	20.7	
		1.1					3.8
	平成30年度 (n = 1,330)	7.4	46.0	16.3	5.1	18.9	5.3
		0.9					
平成29年度 (n = 1,382)		49.1	13.9	5.6	17.7	6.3	
	0.7						
平成28年度 (n = 1,297)		48.9	15.0		17.0	7.2	
	0.8			5.5			

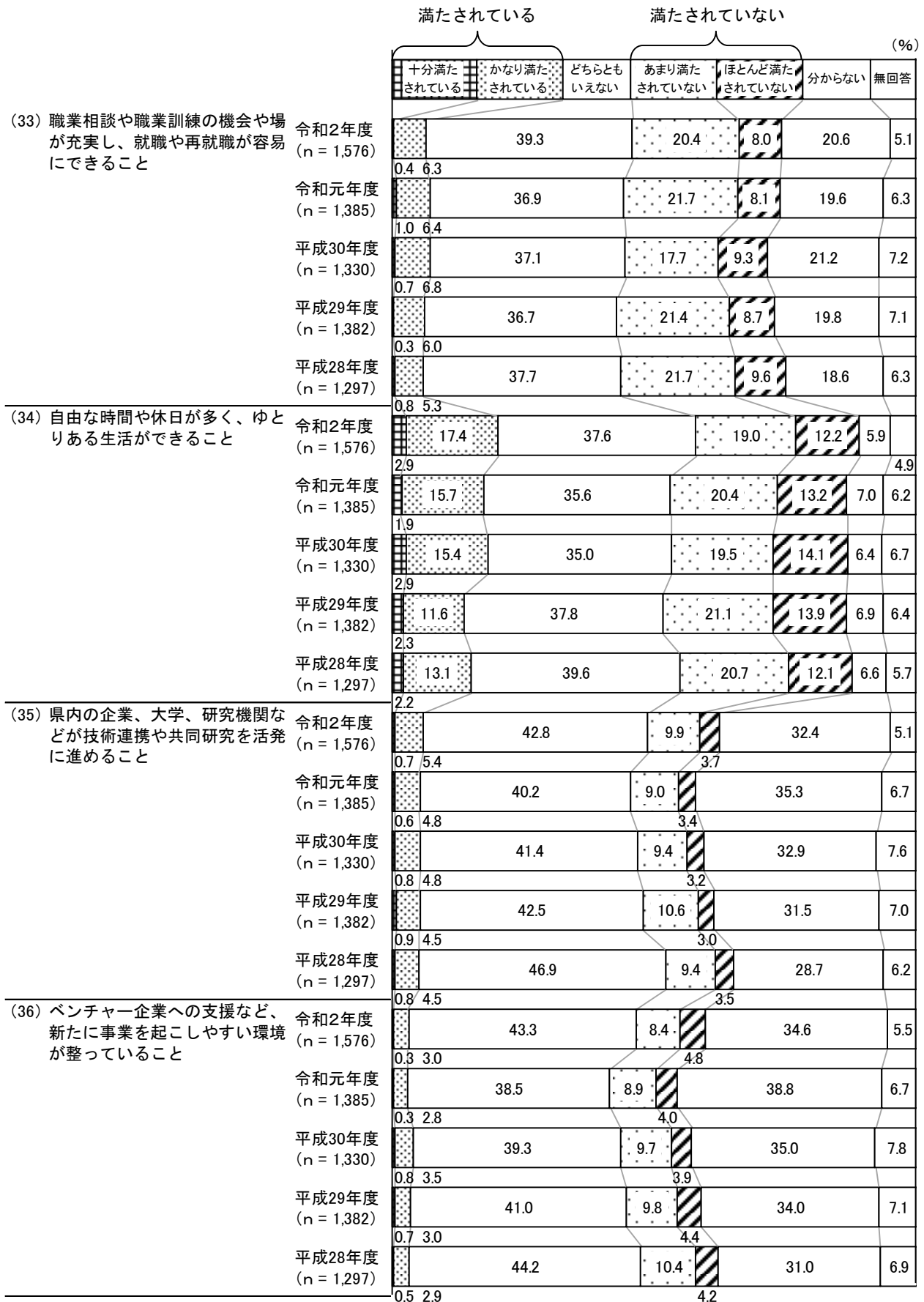
図表B 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較（つづき）

		満たされている					満たされていない			分からない	無回答	(%)
		十分満たされている		かなり満たされている		どちらともいえない	あまり満たされていない		ほとんど満たされていない			
		十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からない	無回答				
(25) 農林水産業の体験や伝統のある食文化を伝えていく機会や場があること	令和2年度 (n = 1,576)	0.4	5.8	45.9	14.8	7.4	21.2		4.6			
	令和元年度 (n = 1,385)	0.9	5.2	44.6	15.5	6.5	23.8		3.5			
	平成30年度 (n = 1,330)	1.0	5.0	45.2	14.5	5.7	22.6		6.1			
	平成29年度 (n = 1,382)	0.7	5.2	45.2	15.2	6.5	20.3		6.9			
	平成28年度 (n = 1,297)	0.2	5.6	44.4	16.0	7.0	19.4		7.4			
		0.4	5.1	46.4	13.5	4.4	25.1		5.1			
(26) 民間の国際交流・協力活動が活発であること	令和2年度 (n = 1,576)	0.4	5.1	46.4	13.5	4.4	25.1		5.1			
	令和元年度 (n = 1,385)	0.7	5.1	44.6	12.1	4.4	26.7		6.3			
	平成30年度 (n = 1,330)	1.0	6.4	44.1	11.7	4.2	25.9		6.7			
	平成29年度 (n = 1,382)	0.9	5.4	45.7	12.2	4.1	24.7		7.2			
	平成28年度 (n = 1,297)	0.3	5.0	48.4	11.2	4.5	23.0		7.6			
		0.6		40.9	23.6	8.4	13.1	5.2				
(27) 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること	令和2年度 (n = 1,576)	0.6		40.9	23.6	8.4	13.1	5.2				
	令和元年度 (n = 1,385)	0.8		39.9	24.2	7.7	12.9	6.2				
	平成30年度 (n = 1,330)	0.8		43.7	20.8	8.0	13.2	5.8				
	平成29年度 (n = 1,382)	1.0		43.8	20.9	7.5	13.2	6.9				
	平成28年度 (n = 1,297)	0.9	6.8	42.9	21.7	7.5	13.3	7.3				
		0.7	6.6	16.8	36.0	22.2	8.8	10.3		4.7		
(28) 安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること	令和2年度 (n = 1,576)	1.3		16.8	36.0	22.2	8.8	10.3	4.7			
	令和元年度 (n = 1,385)	1.3		15.2	34.9	26.6	9.7	5.8				
	平成30年度 (n = 1,330)	1.3		14.7	34.8	24.3	7.4	11.7	5.7			
	平成29年度 (n = 1,382)	1.4		13.0	36.5	23.7	10.2	9.3	6.5			
	平成28年度 (n = 1,297)	0.9		12.9	36.5	23.7	8.6	10.3	6.9			
		1.1										

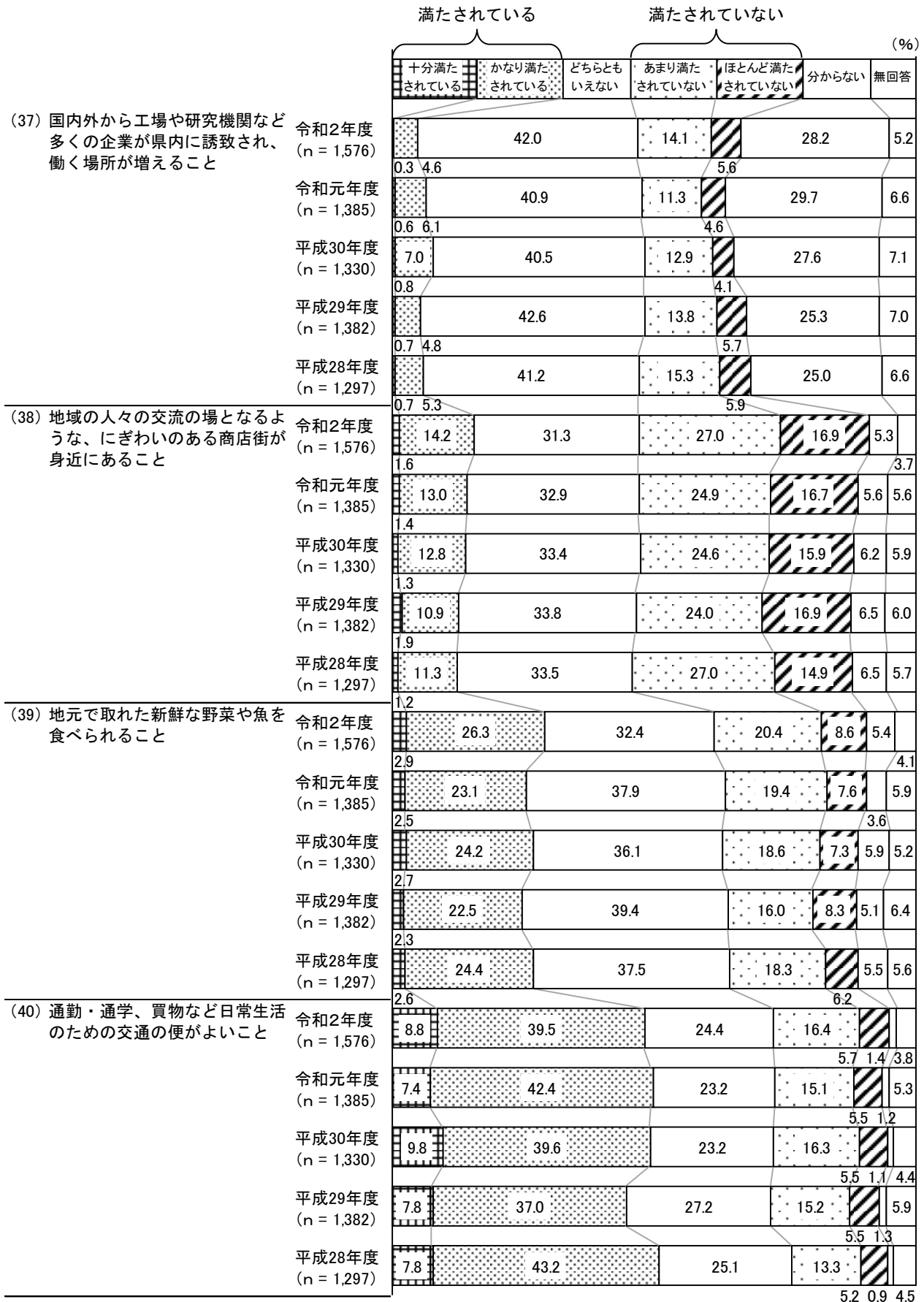
図表B 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較（つづき）

		満たされている		満たされていない			分からない	無回答	（%）
		十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない			
(29) 障がいの有無にかかわらず、一人ひとりに応じたきめ細かな指導が充実していること	令和2年度 (n = 1,576)	0.3	43.2	6.7	17.3	7.4	20.3		4.8
	令和元年度 (n = 1,385)	0.7	39.6	6.4	19.0	7.7	20.8		5.8
	平成30年度 (n = 1,330)	1.1	40.7	6.2	17.5	7.6	20.5		6.5
	平成29年度 (n = 1,382)	0.7	39.4	5.1	18.7	9.8	19.5		6.7
	平成28年度 (n = 1,297)	0.5	40.2	5.7	19.5	7.7	19.0		7.4
		7.2	40.0	0.7	18.5	10.7	18.1		4.8
(30) 一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	令和2年度 (n = 1,576)	8.2	35.6	0.9	21.9	9.5	17.9		6.1
	令和元年度 (n = 1,385)	7.5	38.6	0.8	18.1	8.9	19.3		6.7
	平成30年度 (n = 1,330)	7.5	38.6	0.8	18.1	8.9	19.3		6.7
	平成29年度 (n = 1,382)	0.4	37.9	6.7	21.0	9.0	18.4		6.7
	平成28年度 (n = 1,297)	7.5	40.2	0.4	21.0	7.4	18.3		4.9
		0.8	40.0	0.7	18.5	10.7	18.1		4.8
(31) 県立学校において、県民に信頼される、開かれた学校づくりが進められていること	令和2年度 (n = 1,576)	8.8	38.2	0.9	13.4	5.8	26.6		6.2
	令和元年度 (n = 1,385)	7.2	39.5	1.1	12.8	5.5	26.9		7.1
	平成30年度 (n = 1,330)	7.2	39.5	1.1	12.8	5.5	26.9		7.1
	平成29年度 (n = 1,382)	7.2	39.4	0.4	14.4	6.2	25.0		7.5
	平成28年度 (n = 1,297)	7.4	43.6	0.8	13.0	3.9	25.8		5.6
		0.7	42.6	6.8	12.2	6.2	26.4		5.1
(32) ひきこもりなど青少年の多様な悩みに対応する相談体制があること	令和2年度 (n = 1,576)	0.4	39.3	3.8	15.5	7.0	29.2		4.8
	令和元年度 (n = 1,385)	0.9	33.9	4.4	17.3	7.9	29.6		6.0
	平成30年度 (n = 1,330)	1.0	36.0	4.3	15.6	6.8	29.5		6.8
	平成29年度 (n = 1,382)	0.6	36.2	3.5	17.9	7.7	27.0		7.2
	平成28年度 (n = 1,297)	0.5	37.5	4.3	17.3	6.3	28.8		5.2
		0.4	39.3	3.8	15.5	7.0	29.2		4.8

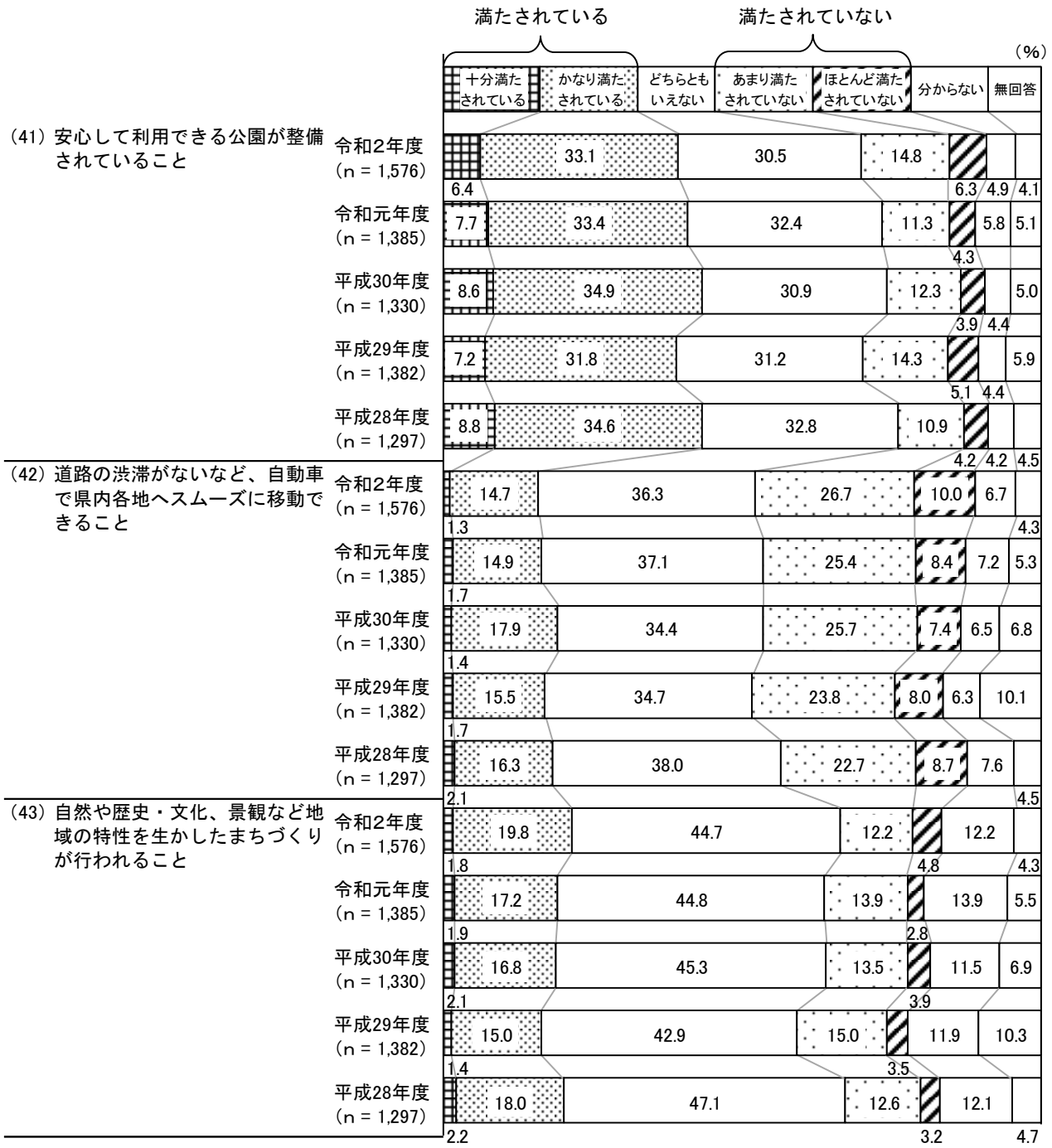
図表B 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較（つづき）



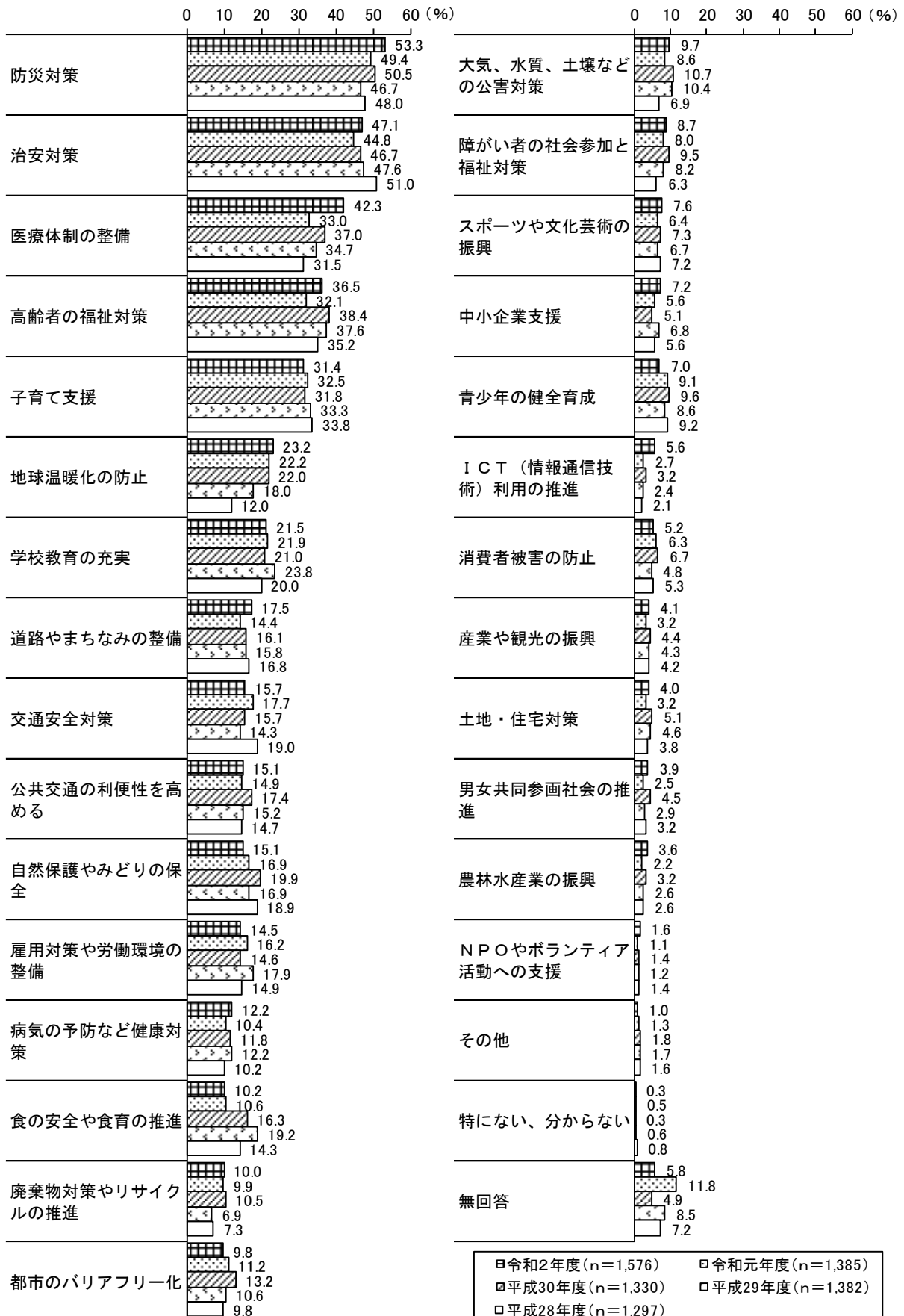
図表B 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較（つづき）



図表B 暮らしの満足度（満足度）－過去との比較（つづき）



図表C 県行政への要望（複数回答）－過去との比較



第Ⅵ部 調査票と単純集計結果

調査期間 令和2年7月17日～8月11日
標本設計数 3,000 有効回収数(率) 1,576 (52.5%)
* 「n」は、質問に対する回答者数の総数を表す。
「-」は、回答者が皆無であることを示す。
※比率(%)の数値は小数点第2位を四捨五入しているため、
合計が100%にならないことがある。

令和2年度(2020年)

神奈川県『県民ニーズ調査』(基本調査)

— 県民の生活と県政についての意識調査 —

折り目

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。

折り目

※ 記入上の注意 ※

- 1 この調査のご回答は、封筒のあて名のご本人様にお願いいたします。
- 2 お名前、ご住所の記入は不要です。
- 3 お答えは、直接、この調査票のあてはまる番号を○で囲んでください。
- 4 ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 5 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

▼ ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒に入れ、**8月11日(火)まで**にご投函ください。(切手は不要です。お名前やご住所の記入も必要ありません。)

▼ インターネットからご回答いただいた方は、調査票の郵送は不要です。

折り目

この調査について分からないことなどがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

折り目

【お問合せ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

○ 電話 (045)210-1111 (内線3672~3676)
※ 受付時間 月~金 8:30~17:15 (土日祝日は閉庁)

○ ファクシミリ (045)210-8838

○ お問合せフォーム (8月11日までの期間限定)

県民ニーズ調査のHP (<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)の下部に掲載している「令和2年度調査対象者」向けお問合せフォームから送信してください。

くらし全般について

問1 あなたは、現在の生活にどの程度満足していますか。(○は1つ) (n=1,576) (%)

1 たいへん満足している	6.0	4 どちらかといえば不満である	14.9
2 どちらかといえば満足している	47.5	5 たいへん不満である	3.7
3 どちらともいえない	22.3	6 分からない	0.6
(無回答 4.9)			

問2 現在のくらし向きは、昨年の今頃と比べていかがですか。(○は1つ) (n=1,576) (%)

1 よくなった	2.7	4 少し悪くなった	27.0
2 少しよくなった	6.7	5 悪くなった	10.8
3 変わらない	48.5	(無回答 4.3)	

問3にお進みください
問2-1にお答えください

【問2で「4 少し悪くなった」「5 悪くなった」とお答えの方に】

問2-1 悪くなった理由としてどのようなことがあげられますか。(○はいくつでも) (n=596) (%)

1 賃金などの収入が減ったため	52.0	6 住宅を購入したため	3.4
2 倒産・解雇などのため	3.0	7 低金利が続いているため	7.4
3 事業などの経費が増えたため	3.2	8 特別の事情による(結婚、出産、病気など)	14.9
4 日常の生活費が増えたため	40.8	9 その他	20.6
5 教育費が増えたため	12.4	10 特に理由はない、分からない	0.7
(無回答 0.3)			

【全員の方がお答えください】

問3 これからのあなたのくらし向きの見通しはいかがですか。(○は1つ) (n=1,576) (%)

1 明るい	3.3	4 やや暗い	28.8
2 やや明るい	8.3	5 暗い	10.0
3 変わらない	35.9	6 分からない	9.5
(無回答 4.3)			

問4 あなたは、現在お住まいの地域をどの程度住みよいと思いますか。(○は1つ) (n=1,576) (%)

1 たいへん住みよい	16.4	4 どちらかといえば住みにくい	8.2
2 どちらかといえば住みよい	52.5	5 たいへん住みにくい	1.8
3 どちらともいえない	16.4	6 分からない	0.5
(無回答 4.1)			

問5 あなたは、今後も現在のところに住み続けたいと思いますか。(○は1つ) (n=1,576) (%)

1 現在のところに住み続けたい	62.5	3 神奈川県外へ移りたい	5.4
2 神奈川県内の他のところへ移りたい	9.0	4 特に考えていない	18.5
(無回答 4.6)			

生活意識

問6 あなたは次にあげることがらについてどのように思いますか。 「そう思う」「そう思わない」のどちらかに○をつけてください。(○は1つ) (n=1,576) (%)	そう 思う	そう 思わ ない	(無 回 答)
回答例→	①	2	
【安全・安心】			
(1) 今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ	63.4	32.5	4.1
(2) 大地震などの災害がおきても3日はくらせるように、防災の準備ができている	45.2	50.3	4.4
(3) 安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい	46.4	47.4	6.2
【健康・福祉】			
(4) 日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている	73.9	22.1	4.0
(5) 介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ	91.2	3.9	4.8
(6) 住居の造りや介護サービスの提供が今のような状態の環境では、高齢者が安心して生活するのはむずかしい	70.4	24.2	5.5
(7) 鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている	24.8	70.1	5.1
(8) 一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている	30.8	64.5	4.6
(9) 今後10年くらいの中に、かかりつけの医療から高度医療まで、地域医療のネットワーク化が進んでいる	33.6	58.9	7.5
【エネルギー・環境】			
(10) 環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている	91.8	4.4	3.8
(11) 今より生活が不便になっても省エネには積極的に取り組むべきだ	72.2	23.0	4.8
(12) 森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ	73.9	21.3	4.8
【県民生活】			
(13) 公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい	26.0	67.8	6.2

「そう思う」「そう思わない」のどちらかに○をつけてください。(○は1つ) (n=1,576) (%)	そう 思う	そう 思わ ない	(無 回 答)
(14) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	10.9	84.9	4.3
(15) 女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ	77.3	18.5	4.2
(16) 神奈川県でくらす外国人も日本人と同じような権利を持つべきだ	57.7	35.3	7.0
(17) いじめや差別は、一人ひとりが思いやりの心を持たなくてはならない	55.8	39.9	4.3
(18) 今後10年くらいの中に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている	14.5	80.1	5.5
(19) 今後10年くらいの中に、外国人にとってもくらしやすい地域社会になっている	28.8	63.9	7.3
【教育・子育て】			
(20) 子どもを育てる環境が今のままでは、子どもを持つのはむずかしい	59.3	34.5	6.3
(21) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ	89.6	5.4	5.0
(22) 国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい	71.1	22.7	6.3
(23) 若者の「ひきこもり」など、青少年が自分自身の価値や存在感を実感しにくい世の中になっている	69.0	25.4	5.6
(24) 青少年をめぐる昨今の問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい	64.1	30.2	5.7
(25) 教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている	18.5	73.9	7.6
(26) 今後10年くらいの中に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている	25.6	67.1	7.3
(27) 今後10年くらいの中に、地域の大人が、青少年の健やかな成長に責任を持つようになっている	13.7	79.4	6.9
(28) 今後10年くらいの中に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている	17.2	75.5	7.3
【産業】			
(29) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい	83.2	11.9	4.9

	そう思う	そう思わない	(無回答)
「そう思う」「そう思わない」のどちらかに○をつけてください。(○は1つ) (n=1,576) (%)			
(30) 県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある	72.7	20.7	6.6
【県土・まちづくり】			
(31) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ	85.6	9.8	4.6
(32) まちなみ、歴史的建造物の保全や公園づくりなど、まちづくり関係の活動に参加してみたい	41.5	52.3	6.2
(33) 県内では、交通渋滞が激しく自動車での移動が不便だ	55.2	38.8	6.0
(34) 今後10年くらいの間、道路や公共交通網がさらに充実し、県内外への利便性がよくなっている	57.0	36.7	6.3

くらしの満足度

問7 あなたは次にあげることがらについて、どのくらい重要だと思いますか。また、現在、どの程度満たされていると思いますか。それぞれあてはまるところに1つずつ○をつけてください。

(n=1,576) (%)

重要度

あなたの現在及び今後の生活において、どのくらい重要ですか。

満足度

あなたにとって、現在、どの程度満たされていると思いますか。

	重要度						満足度					
	非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要でない	まったく重要ではない	分からない (無回答)	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からない (無回答)
回答例→	1	②	3	4	5	6	1	2	3	④	5	6

【安全・安心】

(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらしを営めること	62.4	31.3	2.2	0.2	0.1	0.4	3.4	1.8	22.2	39.1	24.7	4.6	2.2	5.3
(2) 犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること	56.1	32.9	4.9	0.2	0.1	1.9	3.9	0.6	4.8	42.3	20.6	8.2	18.2	5.3

(n=1,576) (%)

重要度

あなたの現在及び今後の生活において、どのくらい重要ですか。

満足度

あなたにとって、現在、どの程度満たされていると思いますか。

	重要度						満足度							
	非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要でない	まったく重要ではない	分からない (無回答)	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からない (無回答)		
(3) 地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	60.7	29.7	6.0	0.2	0.1	0.6	2.7	0.6	11.5	44.4	24.5	7.0	8.1	4.0
(4) 安全・安心な消費生活の確保に関する施策が充実していること	37.0	44.2	12.3	0.9	0.1	2.2	3.4	1.1	15.7	46.1	18.0	4.4	10.3	4.3
【健康・福祉】														
(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること	59.8	34.4	2.4	0.3	0.1	0.3	2.8	4.8	39.7	32.5	13.0	3.1	3.2	3.8
(6) 住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること	44.7	37.9	10.2	2.3	0.1	1.7	3.0	2.0	15.7	41.4	11.6	6.3	18.9	4.0
(7) 誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持っていること	31.7	46.4	14.3	2.7	0.6	1.5	2.9	1.0	10.8	44.1	21.0	8.6	10.5	4.1
(8) 高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	35.9	45.7	11.4	1.7	0.4	1.8	3.1	0.6	7.1	44.2	19.3	7.0	17.4	4.4
(9) 高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	34.4	46.1	12.8	1.6	0.2	2.0	3.0	0.8	7.4	41.4	22.7	7.9	15.9	4.0
(10) 健康的な生活習慣などについて情報や知識が得られること	22.7	44.7	19.5	8.1	0.7	1.1	3.2	2.7	21.4	47.8	12.1	3.4	8.7	4.0
(11) 心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	32.2	43.3	14.8	3.3	0.6	2.6	3.2	0.8	6.0	42.1	18.1	7.7	21.0	4.4
【エネルギー・環境】														
(12) 身近に親しめるみどりや水辺があること	30.6	47.8	13.2	3.8	0.4	1.1	2.9	8.2	41.6	26.1	12.8	4.4	2.9	4.0
(13) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	51.4	40.0	4.6	0.4	0.1	0.6	2.9	3.6	28.6	35.3	18.2	6.3	4.1	3.9

(n=1,576) (%)

重要度

あなたの現在及び今後の生活において、どのくらい重要ですか。

満足度

あなたにとって、現在、どの程度満たされていると思いますか。

	重要度							満足度						
	非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要でない	まったく重要ではない	分からない	(無回答)	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からない	(無回答)
(14) ゴミの分別やリサイクルが進んでいること	31.2	52.0	11.1	2.3	0.4	0.5	2.5	5.6	45.1	31.8	9.0	1.8	3.2	3.4
(15) 地球温暖化対策のため、県民や企業が環境に配慮した取組みを行っていること	33.8	44.4	14.1	2.3	0.6	1.8	3.0	1.0	14.0	47.1	15.7	3.9	14.5	3.8
(16) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること	54.4	36.8	4.5	0.4	0.1	1.0	2.9	7.4	37.2	32.9	6.5	1.6	10.3	3.9
(17) 太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること	27.4	39.3	22.8	4.4	0.7	2.3	3.0	0.7	7.1	42.6	18.9	9.3	17.8	3.7
(18) 環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	21.7	39.2	25.9	6.6	1.1	2.3	3.2	0.8	8.9	42.3	18.5	10.6	15.0	3.8
【県民生活】														
(19) 文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	15.0	36.3	31.4	10.9	1.4	1.9	3.1	2.4	18.9	42.9	16.2	5.7	9.6	4.2
(20) 運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること	16.8	45.4	24.0	8.6	0.8	1.5	2.9	3.7	26.0	38.6	15.6	6.0	6.3	3.8
(21) いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	44.9	40.1	10.1	0.6	0.1	1.2	2.9	1.0	10.2	43.8	18.9	8.6	13.9	3.7
(22) 地域課題解決のため、NPO、企業、大学、行政などの多様な主体が協働・連携すること	19.9	40.4	26.2	3.7	0.8	5.5	3.6	0.3	5.2	47.3	11.9	5.7	24.9	4.6
(23) 行政の情報公開や情報提供、県民参加などにより、開かれた県政になっていること	26.3	43.5	19.3	2.6	0.2	4.6	3.6	0.4	8.5	42.8	15.9	8.2	19.7	4.4
(24) 外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合って共にくらすこと	21.2	43.7	23.4	4.9	1.0	2.4	3.3	0.6	7.2	47.7	17.2	5.2	17.8	4.3
(25) 農林水産業の体験や伝統のある食文化を伝えていく機会や場があること	15.4	36.5	30.5	7.8	1.7	4.3	3.8	0.4	5.8	45.9	14.8	7.4	21.2	4.6

(n=1, 576) (%)

重要度

あなたの現在及び今後の生活において、どのくらい重要ですか。

満足度

あなたにとって、現在、どの程度満たされていると思いますか。

	重要度							満足度						
	非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要でない	まったく重要ではない	分からない	(無回答)	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からない	(無回答)
(26) 民間の国際交流・協力活動が活発であること	10.5	30.2	38.9	10.5	1.5	5.1	3.4	0.4	5.1	46.4	13.5	4.4	25.1	5.1
(27) 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること	30.3	46.3	14.4	2.9	0.4	2.2	3.5	0.6	8.2	40.9	23.6	8.4	13.1	5.2
【教育・子育て】														
(28) 安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること	51.3	35.0	6.8	1.4	0.4	2.0	3.2	1.3	16.8	36.0	22.2	8.8	10.3	4.7
(29) 障がいの有無にかかわらず、一人ひとりに応じたきめ細かな指導が充実していること	32.9	43.6	14.0	2.2	0.4	3.6	3.3	0.3	6.7	43.2	17.3	7.4	20.3	4.8
(30) 一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	39.3	39.4	12.3	1.8	0.4	3.6	3.2	0.7	7.2	40.0	18.5	10.7	18.1	4.8
(31) 県立学校において、県民に信頼される、開かれた学校づくりが進められていること	27.9	40.2	17.7	3.7	0.6	6.4	3.5	0.7	6.8	42.6	12.2	6.2	26.4	5.1
(32) ひきこもりなど青少年の多様な悩みに対応する相談体制があること	29.5	45.2	13.3	3.1	0.7	4.9	3.2	0.4	3.8	39.3	15.5	7.0	29.2	4.8
【産業・労働】														
(33) 職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること	33.4	45.6	11.7	2.3	0.4	2.9	3.7	0.4	6.3	39.3	20.4	8.0	20.6	5.1
(34) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	35.5	40.1	15.5	3.2	0.3	1.8	3.6	2.9	17.4	37.6	19.0	12.2	5.9	4.9
(35) 県内の企業、大学、研究機関などが技術連携や共同研究を活発に進めること	20.9	40.7	23.4	4.8	0.7	5.8	3.7	0.7	5.4	42.8	9.9	3.7	32.4	5.1
(36) ベンチャー企業への支援など、新たに事業を起こしやすい環境が整っていること	14.9	32.2	29.9	7.7	2.0	9.4	4.0	0.3	3.0	43.3	8.4	4.8	34.6	5.5
(37) 国内外から工場や研究機関など多くの企業が県内に誘致され、働く場所が増えること	21.2	39.5	23.9	5.3	1.1	5.1	3.9	0.3	4.6	42.0	14.1	5.6	28.2	5.2

(n=1,576) (%)

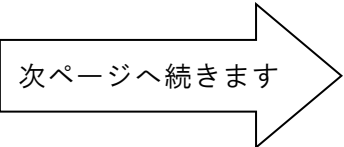
重要度

あなたの現在及び今後の生活において、どのくらい重要ですか。

満足度

あなたにとって、現在、どの程度満たされていると思いますか。

	重要度							満足度						
	非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要でない	まったく重要ではない	分からない	(無回答)	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からない	(無回答)
(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること	19.5	45.9	22.4	7.5	0.8	1.2	2.8	1.6	14.2	31.3	27.0	16.9	5.3	3.7
(39) 地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	26.0	47.3	16.9	5.5	0.6	0.8	2.9	2.9	26.3	32.4	20.4	8.6	5.4	4.1
【県土・まちづくり】														
(40) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと	41.2	49.1	5.6	0.8	—	0.4	2.9	8.8	39.5	24.4	16.4	5.7	1.4	3.8
(41) 安心して利用できる公園が整備されていること	26.9	49.4	14.8	4.1	0.6	1.1	3.0	6.4	33.1	30.5	14.8	6.3	4.9	4.1
(42) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること	26.1	46.8	15.9	5.5	0.6	1.8	3.2	1.3	14.7	36.3	26.7	10.0	6.7	4.3
(43) 自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくりが行われること	20.6	46.4	22.1	4.9	0.6	2.0	3.2	1.8	19.8	44.7	12.2	4.8	12.2	4.3


 次ページへ続きます

県行政への要望

問8 神奈川県を行政を進めていくうえで、力を入れて取り組んでほしい分野は何ですか。次の中から特に取り組んでほしい分野を5つまで選んでください。(○は5つまで) (n=1,576) (%)

1 治安対策	47.1	16 自然保護やみどりの保全	15.1
2 防災対策	53.3	17 地球温暖化の防止	23.2
3 交通安全対策	15.7	18 廃棄物対策やリサイクルの推進	10.0
4 NPOやボランティア活動への支援	1.6	19 大気、水質、土壌などの公害対策	9.7
5 青少年の健全育成	7.0	20 高齢者の福祉対策	36.5
6 男女共同参画社会の推進	3.9	21 障がい者の社会参加と福祉対策	8.7
7 消費者被害の防止	5.2	22 医療体制の整備	42.3
8 食の安全や食育の推進	10.2	23 病気の予防など健康対策	12.2
9 スポーツや文化芸術の振興	7.6	24 産業や観光の振興	4.1
10 道路やまちなみの整備	17.5	25 雇用対策や労働環境の整備	14.5
11 都市のバリアフリー化	9.8	26 中小企業支援	7.2
12 公共交通の利便性を高める	15.1	27 子育て支援	31.4
13 土地・住宅対策	4.0	28 学校教育の充実	21.5
14 ICT(情報通信技術)利用の推進	5.6	29 その他	1.0
15 農林水産業の振興	3.6	30 特にない、分からない	0.3

(無回答 5.8)

最後に、集計結果を分析するために必要な項目についてお聞きします。(これは個人を特定するものではありません。)

F1 お住まいの地域はどちらですか。 (n=1,576) (%)

1 横浜(横浜市)	38.1
2 川崎(川崎市)	12.6
3 相模原(相模原市)	7.2
4 横須賀三浦(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)	8.1
5 県央(厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村)	9.6
6 湘南(平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町)	15.8
7 県西(小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)	4.0

(無回答 4.6)

F2 あなたの性別をお聞かせください。 (n=1,576) (%)

1 男性	41.9	2 女性	52.3
------	------	------	------

(無回答 5.7)

F 3 あなたの年齢は、おいくつですか。(2020年8月1日時点) (n=1,576) (%)

1 18～19歳	—	5 35～39歳	7.2	9 55～59歳	8.9	13 75～79歳	4.7
2 20～24歳	1.6	6 40～44歳	8.3	10 60～64歳	9.3	14 80歳以上	2.5
3 25～29歳	3.2	7 45～49歳	12.2	11 65～69歳	9.6		
4 30～34歳	5.1	8 50～54歳	10.8	12 70～74歳	12.1		(無回答 4.4)

F 4 お宅には65歳以上の方がいらっしゃいますか。ご自身も含めてお答えください。(n=1,576) (%)

1 いる	46.7	2 いない	47.6	(無回答 5.7)
------	------	-------	------	-----------

F 5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(同居、別居は問いません。) 次のうちあてはまるものをすべて選んでください。(○はあてはまるものすべて) (n=1,576) (%)

1 小学校入学前	9.4	5 短大、専門学校等在学中	1.5	9 その他	2.8
2 小学校在学中	11.7	6 大学、大学院等在学中	7.1	10 子どもはいない	26.2
3 中学校在学中	8.1	7 学校教育終了 [未婚]	23.9		
4 高校在学中	7.3	8 学校教育終了 [既婚]	25.3		(無回答 5.5)

F 6 あなたはインターネットを利用しますか。(○は1つ) (n=1,576) (%)

1 よく利用する	60.3	3 あまり利用しない	6.3
2 ときどき利用する	15.5	4 利用しない	12.9
			(無回答 5.0)

F 7 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。

また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中からそれぞれ1つ選び○で囲んでください。

(n=1,576) (%)

(n=992) (%)

1 自営業	6.7	ア～ウから 1つ選んで ください。	ア 農林水産業	0.5
2 家族従業者 (家業手伝い)	1.3		イ 商工サービス業 (各種商店、飲食店、工事店などの経営)	6.3
3 勤め (フルタイム)	37.9	エ～ケから 1つ選んで ください。	ウ 自由業 (開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など)	5.0
4 勤め (パートタイム)	16.7		エ 経営・管理職 (会社等の部長級、官公庁の課長級以上)	7.4
5 内職	0.4		オ 専門・技術職 (研究員、技術者、勤務医、看護師など)	18.9
6 主婦・主夫 (勤めについていない)	17.2		カ 事務職 (事務系会社員・公務員、警察官、駅員など)	22.9
7 学生	0.5		キ 教育職 (教諭、保育士など)	4.2
8 無職	11.7		ク 技能・労務職 (工場の生産工程従事者、運転士など)	10.7
9 その他	0.4		ケ 販売・サービス職 (商店、サービス業などの従業員)	21.1
				(無回答 3.1)
				(無回答 7.2)

県政についてのご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

413人（26.2%）から自由意見が寄せられました。

最後までご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、8月11日（火）までにご投函ください。（切手は不要です。）

なお、インターネットからご回答いただいた方は、調査票の郵送は不要です。